

1 英文のしくみ・名詞・冠詞(a, an, the)

◆確認問題◆

→p.5

- ① (1) ○ (2) × (3) ○ (4) × (5) ○
 (6) × (7) ○ (8) × (9) ○
- ② (1) caps (2) babies (3) women (4) boxes
 (5) × (6) wives (7) watches (8) ×
 (9) × (10) feet
- ③ (1) teachers (2) balls (3) cities
 (4) children (5) dishes (6) fish
- ④ (1) an, × (2) the (3) a, The (4) the
 (5) the (6) a (7) the
- ⑤ (1) an[one], orange, water
 (2) days, a[one], week
 (3) a[one], the (4) dictionaries, pens

解説 ① (2)(8) rain, bread は一定の形をもたない物質名詞。

- (4) London は1つしかない固有名詞。
 (6) music は具体的な形のない抽象名詞。
- ② (2) 語尾の y を i にかえて -es をつける。
 (3)(10) woman と foot は不規則に変化する。
 (4)(7) 語尾に -es をつける。
 (5) rice は一定の形をもたない物質名詞。
 (6) 語尾の fe を v にかえて -es をつける。
 (8) homework は具体的な形のない抽象名詞。

- ③ (3) 語尾の y を i にかえて -es をつける。
 (4) child の複数形は children となる。
 (5) 語尾に -es をつけて複数形にする。
 (6) fish は単数と複数が同じ形。
- ④ (1) egg は母音で始まるので an をつける。milk は数えられない名詞なので a や an はつけない。
 (2) どれを指すかわかる場合は the をつける。
 (3) 一度出た名詞をくり返すときは the を使う。
 (4) 序数 first の前には the をつける。
 (5) earth は1つしかないのので the をつける。
 (6) a cup of ~ 「1杯の~」
 (7) <play the+楽器名> で表す。

- ⑤ (1) water は数えられない物質名詞。
 (2) 「7日」は seven days, 「1週間」は a[one] week。

2 代名詞 (1)

◆確認問題◆

→p.7

- ① (1) She (2) him (3) Our
 (4) me (5) yours (6) its
 (7) themselves
- ② (1) We, your
 (2) you, their
 (3) They, us
 (4) hers, It, his
 (5) ours, He, it
- ③ (1) her (2) them
 (3) mine (4) theirs
- ④ (1) This, That
 (2) those, These
 (3) That, This

解説 ① (1) Ms. Green は女性なので She を使う。
 (2) 目的語の働きをする「彼を」は him で表す。
 (3) 名詞の前なので、「私たちの」は our で表す。
 (4) 前置詞 with のあとには目的格の代名詞を置く。
 (5) 「あなた(たち)のもの」は yours で表す。
 (6) 名詞の前なので、「その」の its を選ぶ。
 (7) 「~自身」を表す再帰代名詞を introduced の目的語にする。

- ② (1) 「私たちは」は we, 「あなたの」は your。
 (2) 「あなたたちは」は you, 「彼らの」は their。
 (3) 「彼らは」は they。前置詞 with のあとには目的格の代名詞 us を置く。
 (4) 「彼女のもの」は hers, 「それは」は it, 「彼のもの」は his。
 (5) 「私たちのもの」は ours, 「彼は」は he, 「それを」は it。
- ③ (1) my sister は女性なので、前置詞 to のあとには目的格の代名詞 her にする。
 (2) Koji and Miho は3人称の複数で目的語なので、them にする。
 (3) 「私のもの」と考えて mine で表す。
 (4) 「彼らのもの」と考えて theirs で表す。
- ④ (1) 「こちら」は this, 「あちら」は that。
 (2) 「あれら」は those, 「これら」は these。
 (3) 「あれ」は that, 「これ」は this。

3 代名詞 (2)

◆確認問題◆

→p.9

- 1 (1) 名古屋は寒かったです。
(2) 明日は雨が降るでしょう。
(3) 今、何時ですか。— 10時です。
(4) 今日は何曜日ですか。— 日曜日です。
- 2 (1) one
(2) Some
(3) another
(4) Both
(5) All
(6) Each
(7) others
- 3 (1) anyone
(2) anything
(3) something
(4) nothing
(5) Someone

- 解説** 1 (1)(2) itは〈天候・寒暖〉を表す主語。「それ」という意味はなく、日本語に訳さない。
(3) itは〈時刻〉を表す主語。what timeは「何時」とたずねる疑問文に使う。
(4) itは〈曜日〉を表す主語。what dayは「何曜日」とたずねる疑問文に使う。
- 2 (1) 「(不特定の)1つ」はoneで表す。
(2) 「(数が)いくつか」はsomeで表し、複数扱いになる。
(3) 「別のもの」はanotherで表す。
(4) 「(2人のうちの)両方とも」はbothで表し、複数扱いになる。
(5) 「(3つ以上の)すべて」はallで表し、複数扱いになる。
(6) 「それぞれ」はeachで表し、単数扱いになる。
(7) 「~な人もいれば、...な人もいる」はsome~, others...で表し、複数扱いになる。
- 3 (1) 「(疑問文で)だれか」はanyoneで表す。
(2) 「(否定文で)何も(~ない)」はanythingで表す。
(3) 「(肯定文で)何か」はsomethingで表す。
(4) 「何も~ない」はnothingで表す。
(5) 「(肯定文で)だれか」はsomeoneで表す。

4 形容詞・副詞

◆確認問題◆

→p.11

- 1 (1) cute, dog
(2) pictures, beautiful
- 2 (1) I bought a red shirt.
(2) My brother is tall.
(3) He needs something cold.
- 3 (1) much
(2) some
(3) few
(4) a little
- 4 (1) early
(2) sometimes
(3) very[so]
(4) hard
(5) usually
- 5 (1) He can run very fast.
(2) We are always happy.
(3) I often watch TV at home.

- 解説** 1 (1) 名詞 dogの前に形容詞 cuteを置き、形容詞が名詞を修飾する形にする。
(2) be動詞 areのあとに形容詞 beautifulを置き、主語 Those picturesを説明する形にする。
- 2 (1) 〈a+形容詞+名詞〉の語順にする。
(2) 形容詞 tallはbe動詞 isのあとに置き、主語の My brotherを説明する形にする。
(3) 代名詞 somethingを修飾する形容詞 coldは、代名詞のあとに置く。
- 3 (1) 「あまり~ない」は、数えられない名詞の前では not ~ muchで表す。
(2) 「(数が)いくつか」は someで表す。
(3) 「(数が)ほとんどない」は fewで表す。
(4) 「(量が)少しの」は a littleで表す。
- 4 (1) 「早く」は副詞 earlyで表す。
(2) 「ときどき」は副詞 sometimesで表す。
(3) 「とても」を表す副詞 very[so]は、形容詞 difficultの前に置かれ、形容詞を修飾する。
(4) 「熱心に」は副詞 hardで表す。
(5) 「たいてい」は副詞 usuallyで表す。
- 5 (1) 副詞 veryは副詞 fastの前に置く。
(2) areはbe動詞なので、頻度を表す副詞 alwaysはふつう areのあとに置く。
(3) watchは一般動詞なので、頻度を表す副詞 oftenはふつう watchの前に置く。

5 前置詞

❖ 確認問題 ❖

⇒p.13

- 1 (1) in
(2) on
(3) at
(4) in
(5) on
- 2 (1) to
(2) in
(3) on
(4) under
(5) from
(6) at
- 3 (1) near
(2) along
(3) over
(4) between
(5) into
(6) across
- 4 (1) by
(2) with
(3) without
(4) in

解説 1 (1) 〈in+月〉で表す。

- (2) 〈on+日付〉で表す。
- (3) 〈at+時刻〉で表す。
- (4) 〈in+年〉で表す。
- (5) 〈on+曜日〉で表す。

- 2 (1) 「～に、～へ」という〈方向〉は to で表す。
(2) 「(比較的広い場所)に」は in で表す。
(3) 「～(の上)に」という〈接触〉は on で表す。
(4) 「～の下の」は under で表す。
(5) 「～から」という〈起点〉は from で表す。
(6) 「(比較的狭い場所)に」は at で表す。

- 3 (1) 「～の近くに」は near で表す。
(2) 「～に沿って」は along で表す。
(3) 「～の真上を」は over で表す。
(4) 「(2つの物)の間に」は between で表す。
(5) 「～の中に[へ]」は into で表す。
(6) 「～を横切って」という意味のときは across。

- 4 (1) 〈by+交通手段〉で表す。
(2) 「～で、～を使って」は with で表す。
(3) 「～なしに」は without で表す。
(4) 「～語で」は〈in+言語名〉で表す。

6 接続詞 (1)

❖ 確認問題 ❖

⇒p.15

- 1 (1) and
(2) or
(3) but
(4) so
- 2 (1) If
(2) When
(3) because
- 3 (1) I think (that) the movie is interesting.
(2) We think (that) he is Bob's brother.
(3) She thinks (that) you sing well.
(4) They think (that) Kumi will go to the concert.
- 4 (1) 私は英語を学ぶとき
(2) もしあなた(たち)が音楽を好きならば
(3) ピアノをじょうずにひくことができるので
(4) このかばんはあなた(たち)のものだと思います

解説 1 (1) 「AとB」は A and B で表す。

- (2) 「AそれともB」は A or B で表す。
- (3) 前後の文が対立している内容のときは、but でむすぶ。
- (4) 文の前半が文の後半の理由になっているので、so でつなぐ。

2 (1) 「もし～ならば」は if ～。

- (2) 「～する[した]とき」は when ～。
- (3) 「～なので、～だから」は because ～。

3 (1) 「私は～だと思います」は I think (that) ～。that のあとに〈主語+動詞～〉が続く。that ～のまとまりが動詞 think の目的語になる。
(3) 「彼女は～だと思っています」は She thinks (that) ～。thinks の s を忘れないこと。

4 (1) when ～ は 「～する[した]とき」。

- (2) if ～ は 「もし～ならば」。
- (3) because ～ は 「～なので、～だから」。
- (4) I think (that) ～ は 「私は～だと思います」。

例題 (1) ① 亜美 ③ 亜美とニナ

- (2) ア
 (3) イ
 (4) A この前の夏 B 冬休み C 最終日
 (5) (例) 冬の間に店を訪れる客の数が減ったから。
 (6) イ
 (7) (例) She hopes (that) people in developing countries will live a better life.

1 **確認①** ウ

確認② カナダ国旗, カナダの象徴

確認③ (例) カエデの木はカナダの人々にとって大切であるということ。

- (1) a famous park in Canada
 (2) エ

2 **確認** 数学記号

- (1) A 科学者
 B 水
 C 書いた[引いた]短い線
 (2) 1. (例) He found it yesterday.
 2. (例) It means "and."
 3. (例) We can study together and share our ideas.

解説 **例題** (6) ア「冬は夏よりもよい」、ウ「私にとってすべて順調だ」は、直前の内容「今は店を閉めなくてはならない」と合わない。エ「店の周りの人たちは親切だ」は、直後の内容「来年の夏にまた店を開けるつもりだ」と対立しない。イ「私が思っていたよりも厳しい」ならば前後とつながる。

(7) 質問は「ニナはなぜ発展途上国のたくさんの種類の食べ物を適正な価格で売りたいと思っていますか」という意味。第10～11行目のニナの発言参照。

全訳 ①私にはニナというおばさんがいます。この前の夏に彼女から手紙を受け取りました。②それには彼女がコーヒーショップを開店したと書いてありました。私はそこを訪れるのが楽しみでした。

冬休みに、私はニナに会えてとてもうれしかったです。③私たちが彼女の家に行く前に、彼女は私を店に連れていってくれましたが、それは閉まっていました。彼女は私にほほ笑んで、「④夏はたくさんのお客さんがコーヒーを飲むのを楽しみに来てくれたけれど、冬

にはお客さんの数が減ったの。だから今は店を閉めなくてはならないわ。⑤現実は思っていたよりも厳しいけれど、来年の夏にまた店を開けるつもりよ」と言いました。

滞在の最終日、ニナは私に彼女の夢について話しました。彼女は発展途上国のチョコレートやコーヒー豆などのたくさんの種類の食べ物を買いたと思っています。また、それらを適正な価格で売りたいと思っています。彼女は私に「発展途上国の人々の暮らしがよくなるといいな。それが私の夢よ」と言いました。今、私は今度の夏にニナの仕事を手伝いたいと思っています。

1 (1) 「それの中でさまざまなカエデの木を見て楽しんだ」から、下線部は場所を指すとわかる。下線部の前を「5語」の条件でさがし、a famous park in Canadaを見つける。

(2) ア 第2～3行目参照。写真を撮ったのは、この前の夏。

イ 第5～6行目参照。びんを見せたのはボブ。

ウ 第14～15行目参照。思い出すのはカナダのホストファミリーと過ごした時間。

エ 第16行目に合う。

全訳 こんにちは、みなさん。カエデの木について知っていますか。メープルシロップについて耳にしている人は多いと思います。この写真を見てください。私はこの前の夏にカナダへ行ったとき、このカエデの木の写真を撮りました。

私はカナダでホストファミリーの家に2週間滞在しました。ホストファミリーには息子がいて、彼の名前はボブといました。①私たちが朝食を食べたとき、彼はメープルシロップのびんを持ってきて、それを私に見せました。彼は「花子、メープルシロップはカエデの木の樹液から作るんだよ」と言いました。私はそれをそのときまで知りませんでした。

ある日、ホストファミリーと私はカナダの有名な公園へ行きました。私たちは②それの中にあるさまざまなカエデの木を見て楽しみました。そのときボブは私に「カナダの国旗には、カエデの葉があるよ。それはカナダの象徴なんだ」と言いました。私はカエデの木がカナダの人々にとって大切であると学びました。

この写真を見ると、カナダのホストファミリーといっしょに楽しい時間を過ごしたことをいつも思い出します。カエデの木は秋にきれいに見えるそうです。今度は、秋にホストファミリーに会いたいです。ありがとうございました。

2 (2) 1. 「コウジはいつ、書店で数学記号についての本を見つけましたか」第2行目参照。

2. 「ラテン語の『et』という言葉は、何を意味し

ますか」第4行目参照。

3. 「たとえ私たちが同じ言語を話さなくても、私たちは数学記号を使って何をすることができますか」第12～13行目参照。

全訳 私たちは数学を勉強するとき、数学記号を使います。①これらのうちの2つが+の記号と-の記号です。私は昨日、書店で数学記号についての本を見つけ、家で読みました。私はあなたたちに本にあった+と-の記号についての話をお伝えします。

+の記号はラテン語の「et」という言葉が由来です。それは「～と…」を意味します。500年以上前に、ある科学者が彼の本の中の数式において「et」という語を省略して「t」だけを書きました。多くの人々がその本を読み、記号としての「t」の使い方を気に入りました。それで、彼らもそれを使い始め、「t」は+の記号として人気になりました。

-の記号はどうでしょうか？ ずっと昔、船で働いている人々がいて、彼らは樽の中に水をためていました。彼らは樽から水を使うとき、樽に短い線を引きました。それは減った水の量を示しました。すぐに人々は何かを失ったことを意味するためにこの短い線を使い始め、それが-の記号になりました。

私はこれらの記号はすばらしいと思います。世界中のみんながそれらを使います。たとえ私たちが同じ言語を話さなくても、私たちはいっしょに勉強することができます、私たちの考えを共有することができます。

7

be 動詞(現在・過去) / There is[are] ～. の文

◆確認問題◆

⇒p.21

- ① (1) are (2) is (3) were (4) am (5) was
(6) are
- ② (1) I'm[I am] not hungry now.
(2) Mr. Sato isn't[is not] tall.
(3) They weren't[were not] students last year.
(4) My father wasn't[was not] at home yesterday morning.
- ③ (1) Are, you, am
(2) Were, they, were, not
(3) Was, she, wasn't (4) Where, is
- ④ (1) There, is (2) There, were
(3) There, wasn't
(4) Are, there, there, are

- 解説** ① (1) Miki and Aya は複数なので are。
(2) This book は3人称単数なので is。
(3) last year があるので過去の文。We は複数なので were を使う。
(4) 主語が I なので am を使う。
(5) last night があるので過去の文。主語の My mother は3人称単数なので was を使う。
(6) now があるので現在の文。主語の Jun and I は複数なので are を使う。
- ② be 動詞の否定文は be 動詞のあとに not を置く。
- ③ be 動詞の疑問文は be 動詞を主語の前に出す。
(3) 答えの文は was not の短縮形 wasn't を使う。
(4) 「どこに」と場所をたずねるので Where で文を始め、be 動詞の疑問文を続ける。
- ④ (1) a cat が単数で現在の文なので、There is ～. で表す。
(2) five books が複数で過去の文なので、There were ～. で表す。
(3) a ball が単数で過去の文なので、There was ～. の否定文で表す。短縮形 wasn't を使う。
(4) any parks が複数で現在の文なので、There are ～. の疑問文で表す。

◆演習問題◆

⇒p.22～p.23

- ① (1) are (2) was (3) is (4) were
(5) are (6) was
- ② (1) is (2) are, not

- (3) Are, you, I'm, not
 (4) There, were, on
 (5) Were, they, they, were

- 3 (1) He is John Smith.
 (2) My sister was at home yesterday.
 (3) We weren't [were not] free last Sunday.
 (4) When was the boy in the bookstore?
 (5) How many pictures are there by the window?

- 4 (1) there, are
 (2) No, isn't
 (3) Who, was

- 5 (1) My parents are from Osaka.
 (2) Were you tired after school?
 (3) I am not a good soccer player.
 (4) How was your trip to Hokkaido?
 (5) There is a big box under the table.
 (6) There were not any libraries in this city

- 6 (1) My bag is under the chair.
 (2) This isn't [is not] my bike.
 (3) Was it cold yesterday? — Yes, it was.
 (4) Where was your dog last night?
 (5) There are thirty students in my class.
 (6) Are there many [a lot of / lots of] restaurants near the station?

TRY! 英作文

- (1) (例) Sumo has a long history.
 (2) (例) Sumo is one of the traditional Japanese sports.
 (3) (例) There are many [a lot of / lots of] sumo wrestlers from foreign countries.

- 解説** 1 (1) 現在の文で主語が複数なので are。
 (2) 過去の文で主語が I なので was。
 (3) 現在の文で主語が 3 人称単数なので is。
 (4) 過去の文で主語が複数なので were。
 (5) There is [are] ~. の現在の文。「~」が複数なので are を使う。
 (6) 過去の文で主語が I なので was。

- 2 (2) be 動詞 are のあとに not を置く。
 (3) 答えの文は I am の短縮形 I'm を使う。
 (4) 「~がいました」の文で「~」が複数なので There were ~. で表す。

- 3 (1) 主語 He に合わせて be 動詞を is にかえる。
 (2) 過去の文にするので is を was にかえる。
 (3) be 動詞 were のあとに not を置く。
 (4) 「いつ」と時をたずねるので When で文を始め、(疑問詞 + be 動詞 + 主語 ~?) の形にする。

- (5) 「何枚」と数をたずねるので (How many + 複数名詞) で文を始め、There are ~. の疑問文を続ける。

- 4 (3) 「だれがそのときこの教室にいましたか」「グリーン先生です」

- 5 (1) 「~出身だ」は (be 動詞 + from ~) で表す。
 (2) 疑問文なので Were を主語の前に出す。「放課後」 after school
 (3) be 動詞 am のあとに not を置く。

- (4) 「どう」とたずねる How で文を始め、(疑問詞 + be 動詞 + 主語 ~?) の形にする。

- (5) 「…に~があります」は (There is ~ + 場所を表す語句.) の形にする。

- (6) 「…に~がありませんでした」は (There were not ~ + 場所を表す語句.) の形にする。

- 6 (1) 「私のかばん」は特定の物なので、There is ~. の形は使わない。

- (3) (寒暖) を表す主語は it を使う。過去の文なので be 動詞は was。

- (4) (Where + be 動詞 + 主語 ~?) の形にする。

- (5) 「~がいます」の「~」が複数なので、There are ~. で表す。

- (6) There are ~. の疑問文は are を there の前に出す。

- TRY! 英作文** メモを読んで、日本語にあてはまる英語を考える。

- (1) 「相撲は長い歴史をもっている」という文を作る。主語が 3 人称単数なので has とする。

- (2) 「~の 1 つ」は one of ~ で表す。「~」に入る名詞は複数形にすること。主語が 3 人称単数なので be 動詞は is を使う。

- (3) 「~がいる」は There is [are] ~. で表す。「~」は複数なので are を使う。

- 別解** We have many [a lot of / lots of] sumo wrestlers from foreign countries.

◆ 実戦問題 ◆

⇒ p.24~p.25

1 **Reading Point**

- ① 2 週間前。
 ② ホストファミリーのイヌ。
 ③ ロンドンについてもっと書くつもりだ。

Words Check

- ① fine ② feel ③ sometimes
 ④ interesting ⑤ daily ⑥ always
 ⑦ hobbies ⑧ lives ⑨ take, to
 ⑩ See you soon

-
- (1) ① is ② are ④ is
 (2) beautiful flowers in the park (3) ウ

2 Reading Point

- ① 祖母といっしょに料理をした。
 ② 小麦粉, 卵, バター, 砂糖。
 ③ サトシの家族。

Words Check

- ① weekend ② special ③ together
 ④ dream ⑤ restaurant ⑥ famous
 ⑦ hotel ⑧ mountain ⑨ really
 ⑩ talking with ⑪ a lot of

-
- (1) ① was ④ were (2) ア
 (3) (例) 自分[おばあさん]が山で拾った木の実を
 たくさん使うから。
 (4) 1. (例) He's[He is] in the cooking club.
 2. (例) He wants to cook at a restaurant
 in a famous hotel.
 3. (例) Because they're[they are] delicious.

解説 ① (1) すべて There is[are] ~. の文。①と
 ④は「~」が単数形なので is, ②は複数形な
 ので are を使う。

- (2) 直前の文に注目。
 (3) ア 第4~5行目参照。公園はホストファミリー
 の家に近い。
 イ 第8~9行目参照。久美はときどき公園にイ
 ヌを連れていく。
 ウ 第10~11行目参照。
 エ 第12~13行目参照。久美が好きなのは演説
 を聞くこと。

全訳 2015年9月20日
 親愛なるブラウン先生

お元気ですか。私は元気です。
 私は2週間前にロンドンに來ました。私はロンドン
 滞在を楽しんでいます。私のホストファミリーの家の
 近くには大きな公園が①あります。名前はハイドパー
 クです。私はよくそこに行きます。公園には美しい花
 が②あります。私は③それらを見るとうれしくなります。
 公園には、走るのを楽しんでいる人もいれば、本を読
 むのを楽しんでいる人もいます。私のホストファミリ
 ーはイヌを飼っていて、私はときどきイヌを公園に連
 れていきます。公園は人やイヌにとってよい場所です。
 公園にはおもしろい場所が④あります。それはスピー
 カーズコーナーです。その場所では、人々は何につい
 てでも演説をすることができます。趣味について話す
 人もいます。日常生活について話す人もいます。私は

そこで彼らの演説を聞くのが好きです。
 ロンドンで、私はいつもすばらしいものを発見しま
 す。次の手紙では、私はロンドンについてもっと書く
 つもりです。
 それではまた!

かしこ
 久美

- 2** (1) どちらも過去の文。①は主語の your
 weekend が単数なので、was を使う。④は主語
 の your cakes が複数なので、were を使う。
 (2) サトシが Cakes. と料理したものを答えてい
 るので「何を」とたずねる What を使う。
 (3) 直後のサトシの発言に注目。
 (4) 1. 質問は「サトシは学校で何のクラブに入っ
 ていますか」という意味。第6~7行目参照。
 2. 質問は「サトシは将来、何がしたいですか」
 という意味。第7~8行目参照。
 3. 質問は「サトシはなぜおばあさんのケーキが
 好きなのですか」という意味。第10行目参照。

全訳 サトシは高校生です。今、彼は学校の ALT の
 グリーン先生と話しています。

グリーン先生：こんにちは、サトシ。週末はどう①で
 したか。

サトシ：こんにちは、グリーン先生。すばらしかった
 です。

グリーン先生：何か特別なことをしましたか。

サトシ：はい、しました。祖母と私はいっしょに料理
 をしました。私は学校で料理クラブに入っています。
 私には夢があります。私は将来、有名なホテルのレ
 ストランで料理したいと思っています。

グリーン先生：楽しい時間を過ごしたのですね。あな
 たは彼女と②何を料理しましたか。

サトシ：ケーキです。彼女のケーキはおいしいので、
 私は好きです。

グリーン先生：③彼女のケーキはなぜそんなにおいし
 いのですか。

サトシ：ケーキを作るために、私たちは小麦粉、卵、
 バター、砂糖を使います。彼女は木の実も使うので
 すが、それらが特別なのです。彼女は山で木の実を
 拾い、たくさんの木の実を使います。それらのおか
 げで、彼女のケーキはおいしいのです。

グリーン先生：なるほど。あなたたちのケーキはどう
 ④でしたか。

サトシ：とてもおいしかったです。私の家族はそのケ
 ーキを食べるのを楽しみました。

◆確認問題◆

⇒p.27

- 1 (1) play (2) studies (3) cooks (4) watches
(5) read
- 2 (1) teaches
(2) have, has
(3) likes, like
(4) goes, go
- 3 (1) do, not
(2) does, not
(3) don't, eat
(4) doesn't, swim
- 4 (1) Do, use, do
(2) Does, want, does, not
(3) Do, they, know, don't
(4) What, does, practice

◆解説◆

- 1 (1) 主語が I なので動詞は原形を使う。
(2) 主語の Kenji は 3 人称単数なので, studies。
(3) 主語の Aya は 3 人称単数なので, cooks。
(4) 主語の My father は 3 人称単数なので, watches。
(5) 主語が複数なので動詞は原形を使う。
- 2 (1) Ms. Brown は 3 人称単数。teach の 3 人称単数現在形は語尾に -es をつける。
(2) Tom は 3 人称単数。have の 3 人称単数現在形は has。
(3) My brother は 3 人称単数。like の 3 人称単数現在形は語尾に -s をつける。
(4) Kumi は 3 人称単数。go の 3 人称単数現在形は語尾に -es をつける。
- 3 (1)(3) 主語が I や複数のとき, 否定文は動詞の前に do not [don't] を置き, 動詞は原形にする。
(2)(4) 主語が 3 人称単数のとき, 否定文は動詞の前に does not [doesn't] を置き, 動詞は原形にする。
- 4 (1)(3) 主語が you や複数のとき, 疑問文は Do を主語の前に置き, 動詞は原形にする。答えの文でも do を使う。
(2) 主語が 3 人称単数のとき, 疑問文は Does を主語の前に置き, 動詞は原形にする。答えの文でも does を使う。
(4) 「何を」とたずねるので What で文を始め, 一般動詞の疑問文を続ける。

◆演習問題◆

- 1 (1) studies (2) has (3) run (4) play
(5) speaks (6) goes
- 2 (1) watches
(2) like
(3) doesn't, play
(4) Do, you, take, I, do
(5) Where, does, practice, He, practices
- 3 (1) He washes the car every month.
(2) My brother doesn't [does not] read English books.
(3) Do Taku and Miki clean the park every week?
— Yes, they do.
(4) Does Mr. White get up at six?
— No, he doesn't [does not].
(5) What does she eat for breakfast?
- 4 (1) she, does
(2) I, don't
(3) He, teaches
- 5 (1) My mother sings some English songs.
(2) Ann does not use this racket.
(3) Does your father work on Saturdays?
(4) Who helps your grandmother every day?
- 6 (1) She does her homework every morning.
(2) I don't [do not] make [cook] lunch on Sunday(s).
(3) My sister doesn't [does not] drink milk.
(4) Do you know her name?
— Yes, I do.
(5) What does she do after school?
— She takes care of her dog.

TRY! 英作文①

(例) Kumi likes English.

(例) Akira doesn't [does not] like baseball.

TRY! 英作文②

(1) (例) No, I don't [do not].

(例) I have two dogs.

(2) (例) Yes, he does.

(例) He has a [one] dog and a [one] cat.

◆解説◆

- 1 (1) My sister は 3 人称単数。study の語尾の y を i にかえて -es をつける。
(2) Ken's father は 3 人称単数。have の 3 人称単数現在形は has。
(3)(4) 主語が複数なので動詞は原形。

(5) Mr. Green は3人称単数。speak の3人称単数現在形は語尾に -s をつける。

(6) Makoto は3人称単数。go の3人称単数現在形は語尾に -es をつける。

② (1) Takeshi は3人称単数なので, watches。

(2) Mari and I は複数なので動詞は原形。

(3) My brother は3人称単数。否定文なので, 動詞の原形 play の前に doesn't を置く。

(4) 主語が you なので, 疑問文は〈Do+主語+動詞の原形 ~?〉の形。

(5) 「どこで」とたずねる疑問文は Where で文を始める。主語が he なので, 〈疑問詞+does+主語+動詞の原形 ~?〉の形にする。

③ (1) 3人称単数の主語 He に合わせて, wash の語尾に -es をつける。

(2) 主語が My brother なので, 否定文は動詞の原形 read の前に doesn't[does not]を置く。

(3) Taku and Miki は複数なので, 疑問文は〈Do+主語+動詞の原形 ~?〉の形。

(4) Mr. White は3人称単数なので, 疑問文は〈Does+主語+動詞の原形 ~?〉の形。

(5) 「何を」とたずねるので What で文を始める。主語が she なので, 〈疑問詞+does+主語+動詞の原形 ~?〉の形にする。

④ (3) Mr. Brown は he で受ける。主語が3人称単数なので teach の語尾に -es をつける。

⑤ それぞれ(1) sings, (2) not, (3) does, (4) helps を補う。

(2) 〈主語+does not+動詞の原形 ~.〉の形に。

(3) 〈Does+主語+動詞の原形 ~?〉の形に。

(4) 「だれが」を表す Who が主語になるので〈疑問詞+一般動詞 ~?〉の形にする。Who は3人称単数扱いなので helps となることに注意。

⑥ (1) 主語が She なので, 「する」を表す do は3人称単数現在形の does にする。

(2) 主語が I なので, 否定文は動詞 make[cook] の前に don't[do not]を置く。

(3) 主語が My sister なので, 否定文は動詞 drink の前に doesn't[does not]を置く。

(4) 主語が you なので, 疑問文は〈Do+主語+動詞の原形 ~?〉の形。

(5) 「何を」とたずねるので, What で文を始める。主語が she なので, 〈疑問詞+does+主語+動詞の原形 ~?〉の形にする。「~の世話をする」take care of ~

TRY! 英作文① メモを見て, それぞれの人が好きなものと好きでないものを表す文を考える。主語の Kumi と Akira は3人称単数なので, 「…

は~が好きです」は〈主語+likes ~.〉で表す。「…は~が好きではありません」は〈主語+doesn't [does not] like ~.〉で表す。

別解 Kumi likes tennis. / Kumi doesn't[does not] like science[swimming]. / Akira likes math[soccer]. / Akira doesn't[does not] like Japanese.

TRY! 英作文② 絵と空所の前後を参考にして, それぞれの問いに対する答えの文を考える。

(1) マークはエミに「イヌを飼っていますか」とたずねている。続く文でエミは「でもネコを3匹飼っています」と言っていることと絵の内容から, No で答える。そのあとエミはマークに「あなたはどうですか」とたずねている。絵から「私はイヌを2匹飼っています」と答える。

(2) マークの1つ目の質問は「ケンがペットを飼っていますか」という意味。絵からケンがペットを飼っていることがわかるので, Yes で答える。マークの2つ目の質問は「彼は何を飼っていますか」という意味。絵から「彼はイヌを1匹とネコを1匹飼っています」と答える。

❖ 確認問題 ❖

→p.31

- 1 (1) listened (2) played (3) helped
(4) practiced (5) tried (6) stopped
(7) had (8) went (9) saw (10) bought
(11) knew (12) gave
- 2 (1) watched (2) made (3) used
(4) wrote (5) visited
- 3 (1) I didn't[did not] practice the guitar
yesterday.
(2) We didn't[did not] talk on the phone last
Friday.
(3) He didn't[did not] get up at six this
morning.
(4) My mother didn't[did not] read this book
last night.
- 4 (1) Did, study, did (2) Did, come, did, not
(3) Did, eat, he, didn't (4) Where, did, live

解説 1 (1)~(3) 語尾に -ed をつける。

- (4) e で終わる語は、語尾に -d をつける。
(5) 語尾の y を i にかえて -ed をつける。
(6) 語尾の p を重ねて -ed をつける。
(7)~(12) 不規則に変化する。

2 すべて過去の文なので、動詞を過去形にする。

- (1)(3)(5) 規則動詞。語尾に -(e)d をつける。
(2)(4) 不規則動詞。

3 一般動詞の過去の否定文は、動詞の前に didn't [did not] を置き、動詞は原形にする。

4 (1)~(3) 一般動詞の過去の疑問文は、Did を主語の前に置き、動詞は原形にする。(2)の came は come の過去形。(3)の ate は eat の過去形。
(4)「どこに」と場所をたずねるので、〈Where did+主語+動詞の原形 ~?〉の形にする。

❖ 演習問題 ❖

→p.32~p.33

- 1 (1) walked (2) went (3) practiced
(4) used (5) teach (6) do
- 2 (1) had[kept], ago (2) took, yesterday
(3) did, not, know
(4) Did, he, run, last, he, didn't
(5) Who, gave, did
- 3 (1) John got up at seven last Monday.

- (2) We didn't[did not] eat lunch at the
restaurant yesterday.
(3) Did she write a letter to her brother?
— Yes, she did.
(4) Where did they play baseball last Sunday?
- 4 (1) he, did, washed (2) they, didn't, came
(3) did, you, visit
- 5 (1) We saw the movie last month.
(2) He did not sing the song last night.
(3) She didn't listen to music yesterday.
(4) Did you meet the singer at the party?
(5) What time did you go to bed?
(6) What did you do last weekend?
- 6 (1) I bought[got] a[one] blue bag yesterday.
(2) She read this book last year.
(3) They didn't[did not] live in Japan five
years ago.
(4) Did you call him last night?
— No, I didn't[did not].
(5) Who ate[had] the cake? — My sister did.
(6) What[Which] subject(s) did you study
yesterday? — We studied math.

TRY! 英作文

- (1) (例) my friends made me a cake[my
friends made a cake for me]
(2) (例) we won a basketball game

解説 1 (1)~(4) 過去の文なので過去形にする。

- (5) 否定文は〈didn't+動詞の原形〉。
(6) 疑問文は〈Did+主語+動詞の原形 ~?〉。

2 (2) take は不規則動詞で、過去形は took。

- (5)「だれが」を表す Who が主語になるので、〈疑問詞+動詞の過去形 ~?〉の形にする。

3 (2) ate は否定文では原形 eat に戻す。

- (3) wrote は疑問文では原形 write に戻す。

(4)「どこで」と場所をたずねるので Where で文を始め、一般動詞の過去の疑問文を続ける。

4 (3)「あなたたちはいつその動物園を訪れましたか」「私たちは今年の夏にそこを訪れました」

5 (5)(6) それぞれ What time(何時に), What(何を)で文を始め、一般動詞の過去の疑問文を続ける。

6 (6) What[Which] subject(s)(何[どの]の教科を)で文始めて、一般動詞の過去の疑問文を続ける。

TRY! 英作文

メモを見て、対応する日本語から空所にあてはまる英語を考える。

- (1)「(人)に(物)を作る」は〈make+人+物〉か〈make+物+for+人〉で表す。過去の文なので made。

「私の夏休み：私はこの夏休みの間とても楽しい時間を過ごしました。私の誕生日は7月31日でした。その日、⁽¹⁾私の友達が私にケーキを作ってくれました。私はとてもうれしかったです。また、私はバスケットボールをとてもしょうけんめに練習しました。ついに、初めて⁽²⁾私たちはバスケットボールの試合に勝ちました。」

❖ 実戦問題 ❖

→p.34~p.35

1 Reading Point

- ① 町のレストラン。
- ② 外国人に徳島の食べ物について英語で教えたこと。
- ③ 何か新しいことを試す機会。

Words Check

- ① job ② experience ③ popular
- ④ question ⑤ ordered ⑥ gave
- ⑦ was able to ⑧ in the future

- (1) ① saw ② tried
- (2) 1. (例) Yes, he did.
- 2. (例) He wants to get a job to help people around him. (3) ア

Writing Exercise

- (1) (例) You looked happy when you were talking.
- (2) (例) He gave me a chance to try something new.

2 Reading Point

- ① わかばホテル。
- ② 古いお寺や神社を見てわくわくした。
- ③ 自分の大好きな日本料理店。

Words Check

- ① temples ② shrines ③ remember
- ④ post office ⑤ one of

- (1) ① ウ ② ア
- (2) (例) 女性が、自分の好きな日本のレストラン [日本料理店] で、アリス [グリーン先生] と日本の食べ物を楽しむこと。(3) ウ

解説 1 (1) 先月の職場体験でしたことを説明する過去の文なので、動詞は過去形に。① see は不規則動詞。過去形は saw。② try は規則動詞。y を i にかえて -ed をつける。

- (2) 1. 質問は「そうたは職場体験の間に皿を洗いましたか」という意味。第2～4行目参照。
- 2. 質問は「そうたは将来、何をしたいと思っていますか」という意味。第12～14行目参照。
- (3) まとめの最終段落から、ア「職場体験を通じて学ぶこと」が適切。イ「私たちの町の人気レストラン」、ウ「外国人から学ぶこと」、エ「人気のある徳島の地元料理」。

Writing Exercise (1) 「～するとき」は〈when + 主語 + 動詞 ~〉で表す。過去のあるときにしていたことは過去進行形〈was [were] + 動詞の -ing 形〉で表す。「～そうだ (= ~ に見える)」は〈look + 形容詞〉で表せる。過去の文なので、規則動詞 look に -ed をつけて過去形に。

(2) 「(人)に(物)を与える」は〈give + 人 + 物〉で表す。give の過去形は gave。「～する(ための)機会」は〈a chance to + 動詞の原形 ~〉で表す。「試す」は try。「何か新しいこと」は〈something + 形容詞 (new)〉で表す。代名詞 -thing を修飾する形容詞の位置に注意。

全訳 ぼくたちの学校では、生徒は働くことについて学びます。先月、職場体験がありました。ぼくは町のレストランで働きました。そのレストランは小さいですが、徳島の地元料理で人気があります。ぼくの事は皿を洗ったり、店主の加藤さんと注文をとったりすることでした。

ぼくたちが注文をとるとき、ときどき外国人に^①会いました。彼らはぼくたちに人気のある徳島の地元料理についてたずねました。加藤さんは「そうですね、たくさんあります、たとえば鳴門金時の天ぷらです」と言っていました。同じ質問をほかの人から受けたときは、彼のように英語で答えるように^②努めました。彼らはぼくの話に注意深く聞いて、それを注文してくれました。彼らはそれを食べているとき、うれしそうでした。彼らに徳島の料理のことを話せて、ぼくも本当にうれしかったです。

この職場体験はぼくに何か新しいことを試す機会を与えてくれました。ぼくは周りの人たちとコミュニケーションをとることができました。将来、ぼくは彼らを手助けする仕事につきたいです。

- 2 (1) ① ア「私はあなたのためにそれらを手に入れました」
- イ「あなたはすぐにそれが必要でしょう」
- ウ「私があなたとそこまで行きましょう」
- エ「あなたはそこへ電車で行きました」
- 道をとずねられたときの応答として、ウが適切。
- ② ア「彼女はどちらの出身ですか」
- イ「彼女は何をするつもりですか」

ウ「彼女はどこに行きたいと思っていますか」

エ「彼女は何語を学んでいますか」

直後で女性が友達の出身地を答えているので、アが適切。

(2) you will のあとに前文の enjoy Japanese food there with her が省略されている。

(3) ア「トモキは女性にわかばホテルへの道をたずねて、女性がそれを教えてくれました」第1行目参照。女性がトモキに道をたずねている。

イ「アリスが女性にトモキの学校の名前について教えていたので、女性はその名前をトモキに教えることができました」第12～13行目参照。女性はアリスから聞いた学校の名前を忘れていた。ウ「アリスは女性の友達の1人で、トモキの学校で英語を教えています」第8～16行目の内容と合う。

エ「女性はトモキの学校で、いくつかの日本料理店についてたずねるつもりです」本文にそのような内容はない。

全訳 女性：すみません。わかばホテルにはどのように行けばいいですか。

トモキ：ぼくはホテルの近くの郵便局に行くところです。① そこまであなたと行きましょう。

女性：ありがとうございます。

(2人はわかばホテルに向かって歩き始めます)

トモキ：日本を旅行されているのですか。

女性：ええ、カナダから来ました。昨日は京都へ行きました。そこで古いお寺や神社を見てわくわくしました。今朝、京都を出発して、この市に着きました。友達の1人がここに住んでいます。彼女は6か月前に日本に来ました。もうすぐ彼女に会います。

トモキ：② 彼女はどちらの出身ですか。

女性：彼女もカナダ出身です。彼女はこの市の高校で英語を教えています。彼女がメールで私に学校の名前を教えてくれましたが、私は覚えていません。その学校はこの市でいちばん多くの生徒たちがいます。

トモキ：ああ、それはぼくの学校です！ 彼女の名前はアリス・グリーンさんですか。

女性：そうです！ 彼女はあなたの英語の先生なんですわ！

トモキ：その通りです。この前の月曜日、先生はこの市のレストランについてたずねました。それで、ぼくは彼女にお気に入りの日本料理店について話しました。先生は「友達といっしょにそこに行きたいわ」とぼくに言いました。

女性：本当ですか。私はそこで彼女と日本料理を楽しむことにしましょう。

トモキ：③ 楽しめるといいですね。

確認問題

⇒p.37

- ① (1) am, studying (2) is, writing
(3) are, cooking (4) was, cleaning
(5) were, singing
- ② (1) am, playing (2) was, doing
(3) were, watching (4) is, talking[speaking]
(5) were, swimming
- ③ (1) I'm[I am] not practicing kendo.
(2) They weren't[were not] playing the guitar at three.
(3) Ann isn't[is not] using this camera now.
(4) My sister wasn't[was not] making a cake then.
- ④ (1) Are, you, dancing, am
(2) Were, they, eating, were
(3) Was, he, running, wasn't
(4) What, is, reading

解説 ① (1)～(3) 現在進行形(am[are, is]+動詞の-ing形)にする。be動詞は主語に合わせる。

(4)(5) 過去進行形(was[were]+動詞の-ing形)にする。be動詞は主語に合わせる。

- ② (1)(4) 「(今)～しています」は現在進行形で表す。(1)は主語がIなので(am+動詞の-ing形)、(4)は主語がSheなので(is+動詞の-ing形)で表す。(2)(3)(5) 「(過去のあるときに)～していました」は過去進行形で表す。(2)は主語がMarkなので(was+動詞の-ing形)、(3)(5)は主語が複数なので(were+動詞の-ing形)で表す。

③ 進行形の否定文はbe動詞のあとにnotを置く。

- ④ (1)～(3) 進行形の疑問文はbe動詞を主語の前に出す。答えの文でもbe動詞を使う。
(4) 「何を」とたずねるので、Whatで文を始め、進行形の疑問文を続ける。

演習問題

⇒p.38～p.39

- ① (1) are (2) were (3) dancing (4) running
(5) knows (6) having
- ② (1) is, sleeping (2) were, not, waiting
(3) I'm, not, swimming
(4) Was, she, helping, she, was
(5) What, is, doing

- 3 (1) Tom was taking pictures then.
 (2) You aren't[are not] walking by the river.
 (3) Were they watching a movie at nine last night? — Yes, they were.
 (4) Is Ms. Kato using the computer now?
 — No, she isn't[is not].
 (5) Where is Emi playing basketball?

- 4 (1) he, is
 (2) No, aren't
 (3) She, was, studying

- 5 (1) My sister was painting a picture then.
 (2) It is not raining now.
 (3) Was Aya playing tennis with Tom then?
 (4) What were you making at that time?
 (5) Who is playing the guitar now?

- 6 (1) We're[We are] enjoying the party.
 (2) My mother wasn't[was not] drinking tea then[at that time].
 (3) Were you watching TV at eight (o'clock) last night? — No, I wasn't[was not].
 (4) Where is she writing a letter?
 — She's[She is] writing it in her room.

TRY! 英作文①

(例) Ken was studying English at ten (o'clock).
 (例) Ken was playing tennis with his brother at three (o'clock).

TRY! 英作文②

(例) Miki is reading (a book) (in[at] the park) now.
 (例) Bob is walking (with) his dog (in[at] the park) now.

- 解説** 1 (1) 主語が複数なので be 動詞は are。
 (2) then があるので過去進行形の文とわかる。主語が複数なので be 動詞は were。
 (3) 前に are, あとに now があるので, 現在進行形(are+動詞の-ing形)にする。
 (4) 過去のあるときに進行していた動作なので, 過去進行形(was+動詞の-ing形)にする。
 (5) know は状態を表す動詞で進行形の文では使わない。主語が she なので現在形は -s をつける。
 (6) have は「食べる」という意味では進行形にできる。now があるので現在進行形の文。
 2 (5) 文の最初に「何を」とたずねる What を置き, 進行形の疑問文を続ける。
 3 (5) 「どこで」と場所をたずねるので, <Where+be 動詞+主語+動詞の-ing形 ~?>で表す。

- 4 (3) 「今朝 10 時にあなたのお姉さん[妹さん]は何を勉強していましたか」に対して, 過去進行形の文で答える。主語 your sister は She に置きかえる。

- 5 (2) <主語+be 動詞+not+動詞の-ing形 ~.>
 (3) <be 動詞+主語+動詞の-ing形 ~?>
 (4) 「何を」とたずねているので, What で文を始め, 疑問文<be 動詞+主語+動詞の-ing形 ~?>を続ける。
 (5) 「だれが」を表す Who が主語になるので, <疑問詞+be 動詞+動詞の-ing形 ~?>で表す。

- 6 (4) 「どこで」とたずねる Where で文を始め, <be 動詞+主語+動詞の-ing形 ~?>を続ける。

TRY! 英作文① メモを見て, 健がそれぞれの時間に行っていたことを過去進行形で表す。主語が Ken なので「～していました」は<was+動詞の-ing形>。「…時に」は<at+時刻>で表す。

別解 Ken was cleaning his room at eleven (o'clock). / Ken was eating[having] lunch in [at] the park at one (o'clock).

TRY! 英作文② 絵を見て, それぞれの人物がしていることを現在進行形で表す。主語が 3 人称単数のときは<is+動詞の-ing形>, 主語が複数のときは<are+動詞の-ing形>で表す。

別解 Mr. White is taking a picture of flowers now. / Birds are flying in the sky now. / Taku and Kate are singing under the tree now.

◆実戦問題◆ →p.40~p.41

1 Reading Point

- ① 音楽。
 ② そうじは日本人の大切な習慣だから。

Words Check

- ① favorite ② difficult ③ hungry
 ④ clean ⑤ classrooms ⑥ news
 ⑦ like, the best ⑧ a little
 ⑨ foreign country ⑩ I hope

- (1) ① ウ ③ イ ⑤ ア
 (2) enjoying (3) two
 (4) (例) 日本人がサッカーの試合後にスタジアムをそうじしていた
 (5) 1. (例) She liked art the best.
 2. (例) They clean it for fifteen minutes.
 (6) エ

Writing Exercise

- (1) Which season do you like the
- (2) think cleaning my room is important
- (3) (例) English is a little difficult but interesting.
- (4) (例) Please call me when you come back.

解説 ① (1) ① 直前の主語 it は music を指す。直後から、時間割の Wednesday(水曜日)の3時間目を参照。「～と…の間に」は between ~ and ... で表す。③ 直前の The four classes に注目。4つなのは昼休み前の授業。「～の前の」は before で表す。⑤ 直前の cleaning time は昼休みのあと。「～のあとの」は after で表す。

(2) 目的語の them は Japanese and social studies を指す。動詞として enjoy 「楽しむ」が適切。-ing をつけて現在進行形に。

(3) 時間割を参照。午後の授業は2つ。

(4) 第14～15行目参照。were cleaning は過去進行形で、「そうじしていた」という意味。

(5) 1. 質問は「ケイトは学生のころ、どの教科がいちばん好きでしたか」という意味。第5行目参照。art 「美術」

2. 質問は「生徒は毎日、学校をどのくらいそうじしますか」という意味。時間割の time 参照。13:40～13:55 から、15分間とわかる。

(6) ア「1時間目は空腹なので、アレックスはそれが好きではありません」本文にそのような内容はない。

イ「アレックスは学校で火曜日に美術、水曜日に数学を勉強しています」時間割に合わない。水曜日に数学はない。

ウ「ケイトはニュースについて話し始めたが、アレックスはそれについて知りませんでした」第13～16行目に合わない。

エ「ケイトはアレックスがいっしょにロンドンの彼女の家をそうじしてくれることを望んでいます」第19～20行目の内容と合う。

Writing Exercise (1) 「どの～」は〈which+名詞〉。あとに一般動詞の疑問文〈do+主語+動詞の原形～?〉が続く。「～がいちばん好きである」は like ~ the best で表す。

- (2) 「私は～と思います」は I think (that) ~. で表す。接続詞 that は省略可。「自分の部屋をそうじすること」は cleaning my room.
- (3) 「少し」は a little。〈形容詞+but+形容詞〉の語順に。
- (4) 「～してください」は〈Please+動詞の原形～.〉

で表す。「戻ったら」は「あなたが戻ったときに」と考えて、〈when+主語+動詞～〉で表す。「戻る」は come back。時を表す when ~ では未来のことでも現在形を使う。will は不要。

全訳 アレックス：これが学校の時間割だよ。

ケイト：まあ、授業がたくさんあるのね。どの教科がいちばん好きなの？

アレックス：ぼくは音楽がいちばん好き。時間割では、水曜日の社会と英語^①の間にある。

ケイト：そうね。学生のころ、私のいちばん好きな教科は美術だったわ。ほかの授業はどんなの？

アレックス：国語と社会は少し難しいけれどおもしろいので^②楽しんでるよ。4時間目はおなががすくから、昼休み^③前の授業4つはぼくにとって少しいへんなんだ。

ケイト：そうなのね。午後に授業がもう^④2つあるわ。あら、昼休み^⑤後の清掃時間って何？

アレックス：全生徒が教室や校内のほかの場所をそうじするんだ。

ケイト：本当？ 清掃員が必要ないのね。あ、そうだね。あ^⑥のニュースを思い出した。日本人が外国のサッカーの試合のあと、スタジアムをそうじしていたの。私は本当に驚いた。

アレックス：ぼくもそのニュースを覚えているけれど、今はそんなに驚かないよ。彼らにとって公共の場所をそうじするのはそれほど特別なことじゃないと思う、なぜならそうじは彼らの大切な習慣だからね。

ケイト：それはよい習慣だと思うわ。あなたが戻ってきたら、私といっしょに私の家をそうじしてくれたらいいな！

〈時間割〉

時間	時刻	月曜日	火曜日	水曜日
	8:15 ~ 8:25	ホームルーム		
1	8:30 ~ 9:20	国語	数学	体育
2	9:30 ~ 10:20	理科	英語	社会
3	10:30 ~ 11:20	数学	美術	音楽
4	11:30 ~ 12:20	家庭	美術	英語
	12:20 ~ 13:35	昼休み		
	13:40 ~ 13:55	清掃時間		
5	14:00 ~ 14:50	社会	国語	理科
6	15:00 ~ 15:50	体育	理科	国語
	15:55 ~ 16:00	ホームルーム		

11 未来の文

◆確認問題◆

→p.43

- 1 (1) am (2) is (3) leave (4) are (5) going
2 (1) going, to (2) isn't, to, buy[get]
(3) Are, going, I, am
(4) When, is, to, clean
3 (1) will, come (2) will, not, write
(3) Will, go, will (4) When, will, start
4 (1) will, call (2) Will, use
(3) won't, practice (4) Where, will, play

解説 1 be going to で未来のことを表す。be 動詞は主語に合わせる。

- (1) 主語が I なので be 動詞は am。
(2) 主語が Ami なので be 動詞は is。
(3) to のあとには動詞の原形が続く。
(4) 主語が Ken and I という複数なので be 動詞は are。
(5) 疑問文は (be 動詞+主語+going to+動詞の原形 ~?) で表す。
- 2 (1) tomorrow 「明日」があるので、未来のことを表す文。I'm のあとに (going to+動詞の原形) を続ける。
(2) 「~するつもりはありません」を be going to の否定文で表す。主語が He なので be 動詞は is。not は be 動詞のあとに置くが、ここでは空所の数から短縮形 isn't を使う。
(3) 「~するつもりですか」を be going to の疑問文で表す。主語が you なので be 動詞は are。(be 動詞+主語+going to+動詞の原形 ~?) の形にする。
(4) 「いつ」とたずねる When で文を始め、be going to の疑問文を続ける。
- 3 (1) tomorrow に合わせて、(will+動詞の原形) で未来のことを表す。comes を原形の come にすることに注意。
(2) will の否定文は、will のあとに not を置く。
(3) will の疑問文は、will を主語の前に出す。答えの文でも will を使う。
(4) 「いつ」とたずねるので、When で文を始め、will の疑問文を続ける。
- 4 (1) 「~するつもりです」は未来のことなので (will+動詞の原形) で表す。
(2) 「~するつもりですか」は (Will+主語+動詞の原形 ~?) で表す。

(3) 「~しないでしよう」は (will not+動詞の原形) で表す。ここでは空所の数から、will not の短縮形 won't を使う。

(4) 「どこで」と場所をたずねるので、Where で文を始め、will の疑問文を続ける。

◆演習問題◆

→p.44~p.45

- 1 (1) going (2) come (3) Are (4) will
(5) won't (6) be
2 (1) I won't[will not] read this book tomorrow.
(2) John isn't[is not] going to study Japanese next year.
(3) Will Mr. Brown be back soon?
— Yes, he will.
(4) Where are the children going to swim next month?
3 (1) going, to (2) leaving
(3) will, enjoy, tomorrow
(4) Is, going, come, isn't
(5) won't, take (6) What, will, buy[get]
4 (1) they, are (2) will, not (3) Who, will
5 (1) I'll show my guitar to you.
(2) is going to visit the museum next week
(3) I will not call her tomorrow.
(4) We're not going to watch TV tonight.
(5) Will the train arrive at Osaka at seven?
(6) How long are you going to stay in Tokyo?
6 (1) She's[She is] going to go shopping tomorrow.
(2) I'm[I am] not going to get up early tomorrow morning.
(3) Are you going to make a cake[cakes] next Wednesday?
(4) I won't[will not] forget your word(s).
(5) Will your brother be[become] a doctor in the future?
(6) What will they eat[have] for breakfast?

TRY! 英作文

- (1) (例) he was studying English
(2) (例) I will go to his house

解説 1 (1)~(3) (be going to+動詞の原形) で未来のことを表す。be 動詞は主語に合わせる。

(4) (will+動詞の原形) で未来のことを表す。

2 (4) 「どこで」と場所をたずねるので Where で文を始め、(疑問詞+be 動詞+主語+going to+動

詞の原形 ~?)で表す。

- 3 (2) 確定した未来の予定は、現在進行形で表すことができる。
- (3) 「~でしょう」という未来のことは<will+動詞の原形>で表す。
- (4) 「~するつもりですか」は<be 動詞+主語+going to+動詞の原形 ~?>で表す。主語が he なので be 動詞は is。答えの文でも is を使う。
- (6) 「何を」とたずねる What で文を始め、will の疑問文を続ける。
- 4 (3) 「だれが」を表す Who が主語になるので<疑問詞+will+動詞の原形 ~?>の形にする。「だれが明日私たちの仕事を手伝うでしょうか」
- 5 (1) I'll は I will の短縮形。
- (6) 「どのくらい長く」を表す How long で文を始め、be going to の疑問文を続ける。
- 6 (1) 主語が She なので be 動詞は is。to のあとには動詞の原形が続く。「買い物に行く」go shopping
- (2) 主語が I なので be 動詞は am。否定文なので、am のあとに not を置く。
- (3) 主語が you なので be 動詞は are。疑問文なので、Are を主語の前に出す。
- (4) <主語+will not+動詞の原形 ~.>
- (5) <Will+主語+動詞の原形 ~?>
- (6) 「何を」を表す What で文を始め、will の疑問文を続ける。

TRY! 英作文 絵を見て、場面の内容を表す会話の英語を考える。

(1) When I saw him は「私が彼を見たとき」という意味。絵から、ヒロがそのときしていた動作を過去進行形の文で表す。主語が he になるので<was+動詞の-ing形>で表す。

別解 he was using a dictionary

(2) to take it to him は「それ(=辞書)を彼に持っていくために」という意味。絵から、これからなつみが行うことを<will+動詞の原形>で表す。

別解 I will visit him

❖ 実戦問題 ❖

→p.46~p.47

1 Reading Point

- ① 大水槽のたくさんの魚。
- ② 英語を話すことができる。
- ③ お姉さん[妹さん]

Words Check

- ① water ② beautiful ③ start
- ④ history ⑤ events ⑥ floors

(1) ① ウ ⑦ エ (2) イ (3) eleven

(4) ④ between ⑤ movie

(5) (例) What should I do (6) エ (7) ア

Writing Exercise

(1) (例) Could you tell me about your country?

(2) (例) How long does it take to walk to your school?

- 解説** 1 (1) ① あとの next month から、予定を表す文とわかる。直前に is going があるので、ウ<to+動詞の原形>が適切。⑦「~するでしょう」と予測を表す文。エ<will+動詞の原形>が正しい。take「(時間)かかる」
- (2) あとの so「だから」が手がかかり。「それについて私に教えてもらえるかな?」の理由として、イ「この水族館はよさそうだ」が適切。ア「私はこの水族館についてよく知っている」、ウ「あなたのお姉さん[妹さん]は魚が好きだ」、エ「日本での魚つりは楽しい」。
- (3) あとの o'clock から時刻だとわかる。ここでは大水槽のえさやりショーの説明をしている。パンフレットの「えさやりショー開始時間」を参照。午前中のショーは 11 時に始まる。
- (4) ④ 直前の文を受けて、水槽 B の説明。パンフレットの水槽 B の位置に注目。水族館シアターと大水槽の間にある。「~と…の間に」は between ~ and ... で表す。⑤ 水族館シアターでできることを答えている。パンフレットの水族館シアターの説明に注目。「映画」を見ることができる。
- (5) 直後の文に注目。サヤは「総合案内所で聞くといいよ」と助言している。
- (6) 直前の文「2階と3階にもっと展示物がある」を参照。エ「水族館のすべての展示物やイベントを見ること」が適切。ア「総合案内所で質問すること」、イ「スタッフの何人かと英語を話すこと」、ウ「水族館ショップで買い物を楽しむこと」。
- (7) ア「その水族館はサヤの市で人気がありません」第6行目に合わない。イ「人々は1日に3回えさやりショーを楽しむことができます」第10~12行目参照。ウ「メアリーは大水槽のイベントに興味を持っています」第9~14行目参照。エ「メアリーはお姉さん[妹]と水族館へ行くでし

よう」第29行目参照。

Writing Exercise (1) 「～していただけますか」は〈Could you+動詞の原形～?〉で表せる。「～(人)に(物事)について教える」は〈tell+人+about+物事〉で表す。

(2) 「どのくらい(の期間)～?」はHow long～?で表す。時間を表す文の主語はitなので、〈does+主語(it)+動詞の原形〉の形を続ける。「(時間)がかかる」はtake。「学校へ歩いて行くのに」は、目的を表す〈to+動詞の原形〉で表せる。「～へ歩いて行く」はwalk to～。

全訳 メアリー：サヤ、この水族館を知っている？
サヤ：うん、知っているよ。でもどうして？
メアリー：えっと、姉[妹]が来月私を①訪ねてくる予定だから、彼女を連れていくのによい場所を考えているところなの。②この水族館はよさそうだから、それについて私に教えてもらえるかな？
サヤ：もちろん。それはこの辺で人気があるの。たくさん種類の水中生物を見られるよ。
メアリー：あなたのいちばん好きな展示物は何？
サヤ：大水槽のたくさんの魚ね。とてもきれいな。海の中にいるような気がするよ！あと、そこではえさやりショーも楽しめるの。
メアリー：ひんぱんに見られるの？
サヤ：ええと…、3回よ。午前中のショーは③11時に、午後のショーは1時30分と3時に始まる。
メアリー：そのうち1つは見たいな。ほかに展示物は何かあるの？
サヤ：クラゲがいるよ。それらが水の中でゆっくり動いていると、楽しい気持ちになる。それらは水槽Bにいるわ。ここ、大水槽と水族館シアター④の間よ。
メアリー：シアターでは何が見られるの？
サヤ：海の歴史や海中生物に関する⑤映画を見られるよ。
メアリー：いいね。水族館について質問があるときは、⑥どうしたらいいかな？
サヤ：総合案内所で聞くといいよ。水族館ショップの近くにある。スタッフの中には英語を話せる人もいると思う。
メアリー：いいね。水族館の全部の展示物やイベントを見るのにどのくらいかかる？
サヤ：2階と3階にもっと展示物があるから、3時間ぐらい⑦かかるでしょうね。⑧それのあとは水族館ショップで買い物を楽しめるよ。
メアリー：すごい！姉[妹]をこの水族館へ連れていこうと思う。ありがとう。
サヤ：どういたしまして。あなたたちがたくさん楽しむといいな！

12 助動詞

❖確認問題❖

⇒p.49

- 1 (1) can (2) must (3) may (4) should
- 2 (1) He is able to speak Japanese.
(2) I have to do my homework.
- 3 (1) cannot[can't], play (2) must, not
(3) don't, have, to (4) Can, he, cook
- 4 (1) Can[Will], you (2) May[Can], I
(3) Shall[May], I (4) Shall, we
(5) Would[Could], you

- 解説** 1 (1) 「～することができる」は can。
(2) 「～しなければならない」は must。
(3) 「～してもよい」は may。
(4) 「～すべきである」は should。
- 2 (1) 「～することができる」という能力・可能の意味は、be able to～で表すこともできる。
(2) 「～しなければならない」という義務の意味は、have[has] to～で表すこともできる。
 - 3 (2) 「～してはいけない」という禁止は〈must not+動詞の原形〉で表す。
(3) 「～する必要はない」という不必要は don't [doesn't] have to～で表す。
 - 4 (1) 「～していただけますか」と依頼するときは Can[Will] you～?を使う。
(2) 「～してもいいですか」と許可を求めるときは May[Can] I～?を使う。
(3) 「(私が)～しましょうか」と申し出るときは Shall I～?を使う。
(4) 「(いっしょに)～しませんか」と提案するときには Shall we～?を使う。
(5) 「～していただけますか」とていねいに依頼するときには Would[Could] you～?を使う。

❖演習問題❖

⇒p.50～p.51

- 1 (1) must, get (2) should, study
(3) must, be (4) may, rain
(5) Can, you, sing, cannot[can't]
(6) must, not, run (7) don't, have, to
- 2 (1) My sister cannot[can't] drive a car.
(2) Should he answer the question?
— Yes, he should.
(3) The students had to clean the park.

(4) I will be able to write a letter in English.

3 (1) 7時に家を出なければなりません

(2) この川で泳いではいけません

(3) ここで待つ必要はありません

(4) 暑いにちがいありません

(5) 使ってもいいですか

4 (1) Can (2) Shall (3) Must (4) May

(5) Do

5 (1) We must take off our shoes here.

(2) He was able to enjoy the festival.

(3) Kumi could not carry her bag.

(4) I would like to visit the museum.

(5) Would you like something to

(6) Do we have to clean our classroom

6 (1) My sister can[is able to] cook well.

(2) May[Can] I take a picture[pictures] here?

(3) I don't have to wash my father's car today.

(4) You should be kind to old people.

(5) Shall we eat[have] dinner at[in] the restaurant?

(6) Would[Could] you come to my house?

TRY! 英作文①

(1) (例) You must not close this window.

(2) (例) Shall I call you later?

(3) (例) Can[Will] you open the door?

TRY! 英作文②

(例) must[have to] wear school uniforms

解説 2 (3) 「～しなければならなかった」という過去の文は〈had to+動詞の原形〉で表す。

(4) 「～できるでしょう」という未来の文は〈will be able to+動詞の原形〉で表す。

3 (4) この must は「～にちがいない」という推量の意味。

4 (1) 「食器を洗ってできませんか。」「もちろんです。」
(2) 「お水をお持ちしましょうか。」「はい、お願いします。」

(3) Must your father ~? に対する否定の答えは No, he doesn't have to. 「いいえ、その必要はありません。」

(4) 「ここでテニスをしてもいいですか。」「すみませんが、いけません。」

(5) 〈Do[Does]+主語+have to ~?〉は「～しなければなりませんか」という意味。

5 (2) was able to ~ は be able to ~ の過去形。

(4) 「～したい」 would like to ~

(5) 「～はいかがですか」 Would you like ~?

6 (4) 「お年寄り」 old people

TRY! 英作文① (1) 「～してはいけない」という禁止は〈must not+動詞の原形 ~〉で表す。

(2) 「(私が)～しましょうか」は Shall I ~?.

(3) 「～していませんか」は Can[Will] you ~?.

TRY! 英作文② We must[have to] ~. 「私たちは～しなければいけない」や We must not ~. 「私たちは～してはいけない」を使って文を作る。

別解 must not bring our cell phone to school / must[have to] leave school before five

❖ 実戦問題 ❖

→p.52~p.53

1 Reading Point

① マミの選んだ本は A Happy Bear and a Sad Lion, トムの選んだ本は Meow, Meow & Bow-wow, ユウコの選んだ本は A Boy's First Day.

② 学校生活について教えたいと思っている。

③ 約 20 人。

Words Check

① choose ② play ③ enter ④ different

⑤ same ⑥ agree ⑦ both of

⑧ many times

(1) ア (2) エ (3) イ

(4) something, important, about, life

(5) イ → ア → ウ → エ (6) ア

(7) 1. ○ 2. ○ 3. ×

Writing Exercise

(1) Both of these books told me something important

(2) like the museum because there are many beautiful pictures

(3) (例) I'm[I am] going to call Ken to play with him.

(4) (例) I think (that) your computer is better than mine.

解説 1 (1) 直後の発言でユウコが自分の本の内容を説明しているの、ブラウン先生はユウコに、本について話してほしいと依頼したと考えられる。「～していませんか」という依頼を表す Can you ~? が適切。

(2) 「マミは□□ので自分の本がよいと思っています」

ア「その本の色が気に入っている」

イ「とても短くて簡単だ」

ウ「自分の大好きな国について書いてある」

エ「子どもたちは動物を見るのが好きだと信じている」第4～6行目参照。

(3) ア「子どもたちは学校に入ると、新しい人々に出会ってしょう」第15～16行目の内容と合う。

イ「子どもたちは学校でイヌやネコの世話をするでしょう」本文にそのような内容はない。

ウ「子どもたちにはつらいときもあるでしょうが、楽しいときもあるでしょう」第16～18行目の内容と合う。

(4) 「マミの本とユウコの本は私たちに人生の大切なことを教えてくれます」第22～23行目参照。

(5) 本文の流れに合わせて選択肢を並べると以下の通り。

イ「ブラウン先生は、生徒たちが幼い子どもたちに読んであげる本を選ぶべきだと言いました」→

ア「生徒たちは、自分の本の内容とそれが気に入っている理由を話し始めました」→

ウ「生徒たちはそれぞれの理由を比較し、読むのに最もよい本を決めようと思いました」→

エ「生徒たちは最もよい本を見つけることができました」

(6) 「彼らはみんな、その本が最もよいと思ったので、という本を選びました」

第23～24、30行目参照。最終的に選ばれたのはマミの本。書名は第4行目に書かれている。

(7) 1. 「マミ、トム、ユウコ、ブラウン先生が話し合っています」会話全体の状況と合う。

2. 「英語クラブの生徒たちは、3冊の選択肢の中から1冊を選ぼうとしています」第1～3行目の内容と合う。

3. 「クラブの生徒の1人は子どもたちにどんな本も読みたくないと思っています」本文にそのような内容はない。

Writing Exercise (1) 「～の2つ[両方]とも」は both of ～ で表す。「(人)に(物)を教える」は、与えられた単語から、〈tell+人+物〉の形にする。something を修飾する形容詞は後ろに置く。

(2) 「…が～なので」は〈because+主語+動詞～〉で表す。「～がある」は〈there are+複数名詞〉の形にする。

(4) 「～と思う」は think (that) ～ で表す。「AはBよりもよい」は A is better than B で表す。

全訳 ブラウン先生：今日、私たちは子どもたちに読んであげる絵本を選ぶ予定です。今3冊の本がありますが、その日は1冊しか読むことができません。

どれにしますか。

マミ：A *Happy Bear and a Sad Lion* をとりあげるべきだと思います。本の中にかわいい動物たちが出てくるので、子どもたちは気に入るでしょう。子どもたちは動物を見るのが好きです。

トム：なるほど。でも、ぼくは *Meow, Meow & Bow-wow* がよりよいと思います。子どもたちはおもちゃで遊ぶことに興味があるし、この本の数ページには大小の穴があります。子どもたちは本に触って遊ぶことができます。

ユウコ：子どもたちのことをもっと考えましょう。彼らはもうすぐ小学校に入ります。私たちは子どもたちに学校生活について教えるべきです。A *Boy's First Day* が最もよい本です。

ブラウン先生：ユウコ、あなたの本について、もう少し私たちに話^①してくれませんか。

ユウコ：はい。それは、ある男の子が初めて学校に行った日についての本です。男の子はさまざまところから来たさまざまな人々に会います。私たちの人生にはよいときも悪いときもあることを、私たちはこの本から学ぶことができます。

マミ：ユウコ、私の本も人生の経験について書いています。クマとライオンがよいときと悪いときを経験するので、人生について学ぶこともできます。

ユウコ：まあ、それならあなたの本と私の本は同じテーマを扱っているのですね！ 両方とも私たちに人生について大切なことを教えてくれます。それなら、あなたの本のほうがよいと思います。子どもたちみんながそれを気に入るといいですね。

トム：ブラウン先生、その日、ぼくたちは何人の子どもたちに会うのですか。

ブラウン先生：20人ぐらいの子どもたちに会います。
トム：20人ですか！ ぼくの本で全員が遊ぶことはできませんね。マミ、きみの本にも動物が出てくると言いましたよね。

マミ：ええ。何度も動物たちを見ることができますよ。
トム：わかりました。それなら、ぼくもきみの本がぼくの本よりもよいと思います。

ブラウン先生：よろしい、これでみんなの意見が一致しましたね。

13 命令文・感嘆文

◆確認問題◆

⇒p.55

- 1 (1) Read (2) Be (3) eat (4) Write
- 2 (1) Get, up (2) Be, quiet
(3) Please, use
- 3 (1) Don't, open (2) Don't, be
(3) Please, don't
- 4 (1) Let's, sing, let's
(2) Let's, walk, let's, not
(3) Let's, play, baseball, sorry, tired
(4) How, hot

解説 1 「～なさい」と命令する文は、動詞の原形で文を始める。

- (2) be 動詞の命令文は原形の Be で始める。
- (3) please は「～してください」とていねいに言うときに使う。あとに動詞の原形を続ける。

2 (1) 主語の You を省略し、動詞の原形で文を始める。

- (2) be 動詞 are の原形は be。
- (3) 「～してください」とていねいに言うときは〈Please+動詞の原形～.〉の形にする。

3 (1)(2) 「～してはいけない」と禁止するときは〈Don't+動詞の原形～.〉で表す。

- (3) 「～しないでください」とていねいに言うときは文の最初か文末に please を置く。

4 (1)～(3) 「～しましょう」と相手を誘うときは〈Let's+動詞の原形～.〉で表す。

- (1)(2) 「はい、そうしましょう」と応じるときは Yes, let's., 「いや、やみましょう」と断るときは No, let's not. を使う。

- (3) 誘いを断るときは I'm sorry, but ～. と理由を述べるとよい。

- (4) 「なんと～でしょう」は〈How+形容詞[副詞]!〉で表す。

◆演習問題◆

⇒p.56～p.57

- 1 (1) Please, play (2) Be, please
(3) Don't, take
(4) Let's, go, sorry, busy (5) What, kind
- 2 (1) Read English books.
(2) Don't be angry about his words.
(3) Please don't enter my room. [Don't enter

my room, please.]

(4) Let's listen to music. — Yes, let's.

- 3 (1) must, help (2) must, not, sit
(3) Shall, we

- 4 (1) イ (2) ウ

- 5 (1) Wash your hands before dinner.

(2) Use this computer, please.

(3) Let's clean the park tomorrow.

(4) Please don't be late for the train.

- 6 (1) Get up at six (o'clock) every morning.

(2) Don't run in the classroom.

(3) Please tell me (about) your dream(s).

[Tell me (about) your dream(s), please.]

(4) Let's watch[see] this movie after lunch.

(5) What an interesting book[books]!

TRY! 英作文①

(例) Let's wait until eleven (o'clock) in the park.

TRY! 英作文②

(例) Please take off your shoes. Please be quiet. Don't eat or drink here, please.

解説 1 (1) 〈Please+動詞の原形～.〉の形に。

(2) 原形の Be で始めて、文末に please を置く。

2 (3) ていねいな言い方にするために、文の最初か文末に please を置く。文末のときは please の前にコンマを置く。

3 (1) 「あなたのお母さんを手伝いなさい」→「あなたのお母さんを手伝わなければいけません」

(2) must not 「～してはいけない」で否定の命令文とほぼ同じ意味を表す。

(3) 「テレビでサッカーの試合を見ましょう」→「(いっしょに)テレビでサッカーの試合を見ませんか」

4 (1) 空所直後の文から断っていることがわかる。

Let's ～. に対して断るときは, No, let's not. を使う。

(2) 宿題で困っている相手にかかる言葉を選ぶ。

Don't worry. 「心配しないで」

5 それぞれ(1) Wash, (2) please, (3) Let's, (4) be を補う。

(4) 「～に遅れる」 be late for ～

6 (3) 「(人)に～について教える」 tell 人 (about) ～

TRY! 英作文① 絵を見て、11時開店の店に10時30分に着いてしまった状況を読みとる。〈Let's+動詞の原形～.〉で「～しましょう」と相手に提案する英文を作ればよい。

別解 Let's go to another cake shop.

TRY! 英作文② 3つの指示内容をそれぞれ肯定の命

命令文と否定の命令文で表す。文の最初か文末に please をつけると、ていねいな言い方になる。「飲食禁止」は「食べたり飲んだりしてはいけない」と考える。「くつを脱ぐ」take off one's shoes, 「静かにする」be quiet

◆実戦問題◆

→p.58~p.59

1 Reading Point

- ① 毎週土曜日午後 1 時～4 時, こずえホール 105 号室
- ② 水, 食材, 調味料とポリ袋を使い, 食材を袋に入れて 20 分程度ゆでる方法。
- ③ 1 つのなべで同時にいくつかの料理を作れる。水を節約でき, 少ない調味料でおいしく調理できる。調理器具をあまり必要としないので, 後片付けも簡単にできる。
- ④ 興味がある。

Words Check

- ① easy ② way ③ cut ④ join
- ⑤ information ⑥ tastes ⑦ dishes
- ⑧ afraid ⑨ perfect

-
- (1) ウ (2) イ (3) (例) Can you take me
 - (4) 1. (例) No, we don't.
2. (例) He will go there next Saturday.
 - (5) イ
-

Writing Exercise

- (1) How about going to the movies?
- (2) (例) I'm [I am] interested in cooking.
- (3) (例) Today's dinner tastes good.

解説 ① (1) ちらしは, パッククッキングの講習会のお知らせ。タイトルとして「パッククッキングのシェフになろう!」が適切。ウ Chef「シェフ」が正しい。ア Cartoonist「マンガ家」, イ Newscaster「ニュースキャスター」, エ Lawyer「弁護士」。

(2) ② 直後の water「水」に注目。また, 第 20～22 行目参照。食材の入った袋をいっしょにゆでて, いくつかの料理を同時に作れるので, 水を節約できる。「節約する」は save。③ 直後の 2 文参照。青木さんはジョンの心配を否定したうえで, 食べ物の味はおいしいと答えている。I'm afraid that ~. は「私は～ではないかと心配だ」を表すので, worse「より悪い」が適切。

(3) 第 33 行目参照。青木さんは「もちろん。それじゃ, 今度の土曜日にそこへ行きましょう」と言っている。これに合わせて, 「ぼくをこの講習会へ連れていってくれますか」という意味を表す文を作る。「～してくれますか」は Can you ~? で表せる。

(4) 1. 質問は「パッククッキングにたくさんの調理器具は必要ですか」という意味。第 17～18 行目参照。

2. 質問は「ジョンは青木さんといつ講習会へ行くでしょうか」という意味。第 31～33 行目参照。

(5) ア「この講習会では料理を作るのに 4 時間かかります」ちらしの第 7～8 行目参照。1 時に始まり, 2 時 30 分に食べ始めるので, 調理時間は 1 時間 30 分とわかる。

イ「ジョンはこの講習会についてもっと知りたければ電話をしなければなりません」ちらしの第 14 行目の内容と合う。

ウ「中学生は大人といっしょにこの講習会に参加する必要があります」ちらしの第 13～14 行目参照。小学生は大人の同伴が必要。

エ「ジョンは今度の土曜日にこの講習会へ参加するため 500 円を支払うでしょう」ちらしの第 10～12 行目と第 33～34 行目参照。食べ物の代金は 300 円, 部屋の使用料は 200 円。ジョンは中学生なので食べ物の代金のみで参加できる。

Writing Exercise (1)「～しませんか」は How about + 動詞の -ing 形 ~?。「映画を見に行く」は go to the movies。

(2)「～に興味がある」は be interested in ~ で表す。「料理(すること)」は cooking。

(3)「～の味がする」は (taste + 形容詞)。「今日の夕食」は today's dinner。主語が 3 人称単数で現在の文なので, taste に -s をつける。

全訳 講習会のちらし

パッククッキングの①シェフになろう!

あなたは簡単な料理方法に興味がありますか。もしそうなら, 「パッククッキング」を試してみてもいいですか。とても簡単です! 食材を切って, ポリ袋に入れて, その袋をお湯の中に入れて, 約 20 分間ゆでてください。

曜日: 毎週土曜日

時刻: 午後 1 時～午後 4 時

(食べ始める時刻: 午後 2 時 30 分)

場所: こずえホール 105 号室

参加費: 1 人 500 円

(食べ物は 300 円, 部屋の使用料は 200 円)

学生は部屋の使用料を払う必要はありません。

❖ 確認問題 ❖

参加するには、小学生の場合は大人の同伴が必要です。くわしくは 123-4567 までお電話ください。

ジョン：今日の夕食はとてもおいしいです！ これはどうやって作ったんですか。

青木さん：まあ、ありがとう。これを見て。「パッキング」よ。必要なのは、水、食材、調味料、ポリ袋だけなの。たくさんの調理器具は必要ないのよ。

ジョン：それはおもしろそうですね！

青木さん：この方法で調理すると、ポリ袋をお湯の中に入れていっしょにゆでることで、いくつかの料理を1つのなべで同時に作れるわ。

ジョン：水を②節約することができるということですよ？

青木さん：その通り。それから、袋を密封する前に、調味料がほんの少し必要だけ。

ジョン：どうしてですか。それだけでいいのですか。

味が③もっと悪くなるんじゃないかな。

青木さん：そんなことないわ！ 食べ物はおいしいわよ。お湯の中で袋を密封するから、調味料の風味が食べ物にすぐ広がるの。料理を楽しんだら、なべとほかにいくつかのものだけ洗えばいい。簡単でしょ？

ジョン：そうですね、なんて簡単なんでしょう！ ぼくはパッキングに興味があります。この講習会へ④ぼくを連れて行っていただけますか。

青木さん：もちろん。それじゃ、今度の土曜日にそこへ行きましょう。あなたは中学生だから、払うのは食べ物の代金だけよ。

ジョン：それは完ぺきですね！ ありがとうございませう、青木さん。

① (1) What (2) Who (3) Where (4) Which
(5) When (6) Why

② (1) What, is (2) Where, do, they
(3) How, did, come
(4) When, does, play
(5) Which, dog, is

③ (1) What, time (2) How, many, books
(3) How, much (4) How, old
(5) Whose, cup

④ (1) Who made dinner last night?
(2) Which bus goes to the station?

- 解説 ① (1)「何を」what, (2)「だれ」who,
(3)「どこに」where, (4)「どちら」which,
(5)「いつ」when, (6)「なぜ」why
- ② (1)「あの動物は何ですか」とたずねる文に。
(2)「彼らはどこで働いていますか」とたずねる文に。
(3)「彼はどのようにして公園に来ましたか」とたずねる文に。
(4)「彼女はいつテニスをしますか」とたずねる文に。
(5)「どちらのイヌがコロですか」とたずねる文に。
(which+名詞)で「どちらの～」を表す。
- ③ (1)「何時」と時刻をたずねるときは What time ~? を使う。
(2)「いくつの～」と数をたずねるときは How many+名詞の複数形 ~? を使う。
(3)「いくら」と値段をたずねるときは How much ~? を使う。
(4)「何歳」と年齢をたずねるときは How old ~? を使う。
(5)「だれの～」と所有者をたずねるときは Whose+名詞 ~? を使う。
- ④ (1)「だれが」を表す Who が主語になるので、(疑問詞+動詞の過去形 ~?) の形で表す。
(2)「どちらの～」を表す Which+名詞が主語になる。主語になる疑問詞は3人称単数扱いになるので、そのあとに goes を続ける。

◆ 演習問題 ◆

⇒p.62~p.63

- ① (1) イ (2) ア (3) オ (4) ウ (5) エ
(6) カ
- ② (1) When, will (2) Which, do, or
(3) How, often, does
(4) How, go, By
(5) Why, did, buy[get], Because
- ③ (1) What did Becky read last night?
(2) Where does Akira live?
(3) When is Kumi's birthday?
(4) Who painted this picture?
- ④ (1) What, time (2) How, old (3) What
- ⑤ (1) What sports do you play?
(2) How far is the station from here?
(3) How long did you stay in Kyoto?
(4) Who is taking pictures in the park?
- ⑥ (1) How many teachers are there in your school?
(2) Who is that boy?
— He's my classmate.
(3) Whose desk is this?
— It's Kate's (desk).
(4) How was your summer vacation?
— It was a lot of fun.
(5) Who visited you yesterday? — Bob did.

TRY! 英作文①

- (1) (例) How old are you?
(2) (例) When did you come to Japan?

TRY! 英作文②

- (1) (例) What are you doing [making]
(2) (例) How many eggs do you need

- 解説** ① ア「放課後です」、イ「公園です」、ウ「3,000円です」、エ「それは私のものです」、オ「3本持っています」、カ「これです」
- (1) Where は場所, (2) When は時, (3) How many は数, (4) How much は値段, (5) 〈Whose + 名詞〉は「だれの～」, (6) 〈Which + 名詞〉は「どちらの～」をたずねる。
- ② (2) 「A と B ではどちらが～ですか」は Which ~, A or B? で表す。
(3) 「どのくらいの頻度で」とたずねるときは How often ~? を使う。
(4) 「どうやって」と手段・方法をたずねるときは How ~? を使う。
(5) 「なぜ」と理由をたずねるときは Why ~? を

使う。理由は Because ~. で答える。

- ③ (4) 「だれが」を表す Who を主語にする。
- ④ それぞれ(1) 「何時ですか」, (2) 「あなたのおじいさんは何歳ですか」, (3) 「明日、何をしますか」とたずねる文にする。
- ⑤ (1) 「どんな～」は〈What + 名詞 ~?〉で表す。
(2) 「どのくらいの距離」とたずねるときは How far ~? を使う。
(3) 「どのくらい長く」と期間をたずねるときは How long ~? を使う。
- ⑥ (3) 「だれの～」は〈whose + 名詞〉で表す。

TRY! 英作文① 表を見て、答えに書かれている内容をたずねる疑問文を考える。

- (1) 年齢をたずねるので How old で文を始め、be 動詞の疑問文を続ける。
(2) 日本に来た日付をたずねるので When で文を始め、一般動詞の過去の疑問文を続ける。

TRY! 英作文② 絵を見て、会話の流れにふさわしい疑問文を考える。

- (1) 2 では母親が現在進行形で今していることを答えているので、「何をしている[作っている]のか」とたずねる文を考える。「何を」とたずねる疑問詞 What で文を始め、現在進行形の疑問文を続ける。
(2) 4 では母親が必要な卵の個数を答えているので、「何個の卵が必要か」とたずねる文を考える。〈How many + 名詞の複数形 ~?〉を使う。

◆ 実戦問題 ◆

⇒p.64~p.65

① Reading Point

- ① わかば市のリエの家からとても遠く離れたところ。
② (2回の)打ち合わせ会(のうち1回)。
③ 今週の水曜日までに。

Words Check

- ① volunteer ② club ③ free
④ far from ⑤ How about ⑥ need to
⑦ in front of

-
- (1) ① イ ② イ ③ エ ④ ア ⑥ ウ
(2) What day is it today
(3) (例) そのコースがわかば中学校から始まっていて、再びそこを訪れたいから。
(4) 1. (例) She practices in the morning every Saturday.
2. (例) They will clean the marathon

course.

.....
Writing Exercise

- (1) Which cap will he buy?
- (2) I need to do one of
- (3) (例) I have to [must] do my homework by next Tuesday.
- (4) (例) Where shall we go next Sunday?

● **解説**

① (1) ① 前後の文より、ユカはリエをボランティアに誘っていると考えられるので、イの Why don't you ~? 「～してはどうですか」が適切。

② ア「あなたはわかば高校に通っています」
イ「あなたはわかば市に住んでいます」
ウ「あなたはマラソンに興味があります」
エ「あなたは土曜日はひまです」
ちらしに書かれているボランティアの応募資格と一致するのは、イ。

③ 第12～13行目より、土曜日の午前中の打ち合わせには、ユカがクラブ活動のために参加できないので、午後に行われる25日に参加すると考えられる。また、第18行目で、リエがわかば中学校からスタートするコースがいいと言っているので、2人が選ぶのはBコース。したがって、エが適切。

④ 直後の文で、ユカが「メールで」と応募の手段を答えているので、「どのようにして」と方法をたずねるアの疑問詞 How が適切。

⑥ 直後の文で、2人は打ち合わせ会の場所であるわかば図書館の前で待ち合わせようとしていることがわかるので、ウが適切。

(2) 直後の文で、ユカが曜日を答えているので、「今日は何曜日ですか」とたずねる文を考える。「何曜日」は What day ~? を使う。

(3) 第18～19行目参照。

(4) 1. 質問は「ユカはいつ音楽クラブで練習をしますか」という意味。第12～13行目参照。答えの文は主語が She なので、動詞を practices と3人称単数現在形にすること。

2. 質問は「ユカとリエは打ち合わせ会のあと、何をしますでしょうか」という意味。第16行目参照。will を使って、未来に行くことを答える。

- Writing Exercise** (1) 「どちらの～」とたずねるので (Which + 名詞) で文を始めて、will の疑問文を続ける。
- (2) 「～する必要がある」は need to ~ で表す。「～の1つ」 one of ~
- (3) 「～しなければならない」は have to か must

で表す。「～までに」という期限は by で表す。

(4) 「どこに」とたずねる Where で文を始める。そのあとに「(私たちは)～しましょうか」と相手を誘う Shall we ~? を続ける。

全訳 ユカ：こんにちは、リエ。新しい学校はどう？
リエ：私の高校はわかば市の私の家からとても遠いけど、すばらしいわ。あなたは？
ユカ：私はわかば高校でうまくやっているわ。ところで、このちらしを見た？
リエ：それは何？
ユカ：これは、2021年わかばマラソンのボランティア活動についてのちらしよ。私はそれに申し込もうとしているの。私といっしょにボランティアを①してはどうかかな。
リエ：私がボランティアになれるの？ 私の高校はこの市にはないけど。
ユカ：もちろん、なれるわ。②あなたはわかば市に住んでいるもの。このちらしを見て。
リエ：よかった。まあ、2回の打ち合わせ会のうちの1回に行く必要があるのね。
ユカ：そうよ、でも、私は毎週土曜日の午前中に音楽クラブで練習をするの。
リエ：ええと、それならこの打ち合わせ会に行きましょう。私は土曜日はひまだし、あなたはその日に音楽クラブに行けるわ。
ユカ：ありがとう。打ち合わせのあと、マラソンのコースをそうじするのよ。この地図を見て。あなたはどのコースを選ぶ？
リエ：私はこのコースを選ぶわ。それはわかば中学校からスタートするわ。私はもう一度、中学校を訪れたいの。
ユカ：いい考えね。それでは、打ち合わせ会に行くのは③10月25日にして、Bコースを選べばいいわ。
リエ：④どのようにして申し込むのかな？
ユカ：メールだよ。今週の水曜日までに申し込まなければならぬわ。
リエ：⑤今日は何曜日かしら。
ユカ：火曜日よ。今日、申し込みましょう。
リエ：わかったわ。打ち合わせ会の日はどこで会いましょうか。
ユカ：⑥わかば図書館の前で会いましょう。そこが打ち合わせの場所だから。
リエ：いいわ。じゃあ、そのときにね。

15 接続詞 (2)

◆確認問題◆

→p.67

- ① (1) and (2) so (3) but (4) or (5) and (6) or
 ② (1) When (2) before (3) because (4) if
 ③ (1) think that the book is interesting
 (2) hope that they can meet
 (3) didn't know that you were
 ④ (1) both, and (2) so, that
 (3) Either, or (4) not, only, but

解説 ① (2) 文の前半が文の後半の理由になっている。「私は空腹でした。だから、私はサンドイッチを作りました」
 (3) 前後の文が対立している内容を表す。後半の文の doesn't のあとに like tennis が省略されている。
 (5)(6) 〈命令文, and〉で「～しなさい、そうすれば…」, 〈命令文, or〉で「～しなさい、さもないと…」 という意味を表す。

- ② (2) 「…が～する前に」という意味は、〈before + 主語 + 動詞 ~〉で表す。
 (3) 「…が～なので」と理由を表すときは、〈because + 主語 + 動詞 ~〉で表す。
 ③ (3) 「～ということを知りませんでした」という否定文は、didn't know that ~ で表す。
 ④ (1) both ~ and ... 「～も…も両方とも」
 (2) so ~ that ... 「とても～なので…」
 (3) either ~ or ... 「～か…のどちらか」
 (4) not only ~ but also ... 「～だけでなく…も」

◆演習問題◆

→p.68~p.69

- ① (1) but (2) or (3) and (4) when (5) while (6) that (7) If
 ② (1) and (2) so (3) until (4) Though (5) hope, that (6) either, or (7) afraid[sorry], that
 ③ (1) 暗くなる前に
 (2) とても難しかったので、私はそれを読むことができませんでした
 (3) 日本の歴史を勉強することは重要[大切]だと言います
 (4) 私の母だけでなく私の父も知っています

- ④ (1) because (2) If (3) Both, and
 ⑤ (1) Wash your hands before you eat.
 (2) lived in Hokkaido when I was a child
 (3) visited you while you were sleeping
 (4) glad that he likes the present
 (5) My brother watched TV after he did his homework.
 ⑥ (1) My sister can play the piano, but I can't [cannot] (play it).
 (2) If it's sunny tomorrow, we will go fishing. [We will go fishing if it's sunny tomorrow.]
 (3) Get up now, or you will be late for school.
 (4) What was she doing when you saw her? [When you saw her, what was she doing?]
 (5) I thought (that) Yumi was studying English then[at that time].

TRY! 英作文

- (1) (例) (that) a lot of[many / lots of] people will come to our festival
 (2) (例) call our school if you have any questions

- 解説** ① (2) 〈Which ~, A or B?〉で「A か B かどちらが～?」という意味を表す。
 (3) 「熱心に勉強しなさい、そうすれば(=and) テストに合格するでしょう」
 (5) while は「～する間に」という意味の接続詞。
 (6) that 以下が know の目的語になる。
 (7) 条件を表す接続詞 if を使い、「もしあなたが忙しいならば～」という意味にする。
 ② (3) 接続詞 until は「～するまで」という意味。
 (4) 接続詞 though は「～だけれども」という意味。
 (5) hope that ~ 「～ということを希望する、望む」
 (7) be afraid[sorry] that ~ 「残念ながら～」
 ③ (3) that 以下の節の主語は、studying Japanese history(日本の歴史を勉強すること)になる。
 ④ (1) 「健は昨日、病気でした。それで彼は学校に行きませんでした」→「健は昨日、病気だったので、学校に行きませんでした」
 (2) 「私の家に来なさい。そうすれば、美しい絵を見ることができるでしょう」→「もし私の家に来たら、美しい絵を見ることができるでしょう」
 (3) 「テッドは15歳です。ケイトも15歳です」→「テッドもケイトも15歳です」
 ⑤ (1) 「(あなたが)食べる前に」 before you eat
 (2) 「私が子どものとき」 when I was a child
 (3) 「あなたが寝ている間に」 while you were sleeping

- (4) 「～ということがうれしい」 be glad that ~
 (5) 「弟(=彼)は宿題をしたあとに」 after he did his homework

- 6 (2) if に続く文では、未来のことでも動詞は現在形を用いる。if it will be としないこと。
 (3) 「～に遅れる」 be late for ~
 (5) thought と過去形になるので、that 以下の動詞も過去形になる(時制の一致)。接続詞 that は省略してもよい。

TRY! 英作文 日本語と英語を見くらべて、日本語にあてはまる英語を考える。

(1) hope (that) ~ や hope to ~ を使って、「～することを希望する、望む」という文を作る。

別解 to meet[see] many people at our festival

(2) 「質問があったら」と条件を言うときは、if ~ を使う。「質問がある」を「質問したい」と考え、want to ask としてもよい。

別解 call us if you want to ask any questions

(3) (例) I decided to go to Canada.

(4) (例) My mother says (that) cooking is easy.

解説 ① (1) 直後の文に注目。ケーキ、ジュース、サラダ、スープなどの具体例から、「食べる方法」だとわかる。エ「方法」が適切。ア「日」、イ「果物」、ウ「木」。

(2) 第1行目参照。them は複数の人や物を指す。

(3) ③ 前後の内容が対立するので、イ but 「しかし、でも」が適切。⑤ she found it の it が指すものと考え、前後のつながりから考える。ア before 「～する前に」が正しい。

(4) 第10～11行目参照。

(5) 接続詞 so 「だから」に注目。空所の前の部分「バナナの皮からプラスチックを作るのは簡単である」が理由、空所はその結果を表す。エ「それを家で作れる」が適切。ア「バナナの皮からできたプラスチックを減らさなければならない」、イ「バナナの皮を食べることができる」、ウ「それを海で捨てるのをやめなければならない」。

(6) 1. 質問は「インド人の男の子は何について研究しましたか」という意味。第10～12行目参照。

2. 質問は「トルコの女の子はなぜバナナの皮に注目しましたか」という意味。第14～16行目参照。接続詞 because のあとに理由が続く。

(7) ア「バナナはとても健康によく、それについてほかにもよい点があります」第3～4行目参照。イ「インド人の男の子の研究は成功しましたが、今はプラスチックごみを減らすことができません」第12～13行目に合わない。

ウ「トルコの女の子は石油由来のプラスチックを減らしたくて、環境にやさしいプラスチックを作りました」第14～17行目参照。

エ「トルコの女の子は新しい種類のプラスチックを作るのに2年の努力を必要としました」第16～18行目参照。

(8) まとめは「世界の多くの人々はバナナを食べるのが好きです。プラスチック製品を減らすために、バナナの葉や皮を使う人がいます。あなたが周りを見れば、～」という意味。第2, 3段落で紹介される具体例、第21行目の they can save the earth 「それら [=バナナ] は地球を救うことができる」から、ア「あなたは地球にとって何かよいものを作る新しいアイデアを発見するかもしれない」が適切。イ「あなたは丈夫なプラスチック製の皿を見つけて何度も使うことができるかもしれない」、ウ「あなたは世界中にバナナが好きの人がたくさんいることを知るだろう」、エ「あなた

❖ 実戦問題 ❖

⇒p.70～p.71

1 Reading Point

- ① プラスチックについての問題。
 ② プラスチック製の皿の使い捨てによって、プラスチックごみが多いこと。
 ③ 新しいプラスチック。
 ④ 人気のある食べ物であると同時に、地球を救えること。

Words Check

- ① love ② healthy ③ plastic
 ④ decide ⑤ finally ⑥ understand
 ⑦ wonderful ⑧ studied ⑨ found
 ⑩ around the world ⑪ at the same time

- (1) エ (2) bananas (3) ③ イ (5) ア
 (4) (例) バナナの葉をより強くして、バナナの葉の皿をより長く使うこと。
 (5) エ
 (6) 1. (例) He studied about banana leaves.
 2. (例) Because many people in the world throw them away.
 (7) イ (8) ア

Writing Exercise

- (1) was able to speak three languages
 (2) There are many ways to learn

は人々がバナナをたくさんの種類の食べ物の中に入れてることを知るだろう」。

Writing Exercise (1)「～することができる」は be able to ～ で表せる。過去の文なので、be 動詞は was。あとに動詞の原形 speak を置く。

(2)「～があります」は There are ～. の文で表す。「たくさんの方法」は many ways。「英語を学ぶ(ための)」を〈to+動詞の原形(learn)〉で表し、ways の後ろに置く。

(3)「～することに決める」は decide to ～。

(4)「～だと言う」は say (that) ～ で表す。主語 My mother は 3 人称単数なので、say に -s をつける。接続詞 that のあとは〈主語+動詞 ～〉。「料理(すること)」は cooking。

全訳 バナナが大好きな人はたくさんいます。それらを食べる①方法は世界中にたくさん見つけることができます。たとえば、②それらをケーキ、ジュース、サラダに加えたり、スープに入れたりする人さえいます。また、バナナはとても健康によく、ほかにもよい点があります。実際、バナナはプラスチックについての問題を解決するかもしれません。

インドにはバナナの葉を皿として使う人たちがいます、③しかしそれらの皿はたった数日しか使えません。今日、ほかの国の人々のように、インドの人々はプラスチック製品をたくさん使っています。たとえば、彼らはプラスチック製の皿を使います。彼らは皿を使ったあとにふつつ捨ててしまいます。結果として、国内にプラスチックごみがたくさんあります。それは大きな問題です。ある日、インド人の男の子が④その問題を解決することに決めました。彼はバナナの葉をより強くして、バナナの葉の皿をより長く使いたいと思いました。彼はバナナの葉について研究し、ついに成功しました。今、彼らはプラスチックごみを減らすことができます。

これだけではありません。トルコの女の子は石油由来のプラスチックを減らしたいと思いました。そして彼女はバナナの皮に注目しました、なぜなら世界の多くの人々がそれらを捨てるからです。ついに、彼女は新しいプラスチックの作り方を見つけました。それは地球にやさしいものでした。彼女はそれを発見する⑤前に、家で何度も試しました。2年の努力のあと、彼女はその種類のプラスチックを作ることができました。彼女はプラスチックをバナナの皮から作るのは簡単なので、だれでも⑥家で作れると言います。

今、あなたはバナナのすばらしい点を理解しています。バナナは人気の食べ物であると同時に、地球を救うことができます。

16 不定詞 (1)

◆確認問題◆

⇒p.73

- 1 (1) to, sing (2) to, visit (3) To, speak (4) to, study (5) to, be[become]
- 2 (1) to, watch (2) to, help (3) To, play (4) to, read (5) to, hear
- 3 (1) things to do (2) anything to eat (3) many places to see (4) something hot to drink

解説 1 「～すること」は名詞的用法の不定詞。〈to + 動詞の原形〉で表す。

(1)(2)(4) 不定詞が一般動詞の目的語になっている。

(3)「話すこと」は to speak。ここでは文の主語になっている。

(5)「～になること」は to be[become] ～。ここでは補語になっている。

2 (1)(2)「～するために」は目的を表す副詞的用法。〈to+動詞の原形〉を使う。

(3) 目的を表す副詞的用法は Why ～? に答えるときにも使われる。

(4)(5)「～して」は感情の原因・理由を表す副詞的用法。〈to+動詞の原形〉を使う。

3 「～する(ための)」 「～するべき」は形容詞的用法の不定詞。〈(代)名詞+to+動詞の原形〉の語順にする。

(4) 形容詞は -thing のあとに置かれるので、〈something+形容詞+to+動詞の原形〉の語順にする。

◆演習問題◆

⇒p.74～p.75

- 1 (1) to, see (2) to, write (3) to, borrow (4) to, swim (5) to, do
- 2 (1) to, go (2) to, read (3) to, grow (4) to, show (5) To, learn[study] (6) to, visit (7) To, answer, is
- 3 (1) 1時間前に彼の車を洗い始めました (2) その試合に勝つために、いっしょうけんめいにサッカーを練習しました (3) 電車で読むための本を(何冊か)ほしがっています (4) 公園で絵をかくことは (5) そのパーティーに遅れて申し訳なく思いました

た

- 4 (1) My dream is to travel around the world.
 (2) Mr. Sato was happy to talk with you.
 (3) I would like to meet Paul.
 (4) Did they find a house to live in?
 (5) She came to Japan to teach English.
 (6) Ken wants something good to eat.
- 5 (1) To listen to music is a lot of fun.
 (2) Judy got up early to cook[make] breakfast this morning.
 (3) I have some friends to help me.
 (4) What do we need[have] to bring?
 (5) She looked very surprised to hear the news.

TRY! 英作文①

- (1) (例) I want to be[become] an English teacher (in the future).
 (2) (例) I want something cold to drink.
 (3) (例) I'm sad to lose my favorite bag.

TRY! 英作文②

(例) I like to listen to music. My favorite music is Japanese rock music. When I listen to it, I feel excited.

解説

- 1 (1) 「～したい」は want to ～ で表す。
 (3) 「～を借りるために」は to borrow ～。
 (4) 「～することが好き」は like to ～。to のあとは動詞の原形なので swim とする。
- 2 (2) 「～を読んで」は to read ～。
 (3) 「～を栽培すること」は to grow ～。
 (5) Why ～? に対して目的を答える。「～を学ぶためです」は To learn ～. で表す。
 (7) 「～に答えること」は to answer ～。不定詞が主語の文では主語は 3 人称単数扱いなので、「～です」は is を使う。
- 3 (1) began は begin の過去形。begin to ～ は「～し始める」を表す。
 (2) 目的を表す副詞的用法。to win ～ は「～に勝つために」という意味。
 (3) 形容詞的用法。to read は「読むための」を表す。
 (5) 感情の原因・理由を表す副詞的用法。to be late for ～ は「～に遅れて」を表す。
- 4 (1) 「世界中を旅すること」は to travel around the world. 補語なので is のあとに続ける。
 (2) 「あなたと話ができて」は to talk with you で、形容詞 happy のあとに続ける。
 (3) 「～したいのですが」は would like to ～。

want to ～ よりもていねいな表現。

- (4) 「住むための家」は形容詞的用法で a house to live in.
 (5) 「英語を教えるために」は目的を表す副詞的用法で to teach English.
 (6) 形容詞 good 「おいしい」は something のあとに置く。
- 5 (1) 「音楽を聞くこと」to listen to music が主語の文。「～です」は is を使う。
 (3) 形容詞的用法の文。「私を手伝ってくれる」を不定詞で表し、some friends のあとに置く。

TRY! 英作文①

- (1) I want to be[become] ～. で表す。be[become]のあとには職業名を続ける。
 (2) 「何か冷たい飲み物」はく something + 形容詞 + to + 動詞の原形)の語順にする。
 (3) 「かばんをなくして」を不定詞で表して I'm sad のあとに続ける。

TRY! 英作文②

自分が好きなことを I like to ～. で表す。「テニスをする」「テレビを見る」などの表現はきちんと覚えておこう。

別解 I like to play soccer. It's popular in our school. My friends and I go to the park to play soccer on Sunday(s).

◆実戦問題◆

⇒p.76～p.77

1 Reading Point

- ① それが古くなりすぎたので。
 ② 新幹線車内の清掃をしていた。
 ③ 新幹線清掃労働者のすばらしい仕事。

Words Check

- ① problem ② famous ③ quickly
 ④ changed ⑤ checked ⑥ arrives at
 ⑦ agreed with

- (1) ア (2) were surprised to see (3) イ
 (4) (例) 限られた時間内で新幹線を清掃し終えること。
 (5) エ
 (6) 1. (例) It usually stays there for twelve minutes.
 2. (例) They have seven minutes.
 (7) ア, オ (8) ウ → ア → イ

Writing Exercise

- (1) the way to cook breakfast in ten minutes
 (2) listened to music after I came back

- (3) (例) We can swim in the pool three times a week.
 (4) (例) Ken finished cleaning his room in a short time.

解説 ① (1) enough は形容詞で「十分な」という意味。

(2) ここでの (to+動詞の原形) は「～して」を表す。

(4) 直前の第 21 行目の内容を指す。

(5) ア「ぼくたちは東京でバスケットボールの試合を見ることができます」

イ「ぼくたちはインターネットで清掃労働者をさがすことができます」

ウ「ぼくたちは清掃によって多くの人々を感動させることができます」

エ「ぼくたちはよいチームワークで向上することができます」第 24～25 行目の内容と自然につながる。

(6) 1. 質問は「新幹線はたいいどれくらい東京駅にとどまりますか」という意味。第 12 行目参照。

2. 質問は「新幹線をそうじするために、新幹線清掃労働者には何分ありますか」という意味。第 14～15 行目参照。

(7) ア「高志のチームは 4 月に週 3 回、市立体育館を使い始めました」第 2～4 行目の内容と合う。

イ「高志のチームは有名なバスケットボールチームと練習するために東京に行きました」第 6～7 行目参照。試合を見るために東京に行った。

ウ「高志は新幹線清掃労働者の仕事に興味がありませんでした」第 9～10 行目参照。新幹線清掃労働者についてもっと知りたくて、インターネットを調べた。

エ「新幹線は、高志のチームがそのために熱心に働いたので時間通りに運行します」本文に「高志のチームが新幹線のために熱心に働いた」という内容はない。

オ「新幹線清掃労働者は高志のチームにチームワークの重要性を示しました」第 21～24 行目の内容と合う。

(8) 本文の流れに合わせて選択肢を並べると以下の通り。

ウ「高志と彼のチームメートは毎日、学校でバスケットボールを練習しました」→

ア「高志と彼のチームメートは新幹線で東京に行きました」→

イ「高志は新幹線の清掃作業を調べるためにインターネットを使いました」

Writing Exercise (1) 「～する方法」は the way to ～。

(2) after はここでは接続詞なのであとに (主語+動詞～) を続ける。

全訳 ぼくはぼくたちの学校のバスケットボールクラブの主将です。ぼくたちのチームは毎日、学校の体育館で練習していましたが、それは古くなりすぎました。それで、4 月からぼくたちは市立体育館で練習しなければなりません。ぼくたちはそこを週に 3 回しか使えません。練習するための①十分な時間がもてないので、何人かのメンバーは不満を言います。主将として、ぼくはこの問題を心配していました。

5 月に、ある特別な出来事がぼくたちのチームをかえました。ぼくたちは有名なバスケットボールチームの試合を見るために東京に行きました。ぼくたちのチームが新幹線を降りたとき、ぼくたちは労働者のグループを見ました。②ぼくたちは彼らの仕事を見て驚きました。彼らは短時間で新幹線のテーブルやいすをそうじしていました。ぼくは本当に彼らについてもっと知りたかったので、それでぼくは家でインターネットを調べました。

彼らの仕事はたくさんの人々を感動させます。新幹線は東京駅に着き、そしてすばやく出発します。それはたいいそこに 12 分間とどまります。乗客は新幹線から下車するのに 2 分間、必要とします。次の乗客はたいい同じ新幹線に③乗車するのに 3 分間、必要とします。だから彼らの清掃時間はわずか 7 分だけです。すべての労働者は 7 分で清掃を終える方法を知っています。彼らの清掃作業のおかげで、新幹線は時間通りに走ります。

学校に戻ったあと、ぼくたちのチームは東京での出来事について考えました。バスケットボールの試合について話した部員がいました。自分の好きな選手について話した部員もいました。しかしながら、ぼくたちは全員、新幹線清掃労働者のすばらしい仕事について話しました。だれもがそのことに同意しました。彼らは限られた時間で新幹線をそうじし終えます。チームワークの大切さを理解しているので彼らは④そうすることができる、とぼくたちは考えています。1 人の労働者が自分の仕事を終えないときは、別の労働者がすばやく彼を助けます。彼らがおたがいに助け合うやり方からぼくたちは多くを学ぶことができます、と思います。ぼくたちのチームは限られた時間と場所で練習しますが、⑤よいチームワークで向上することができます。

◆ 確認問題 ◆

→p.79

- ① (1) reading (2) Using (3) selling
(4) running (5) Getting
- ② (1) like, watching (2) finished, washing
(3) is, taking (4) Singing, is
- ③ (1) playing (2) to see (3) to study
(4) crying
- ④ (1) without, looking (2) about, practicing
(3) after, cleaning (4) in, making
(5) of, speaking

解説 ① 「～すること」を1語で表す場合は、動名詞(動詞の-ing形)にする。

(2) eで終わる語はeをとって-ingをつける。

(4)(5) 〈短母音+子音字〉で終わる語は、子音字を重ねて-ingをつける。

- ② (1) 「～することが好き」は2語では like ~ing。
(2) 「～することを終える」は finish ~ing。
(3) 動名詞は補語にも使われる。
(4) 動名詞が主語の文。3人称単数扱いなので「～です」は is を使う。
- ③ (1)(4) enjoy, stop は動名詞を目的語にとる。動詞の-ing形を選ぶ。
(2)(3) want, hope は不定詞を目的語にとる。〈to+動詞の原形〉を選ぶ。
- ④ (1) without ~ing 「～しないで」
(2) How about ~ing? 「～してはどうですか」
(3) after ~ing 「～したあとで」
(4) be interested in ~ing 「～することに興味がある」
(5) be afraid of ~ing 「～することを恐れる」

◆ 演習問題 ◆

→p.80~p.81

- ① (1) to draw (2) cleaning (3) looking
(4) to work
- ② (1) about, helping (2) is, writing
(3) at, swimming (4) by, reading
(5) without, eating[having] (6) Answering, is
(7) finished, cutting
- ③ (1) 1. 彼[彼女]らは話すことをやめました。
2. 彼[彼女]らは話すために立ち止まりました。
(2) 1. 彼の仕事は数学を教えることです。

2. 彼は今、数学を教えています。
(3) 1. 彼女はその箱を開けようとしてました。
2. 彼女は試しにその箱を開けてみました。
(4) 1. 私はこの本を読んだことを覚えています。
2. 忘れずにこの本を読みなさい。

- ④ (1) skating (2) Climbing (3) practicing
(4) watching
- ⑤ (1) We often enjoy visiting old cities.
(2) mustn't be afraid of making mistakes
(3) Seeing animals is a lot of fun for
(4) My sister's job is taking care of
(5) We are looking forward to meeting you
- ⑥ (1) Thank you for calling me.
(2) Singing English songs is difficult[hard] for them.
(3) I finished doing my homework before dinner.
(4) Her hobby is playing the violin.
(5) Paul is interested in collecting (post)cards.

TRY! 英作文①

- (1) (例) often enjoys listening to music
(2) (例) often enjoys riding a[his] bike
(3) (例) often enjoys walking (with) her[our] dog

TRY! 英作文②

- (1) (例) I'm good at playing the guitar.
(2) (例) Swimming well is difficult[hard] (for me).

解説 ① (1) want は不定詞を目的語にとる。want to ~で「～したい」。

(2) finish は動名詞を目的語にとる。finish ~ingで「～することを終える」。

(3) enjoy は動名詞を目的語にとる。enjoy ~ingで「～することを楽しむ」。

(4) decide は不定詞を目的語にとる。decide to ~で「～することを決める」。

- ② (3) 「～することが得意だ」 be good at ~ing
(7) 「～することを終える」 finish ~ing 「～を切る」は cut。tを重ねて-ingをつける。

- ③ (1) 1. stop ~ing 「～することをやめる」
2. 目的を表す副詞的用法の不定詞で「～するために立ち止まる」を表す。
(2) 1. 補語が動名詞の文。teaching math 「数学を教えること」
2. 現在進行形の文。
(3) 1. try to ~ 「～しようと試みる」
2. try ~ing 「試しに～してみる」

- (4) 1. remember ~ing 「～したことを覚えている」
 2. remember to ~ 「忘れずに～する」

4 (1)(3) like, start は動名詞と不定詞の両方を目的語にとるので、不定詞の部分をも動名詞にする。

(2) 不定詞も動名詞も主語として使われる。不定詞の部分をも動名詞にする。

(4) before には接続詞のほかにも前置詞の用法もある。before ~ing で「～する前に」を表す。

5 (1) 「～を訪れることを楽しむ」は enjoy visiting ~。often はふつう一般動詞の前に置く。

(2) 「～することを恐れる」be afraid of ~ing

(3) 「動物を見ること」は seeing animals で主語になる。「～です」は is を使う。

(4) 主語は「私の姉の仕事」の My sister's job。「～の世話をすること」taking care of ~

(5) 「～するのを楽しみに待つ」look forward to ~ing

6 (1) 「～してくれてありがとう」Thank you for ~ing.

(4) 主語は「彼女の趣味」を表す Her hobby。「バイオリンをひくこと」は動名詞を使って playing the violin と表す。

TRY! 英作文① 「…はよく～することを乐しみます」という文を、... often enjoy(s) ~ing. で表す。

TRY! 英作文② 自分が得意なことは「私は～することが得意です」という文にする。be good at ~ing を使うとよい。難しいことは動名詞を主語にして、「～することは私には難しいです」という文にする。

別解 (1) I'm good at cooking curry.

(2) Speaking English well is difficult [hard] (for me).

❖ 実戦問題 ❖

⇒p.82~p.83

1 Reading Point

- ① 人形をあやつる人。
 ② (人形を)あやつる人, (芝居を)語る人, 三味線の演奏者。
 ③ 日本のほかの伝統的なこと。

Words Check

- ① culture ② person ③ different
 ④ important ⑤ show ⑥ excited
 ⑦ interested in ⑧ each other

 (1) ① watching ② taking

(2) (例) 私たちにとって、文楽のような日本の伝統的な文化を未来へ伝えることは重要だということ。

(3) (例) 異なる国の文化について学ぶこと。

(4) (例) Because the shamisen players expressed the feelings of the puppets by using different sounds.

(5) イ, オ

(6) A play B players C learned D learning

Writing Exercise

(1) showed me the way to play the piano

(2) Keeping a diary in English is one of the best ways

(3) (例) We were excited to watch [see] today's game [match].

(4) (例) Let's try to make a cake for them.

解説 1 (1)① ここでの after は前置詞なのであと動名詞にする。

(2) 第 26 ~ 28 行目の内容をまとめる。

(3) 第 23 ~ 25 行目参照。

(4) 質問は「恵子はなぜ三味線の音を聞いてわくわくしましたか」という意味。第 11 ~ 13 行目参照。

(5) ア「メアリーは学生で、先月オーストラリアから日本に来ました」第 3 ~ 4 行目参照。メアリーはアメリカ出身。

イ「恵子は配役の個性と感情を示すために人形の目を動かすことは大切だと考えていました」第 7 ~ 8 行目の内容と合う。

ウ「メアリーと由美と恵子が文楽を見たとき、人形をあやつる人はたびたび楽しそうにまたは悲しそうに見えました」第 9 行目参照。楽しそうにまたは悲しそうに見えたのは人形。

エ「人形をあやつる人はいろいろな声で話すことによって人形の感情を表現しました」第 10 ~ 11 行目参照。人形をあやつる人ではなく語る人。

オ「メアリーと由美と恵子は人形の 1 つをあやつり、恵子はその脚をあやつりました」第 17 ~ 20 行目の内容と合う。

(6) D : 主語なので動名詞の形が適切。

「メアリーと由美と恵子は国立文楽劇場で日本の伝統的な人形劇の文楽を見ました。恵子はあやつる人, 語る人, 三味線の演奏者の仕事に興味をもつようになりました。芝居のあと、彼女たちはそこの男性から文楽についていくつかのこと^㉔を学びました。恵子はいろいろな国の文化につ

いて、^①学ぶことと日本の伝統的な文化を伝えることは重要だと考えました」

Writing Exercise (2)「英語で日記をつけること」keeping a diary in Englishが主語の文。

(4)「～してみましょう」はLet's～。 「～しようと試みる、～してみる」はtry to～を使う。

全訳 こんにちは、みなさん。今日、私は文楽について話したいと思います。それは日本の伝統的な人形芝居です。この前の日曜日、姉の由美が文楽を見るためにメアリーと私を国立文楽劇場に連れていってくれました。メアリーはアメリカ出身の学生です。彼女は日本文化にとっても興味をもっています。

文楽を見たとき、私は人形をあやつる人に興味をもつようになりました。3人の人たちが1つの人形をあやつりました。それぞれの人が人形の異なる部分をあやつりました。人形の目を動かすことが配役の個性や感情を示すためにとても重要だと私は思いました。あるときには人形は楽しそうに、またあるときには悲しそうに見えました。また、芝居を語る人がいました。語る人はそれぞれの人形のために異なった声で感情をこめて語りました。それから、三味線の演奏者はいろいろな音を使うことによって人形の感情を表現するので、私は三味線の音を聞いてとてもわくわくしました。

文楽を^①見たあとで、私たちは国立文楽劇場の男性からそれについていくつかのことを学びました。彼は「人形をあやつる人と語る人と三味線の演奏者はよい芝居を作るために力を合わせて働きます。彼らは毎日たくさん練習します。さあ、人形をあやつってみましょう」と言いました。それで、私たちは人形の1つをあやつろうと試みました。彼は私たちに人形のあやつり方を見せてくれました。由美は頭と右腕をあやつりました。メアリーは左腕を、私は脚をあやつりました。人形をあやつることは難しかったのですが、おもしろかったです。

帰る途中で、メアリーは「由美、私をそこに^②連れていってくれてありがとう。私は日本文化と日本の人々により興味をもつようになりました」と言いました。由美はメアリーに「それを聞いてうれしいわ。いろいろな国の文化について学ぶことは、いろいろな国の人々を理解するのに最もよい方法の1つだと思うわ。あなたと恵子はおたがいからたくさん学ぶことができるわね」と言いました。

文楽は長い歴史をもち、私たちは今もそれを楽しむことができます。由美は「文楽のような日本の伝統的な文化を将来に伝えることは私たちにとって大切だと思うわ」と言いました。私も^③そう思います。それで私は文楽と日本のほかの伝統的なことについてもっと学びたいです。

18 比較 (1)

◆確認問題◆

→p.85

- (1) longer, longest (2) cooler, coolest
(3) cuter, cutest (4) busier, busiest
(5) hotter, hottest (6) bigger, biggest
(7) better, best (8) more, most
(9) better, best (10) worse, worst
- (1) newer (2) nicer (3) easier
(4) harder
- (1) smallest (2) largest (3) happiest
(4) best
- (1) more interesting (2) most beautiful
(3) more important (4) most famous
(5) more slowly

解説 ① (3) eで終わる語は -r, -stをつける。

(4) 〈子音字+y〉で終わる語は yを iにかえて -er, -estをつける。

(5)(6) 〈短母音+子音字〉で終わる語は子音字を重ねて -er, -estをつける。

(7)(8)(9)(10) 不規則変化の語。

② 「…よりも～」は比較級の文。()内の語を比較級にする。

(2) niceは eで終わる語なので、-rをつける。

(3) easyは〈子音字+y〉で終わる語なので、yを iにかえて -erをつける。

③ 「…の中でいちばん～」は最上級の文。()内の語を最上級にする。

(4) wellは不規則変化で、最上級は best。

④ (1) 「おもしろい」は interesting。比較的つづりの長い語の比較級は前に moreを置く。

(2) 「美しい」は beautiful。最上級は前に mostを置く。

(3) 「大切な」は important。比較級は前に moreを置く。

(4) 「有名な」は famous。最上級は前に mostを置く。

(5) 「ゆっくり」は slowly。〈形容詞+ly〉の副詞の比較級は前に moreを置く。

◆演習問題◆

→p.86~p.87

- (1) newer (2) busiest (3) better
(4) most important (5) more quickly

- ② (1) longer (2) the, best
(3) hotter, than
(4) the, most, interesting
- ③ (1) hardest, of (2) more, than
(3) later, than (4) much, larger, than
(5) the, highest, mountain
(6) most, famous, in
- ④ (1) smaller, than (2) more, difficult
(3) the, youngest, of
- ⑤ (1) John sings better than Mark.
(2) February is the shortest month of the year.
(3) This tree is a little taller than my house.
(4) That picture is the most famous in this museum.
- ⑥ (1) He looks the strongest in his team.
(2) That building is older than our school.
(3) I get up (the) earliest in my family.
(4) This dictionary is the most useful of the five.
(5) I think (that) reading (books) is more exciting than watching TV.

TRY! 英作文①

- (1) (例) Soccer is more popular than basketball [volleyball].
(2) (例) Baseball is the most popular of all sports.

TRY! 英作文②

- (1) (例) Ken swam [could swim] faster [better] than Bob [Koji].
(2) (例) John swam [could swim] (the) fastest [best] of the four.

解説

- ① (1) あとが than なので比較級の文。
(2) 前の the, あとの in から最上級の文とわかる。〈子音字+y〉で終わる語なので, y を i にかえて -est をつける。
(3) あとが than なので比較級の文。good は不規則変化で比較級は better。
(4) 前の the, あとの of から最上級の文とわかる。important の最上級は前に most を置く。
(5) あとが than なので比較級の文。quickly の比較級は前に more を置く。
- ② (1) 「私の髪は姉[妹]のよりも長いです」
(2) 「亜美はクラスでいちばんじょうずにテニスをします」
(3) 「日本では8月は7月よりも暑いです」
(4) 「あなたのスピーチはすべての中でいちばんお

もしろいです」

- ③ (2) 「たくさんの」を表す many の比較級は不規則変化で more。
(3) 「遅く」は late. e で終わるので比較級は -r をつける。
(4) 比較級を強調する「ずっと」は much. 比較級の前に置く。
(5) 「いちばん高い山」は〈the+最上級+名詞〉の語順にする。
- ④ (1) 「私のイヌはあなたのものよりも大きいです」→「あなたのイヌは私のものよりも小さいです」
(2) 「私にとって数学は理科よりも簡単です」→「私にとって理科は数学よりも難しいです」
(3) 「誠は明よりも年上です。翔太は明よりも若いです」→「翔太は3人の中でいちばん若いです」
- ⑤ (1) 「～よりもじょうずに」は well の比較級 better を使い better than ～。
(2) 「いちばん短い月」は the shortest month.
(3) 「～よりも高い」は taller than ～。「少し」は a little で比較級の前に置く。
(4) 「いちばん有名な」は the most famous.
- ⑥ (1) 「～に見えます」なので〈look+形容詞〉の形を使う。「強い」は strong で「いちばん～」なので最上級にする。
(3) 「早く起きる」は get up early. early の最上級は y を i にかえて -est をつける。副詞なので the はつけなくてもよい。
(5) 「わくわくする」は exciting で, 比較級は more exciting. 「本を読むこと」reading books と「テレビを見ること」watching TV を比較する。

TRY! 英作文①

(1) グラフから, サッカーはバスケットボールやバレーボールよりも人気があることがわかる。

(2) グラフから, 野球はいちばん人気があることがわかる。

TRY! 英作文②

(1) 絵の中で, 健は2位だとわかる。「健はボブ[耕司]よりも速く[じょうずに]泳ぎました[泳げました]」という文にする。

(2) 絵の中でジョンは1位。「ジョンは4人の中で最も速く[じょうずに]泳ぎました[泳げました]」という文にする。「泳ぐ人」の swimmer を使って、「ジョンは4人の中で最も速く[じょうずに]泳ぐ人です」と表してもよい。

別解 John is the fastest [best] swimmer of the four.

◆ 確認問題 ◆

→p.89

- ① (1) as, old, as
 (2) not, as, small
 (3) as, well, as
 (4) doesn't, as, early, as
- ② (1) Which, newer, or
 (2) Who, younger, or
 (3) Which[What], the, longest
- ③ (1) better, than
 (2) like, the, best
 (3) Which, better, or
 (4) What, like, best
- ④ (1)ほかのどの少女よりも若い[年下]です
 (2) 最も有名な都市のうちの1つです
 (3) だんだん寒く
 (4) できるだけ早く

- 解説** ① (1) 「…と同じくらい～」は〈as+形容詞[副詞]+as ...〉で表す。「古い」は old。
 (2) 「…ほど～ではない」は not as ~ as ... で表す。「小さい」は small。
 (3) as ~ as ... の文。「じょうずに」は well。
 (4) not as ~ as ... の文。主語が3人称単数で、一般動詞の否定文なので doesn't を使う。
- ② (1)(2) 「A と B ではどちらのほうが～ですか」は〈Which ~ 比較級, A or B?〉で表す。(2)は「人」についてたずねるので疑問詞は who を使う。
 (3) 「いちばん長い川」は〈the+最上級+名詞〉で the longest river。
- ③ (1) 「…よりも～のほうが好きだ」は like ~ better than ...。
 (2) 「～がいちばん好きだ」は like ~ (the) best。
 (3) 「あなたは A と B ではどちらのほうが好きですか」Which do you like better, A or B?
 (4) 「あなたは何(の～)がいちばん好きですか」What (~) do you like (the) best?
- ④ (1) 〈比較級+than any other+単数名詞〉「ほかのどの…よりも～」
 (2) 〈one of the+最上級+複数名詞〉「最も～な…のうちの1つ[1人]」
 (3) 〈比較級+and+比較級〉「ますます～, だんだん～」
 (4) as ~ as possible 「できるだけ～」

- ① (1) cold (2) better (3) and (4) the best
- ② (1) as, beautiful, as
 (2) isn't, as, as
 (3) Which[What], mountain, highest
 (4) younger, than, boy
 (5) More, and, more
 (6) times, as, as
- ③ (1) Which, hotter, or
 (2) Who, the, earliest
 (3) Which, better, or
 (4) What[Which], the, best
- ④ (1) you, can
 (2) newer, than
 (3) as, well
 (4) taller, any, other
- ⑤ (1) They can't run as fast as Ken.
 (2) This book is as interesting as that one.
 (3) one of the kindest girls in our class
 (4) The singer is more popular than any other musician
- ⑥ (1) My brother speaks English as well as your sister.
 (2) This box isn't as heavy as that one[box].
 (3) I think (that) the world is getting [becoming] smaller and smaller.
 (4) Aya likes basketball (the) best of all sports.
 (5) Which[What] is the most difficult question for you?

TRY! 英作文①

- (1) (例) I like summer better than winter.
 (2) (例) I like Japanese the best (of all subjects).

TRY! 英作文②

- (1) (例) Tama is as big as Momo.
 (2) (例) Nana isn't as old as Tama.

解説 ① (1) as と as の間の形容詞は原級。

- (2) 前の like, あとの than から like ~ better than ... の文とわかる。
 (3) cooler が 2 つあるので〈比較級+and+比較級〉の文。
 (4) 前の like, あとの of all から like ~ the best of ... の文とわかる。
- ② (2) 「…ほど～ではない」は not as ~ as ...。
 (4) 「ほかのどの少年よりも年下だ」は〈比較級+than any other+単数名詞〉を使う。

(5) 「ますます多くの子どもたち」は〈比較級+and+比較級〉を使う。many「多くの」の比較級は more。

(6) 「3倍の長さ」は「…の一倍～」の - times as ~ as ... を使う。

3 (1) 「彼の国では6月と10月ではどちらが暑いですか」

(2) 「彼女の家族の中でだれがいちばん早く起きますか」

(3) 「あなたは柔道と剣道ではどちらのほうが好きですか」

(4) 「彼女は何[どの]色がいちばん好きですか」

4 (1) as ~ as possible は「できるだけ～」で、〈as ~ as+代名詞の主語+can〉でも表すことができる。ここでは命令文なので主語は you にする。

(2) 「私のギターはあなたのもほど新しくありません」→「あなたのギターは私のものよりも新しいです」

(3) 「由美はアンよりもじょうずにピアノをひきます」→「アンは由美ほどじょうずにピアノをひきません」

(4) 最上級の内容は〈比較級+than any other+単数名詞〉でも表すことができる。

5 (1) 「…ほど～ではない」の文。not as ~ as ... の形にする。

(2) 「あの本と同じくらいおもしろい」は as interesting as that one. book のくり返しを避けるために one が使われている。

(3) 「最も親切な女の子のうちの1人」one of the kindest girls

(4) 〈比較級+than〉のあとに「ほかのどの音楽家」の any other musician を続ける。

6 (1) 「…と同じくらいじょうずに」は as well as ...

(3) 「ますます小さい」は smaller and smaller.

(4) 「…の中で～がいちばん好きだ」は like ~ (the) best of ... で表す。

(5) 「いちばん難しい問題」は the most difficult question. 疑問詞は which[what]を使う。

TRY! 英作文① (1) 質問は「あなたは夏と冬ではどちらのほうが好きですか」という意味。表から「夏」のほうが好きと答える。

(2) 質問は「あなたは何の教科がいちばん好きですか」という意味。表から「国語」がいちばん好きと答える。

TRY! 英作文② (1) タマとモモはほぼ同じ大きさ。「タマはモモと同じくらい大きい」という文にする。
(2) ナナはタマよりも若いので「ナナはタマほど年をとっていません」という文にする。

◆実戦問題◆

→p.92~p.93

1 Reading Point

① 最も人気があり、鳥の観察を楽しめるコース。

② 湖を見たい。

Words Check

① birds ② hard ③ lake

④ I'd like [I want] to ⑤ How about you

⑥ Me, too ⑦ Sure

.....
(1) イ (2) ② イ ④ ウ (3) take seven

2 Reading Point

① ミランダのホストマザー。

② この前の夏。

Words Check

① colors ② American ③ often ④ doctors

⑤ lose ⑥ easily ⑦ face ⑧ a lot of

.....
(1) イ (2) ウ (3) イ

(4) 1. 油を多く含んでおり

2. 健康を損ないやすい

解説 1 (1) 主語に注目。Aコースの説明をしている。空所の前後 the, of the five も手がかり。コース一覧表を見ると人気第1位だとわかる。「いちばん人気がある」は最上級 most popular で表す。
(2) ② 第5~6行目参照。歩行距離が10km以上はCコースのみ。④ 第7~15行目参照。二人は湖を見たい。ジュディは長いBコースではなく、短いDコースを選び、クミも同意している。
(3) 直前の If 以下に注目。the longer course は Bコースを指す。コース一覧表の歩行時間に注目。7時間かかるので、take seven を入れる。

全訳 クミ：この一覧表から1つコースを選ぼう。それにはコースが5つある。Aコースは5つの中で①いちばん人気がある。鳥を見て楽しめるわ。それをハイキングするのはどう？

ジュディ：私は一度そこへ行ったよ。とてもよかったけれど、私は別のコースを試したいな。

クミ：わかった。えっと、②Cコースは私にとって厳しいと思う。それを選んだら、10km以上歩く必要があるでしょ。

ジュディ：賛成。あ、湖が見たい。あなたはどう？

クミ：私も。そうするのにぴったりのコースが2つある。これらから選ぼう。どちらのコースが好き？

ジュディ：歩行時間を確認しよう。長いほうのコースを選んで歩くと③7時間かかるよ。それは長すぎる

わ。お昼ご飯を食べたり、写真をとったり、ほかのことをする時間が必要よ。でもそのコースではそれらをする時間があまりない。だから、もう一方のコースをハイキングできるかな？

クミ：もちろん。④Dコースをハイキングしよう。

[2] (1) ア「あなたはあなたのお金を節約することができます」

イ「あなたはたくさんの種類の食べ物を食べることができます」前の文の「たくさんの色」は「たくさんの種類の食べ物」のことと考えられる。

ウ「あなたはそれを教室で食べることができます」

エ「それを作るのに長い時間はかかりません」

(2) ア「アメリカのSサイズのジュースは日本のLサイズのジュースと同じくらい人気がありました」

イ「アメリカのLサイズのジュースは日本のLサイズのジュースと同じくらい人気がありました」

ウ「アメリカのSサイズのジュースは日本のLサイズのジュースと同じくらい大きかったです」

次に続く発言内容と合う。

エ「アメリカのLサイズのジュースは日本のSサイズのジュースと同じくらい大きかったです」

(4) 第12～13行目の内容をまとめる。

[全訳] 絵美：あなたのお弁当、すばらしく見えるわ！
あなたが作ったの？

ミランダ：いいえ。私のホストマザーがこれを作ったの。彼女は料理がとてもじょうずよ。私はアメリカではこんなにすてきな昼食を一度も食べなかったわ。
日本のお弁当が大好きよ！

絵美：なぜ好きなの？

ミランダ：1つのお弁当にたくさんの色があるからよ。
それは①あなたたちがたくさんの種類の食べ物を食べられることを意味するわ。それはあなたたちの健康にとってもよいわ。

絵美：その通りね。アメリカの生徒たちは昼食に何を食べるの？

ミランダ：そうね、学校で買えるから、私たちはハンバーガーやポテトチップスやピザを食べるわ。

絵美：アメリカではよく昼食にファストフードを食べるの？

ミランダ：ええ、とてもよく食べるわ。私たちはそれが大好き、でもアメリカ人はファストフードを食べすぎるわ。ファストフードはたくさんの油を含み、カロリーが高いと言う医師もいるの。彼らはまた、食べ過ぎると簡単に健康を損なうとも言っているわ。

絵美：この前の夏に私がアメリカに滞在したとき、私はファストフード店でとても大きなハンバーガーを見たの。それらは私の顔と同じくらい大きかった！

それに、②アメリカのSサイズのジュースは日本のLサイズのジュースと同じくらい大きかったわよ。
だから私はいつもSサイズを買っていたけれど、それをすべて飲むことはできなかったわ。

ミランダ：私はときどきアメリカのファストフードを食べたくなるけど、日本のお弁当のほうが③よりよいと思うわ。

20 文構造(文型)

◆確認問題◆

⇒p.95

- 1 (1) swims (2) feel, sick (3) became, nurse
(4) study, English
- 2 (1) bought my sister some CDs
(2) made us hamburgers
(3) I'll tell them that
- 3 (1) to, me (2) for, them (3) to, you
- 4 (1) call him Mark
(2) made us sad
(3) named their daughter Mary

- 解説** 1 (1)「泳ぐ」は swim。第1文型。
(2)「～と感じる」は〈feel+形容詞〉で表す。第2文型。
(3)「～になる」は〈become+名詞〉で表す。第2文型。
(4)「～を勉強する」は study。English はここでは目的語。第3文型。
- 2 第4文型は動詞のあとに2つの目的語を〈人+物 [that 節]〉の順で置く。
(1)「(人)に(物)を買う」〈buy+人+物〉
(2)「(人)に(物)を作る」〈make+人+物〉
(3)「(人)に～と伝える」〈tell+人+that 節〉
- 3 第4文型〈動詞+人+物〉は第3文型〈動詞+物+to [for]+人〉に書きかえることができる。to と for は動詞によって使い分ける。
(1)3 動詞が give, write の場合, to を使う。
(2) 動詞が cook の場合, for を使う。
- 4 第5文型は「～を…と[に]～する」を表す。
(1)「～を…と呼ぶ」call ~ ...
(2)「～を…にする」make ~ ...
(3)「～を…と名づける」name ~ ...

◆演習問題◆

⇒p.96~p.97

- 1 (1) looks (2) tell (3) for (4) to (5) leave
- 2 (1) found, difficult[hard] (2) ask, you
(3) works, hard (4) get, well[better]
(5) told, me, that
(6) you, my, dictionary[dictionaries]
- 3 (1) 1. 私たちは彼にかばんを作りました。
2. その手紙は彼を悲しくさせました。
(2) 1. ポールはよく私に電話をかけてきます。

2. ポールはよく私をカズと呼びます。
- (3) 1. 彼女の息子の名前はケンです。
2. 彼女は彼女の息子をケンと名づけました。
- (4) 1. 彼は電車を見えています。
2. 彼はとても忙しそうに見えます。
- 4 (1) sings, well (2) made, them
(3) cook, you, breakfast (4) us, English
- 5 (1) Mike gave me some pencils.
(2) She often runs near the river.
(3) This book shows people life is wonderful.
(4) It grew cold when it began
(5) The students have to keep the library clean.
(6) Reading magazines always makes my sister happy.
- 6 (1) I found my pen under the table.
(2) Our school begins[starts] at eight thirty in the morning.
(3) Your plan(s) sounded interesting.
(4) We feel sad when we listen to this song.
[When we listen to this song, we feel sad.]
(5) What do you call this flower in English?
(6) He will tell his mother (that) John speaks Japanese.

TRY! 英作文

- ・ (例) gave the cake to his mother[gave his mother the cake]
- ・ (例) The cake made her very happy.

- 解説** 1 (1) 形容詞があとに続くので〈look+形容詞〉の形にする。「あの選手は幸せそうに見えます」
(2) あとが〈人+物〉なので第4文型。第4文型で使う動詞は tell。
(3) 〈動詞+物+to [for]+人〉の文で, 動詞が get の場合は for を使う。「私たちはあなたにコンサートのチケットを手に入れました」
(4) 〈動詞+物+to [for]+人〉の文で, 動詞が send の場合は to を使う。
(5) the window と open では O=C の関係が成り立つので第5文型。leave ~ ... で「～を…のままにしておく」を表す。
- 2 (1)「～が…とわかる」find ~ ...
(2)「(人)に(物)をたずねる」〈ask+人+物〉
(3)「働く」は work, 「いっしょうけんめいに」は hard。第1文型。
(4)「よくなる」は〈get+形容詞〉で表す。
(5)「(人)に～と話す」は〈tell+人+that 節〉で表す。

(6) lend のあとは〈人+物〉を続ける。

- ③ (1) 1. 〈make+人+物〉で「(人)に(物)を作る」。
 2. make ~ ... で「~を...にする」。
 (2) 1. call ~ は「~に電話をかける」。
 2. call ~ ... で「~を...と呼ぶ」。
 (3) 1. name は名詞「名前」。
 2. name ~ ... で「~を...と名づける」。
 (4) 1. look at ~ は「~を見る」。
 2. 〈look+形容詞〉で「~に見える」。

- ④ (1) 「亜美のお姉さん[妹さん]はとてもじょうずな歌手です」→「亜美のお姉さん[妹さん]はとてもじょうずに歌います」
 (2) 「彼らはそのニュースを聞いて驚きました」→「そのニュースは彼らを驚かせました」
 (3) 〈動詞+物+for+人〉の文を第4文型に書きかえる。動詞のあとは〈人+物〉の語順にする。
 (4) 「グリーン先生は今年、私たちの英語の先生です」→「グリーン先生は今年、私たちに英語を教えています」

- ⑤ (1) 第4文型。動詞のあとに〈人+物〉を続ける。
 (3) 第4文型。動詞のあとは〈人+that節〉の語順にする。that が省略されている。
 (4) 「寒くなる」は grow cold. grow の過去形は grew. 〈天候〉を表す文は it を主語にする。
 (5) 「図書室をきれいにしておく」 keep the library clean
 (6) 「雑誌を読む」は「雑誌を読むこと」と考えて reading magazines を主語にして、makes ~ ... を続ける。

- ⑥ (1) 「~を見つける」は find で過去形は found. 「私のペン」は my pen で find の目的語になる。第3文型。
 (3) 「~に聞こえる」は〈sound+形容詞〉。第2文型。
 (6) 「(人)に~と伝える」は〈tell+人+that節〉で表す。

TRY! 英作文 1文目は「次郎はケーキを彼のお母さんにあげました」という内容にする。
 2文目は「そのケーキは彼のお母さんを幸せにしました」という内容にする。接続詞 when を使って「ケーキをもらって、彼のお母さんはうれしかったです」などと表してもよい。

別解 His mother felt happy when she had [got] the cake.

◆ 実戦問題 ◆

→p.98~p.99

① Reading Point

- ① 新聞。 ② 郵便受けの中。
 ③ 信二のお兄さん。

Words Check

- ① newspaper ② like ③ outside
 ④ throw ⑤ differences ⑥ college
 ⑦ of course ⑧ for example

-
 (1) ① エ ③ ア ⑤ イ (2) イ
 (3) (例)お金を得るために新聞を配達する少年たち。
 (4) Reading the newspaper gives us a lot of
 (5) 新聞売り場や自動販売機で買う。/外で買う。
 (6) (例) (He reads it) To get information.
 (7) エ

Writing Exercise

- (1) try to go to the library more
 (2) thinks robots make our lives better
 (3) We practiced every day to win the game [match].
 (4) Who was standing in front of the door?

解説

- ① (1) ア「わあ、それは大きなちがいです」
 イ「それは新聞に関して最も大切なことです」
 ウ「私は、これらの2か国の間の新聞に関するいくつかのちがいを知っています」
 エ「あなたは新聞に関して何かほかのちがいを知っていますか」
 (2) 第13～14行目に the yard in front of each house(それぞれの家の前の庭)とある。
 (3) 第19～20行目参照。
 (5) 第4～7行目参照。
 (6) 質問は「なぜ信二のお兄さんは毎日、新聞を読みますか」という意味。第22～23行目参照。
 (7) ア「アメリカにいるとき、ケビン先生は新聞を読みませんでした」第1～2行目参照。「アメリカで新聞を読んでいたか」という信二の質問にケビン先生は「はい」と答えている。
 イ「日本では人々は外で新聞が買えないことを信二は知っています」第8行目参照。日本でも外で新聞を買うことができる。
 ウ「新聞を毎日読むので、人々は信二のお兄さんをニュースボーイと呼びます」第19～22行目参照。新聞を配達する少年がニュースボーイと呼ばれている。

エ「ケビン先生と信二の両方とも、新聞を読むことによって私たちの生活はよくなると考えています」第25～26行目の内容と合う。

Writing Exercise (2) make のあとに〈目的語(our lives)+補語(better)〉を続ける。

全訳 信二：先生はアメリカで新聞を読んでいましたか。

ケビン先生：はい。ほとんど毎日、新聞売り場で新聞を買いました。

信二：ああ、そうですね。

ケビン先生：はい。街の中心部へ仕事に行くとき、私はたいてい新聞売り場か自動販売機で新聞を買いました。もちろん、日本の多くの家庭のように家で新聞を手に入れる家庭もありますが、アメリカでは外で新聞を購入することのほうがよくあります。

信二：そのことは知りませんでした。日本でも外で新聞を買えますが、私たちはたいてい毎朝、家で新聞を手に入れます。①先生は新聞に関して何かほかのちがいを知っていますか。

ケビン先生：はい。日本では新聞を配達する人たちは郵便受けの中に新聞を入れますが、アメリカではたいていそうしません。

信二：それではドアの前に新聞を置くのですか。

ケビン先生：いや、置きません。たいていそれぞれの家の前の庭に新聞を投げ込みます。この絵を見てごらん下さい。彼らは②ここに新聞を投げ込むのです。

信二：③わあ、それは大きなちがいです。

ケビン先生：さて、私はあなたにいくつかのちがいについて話しましたが、もちろん私たちには共通点もあります。たとえば、日本でも④ニュースボーイがいます。

信二：ニュースボーイがいるですって。ニュースボーイとはだれですか。

ケビン先生：アメリカでは、たくさんの少年がお金を得るために新聞を配達します。私たちは彼らを「ニュースボーイ」と呼んでいます。わかりますか。

信二：はい、わかります。それなら私の兄はニュースボーイです。彼は東京の大学生で毎朝、新聞を配達しています。彼は情報を得るために毎日、新聞を読んでいます。

ケビン先生：⑤それが新聞に関して最も大切なことです。⑥新聞を読むことは私たちにたくさんの有益な情報を与えてくれます。新聞は私たちの生活をよりよくしてくれると思います。

信二：私もそう思います。新聞は日本とアメリカの両方で大切です。今から私はもっと頻繁に新聞を読むようにして、私の生活に役に立つ情報を得ようとします。

21 受け身(受動態)

◆確認問題◆

→p.101

- ① (1) finished (2) seen (3) taught
(4) sent (5) sold (6) written
(7) eaten (8) begun (9) sung
- ② (1) is, learned[studied] (2) was, built
(3) are, used (4) were, taken
(5) can, be, seen
- ③ (1) are, not (2) wasn't, made
(3) Is, read, is (4) Were, helped, weren't
(5) Where, was, found
- ④ (1) covered, with (2) known, to
(3) made, of (4) interested, in

解説 ① (1)以外は不規則動詞。(3)(4)(5)は過去形と過去分詞が同じ形。(2)(6)(7)(8)(9)は原形・過去形・過去分詞がすべて異なる形。

- ② (1) 現在の文で主語が数えられない名詞なので be 動詞は is。「～を学ぶ」の learn[study]は規則動詞。
(2) 過去の文で主語が単数なので be 動詞は was。「～を建てる」の build は不規則動詞。
(3) 現在の文で主語が複数なので be 動詞は are。「～を使う」の use は規則動詞。
(4) 過去の文で主語が複数なので be 動詞は were。「(写真)をとる」の take は不規則動詞。
(5) 「見られます」なので助動詞は can を使う。(助動詞+be+過去分詞)の形にする。
- ③ (1)(2) 受け身の否定文は be 動詞のあとに not を置く。(2)では was not の短縮形 wasn't を使う。
(3)(4) 受け身の疑問文は be 動詞を主語の前に出す。答えの文でも be 動詞を使う。
(5) 「あなたの帽子はどこで見つけられましたか」という文にする。疑問詞で文を始め、あとに受け身の疑問文の形を続ける。
- ④ (1) be covered with ～ 「～でおおわれている」
(2) be known to ～ 「～に知られている」
(3) be made of ～ 「～できている」
(4) be interested in ～ 「～に興味がある」

◆演習問題◆

→p.102～p.103

- ① (1) needed (2) loved (3) written
(4) broken (5) given
- ② (1) from (2) of (3) with (4) by (5) at

- 3 (1) was, moved (2) are, not, sold
 (3) Were, excited (4) is, covered, with
 (5) isn't, read, by (6) can, be, seen
- 4 (1) isn't, washed (2) Was, built
 (3) known, to (4) were, sent
- 5 (1) Science was taught by Mr. Tani.
 (2) The boy is called Mark by us.
 (3) These songs are not liked by girls.
 (4) What language is spoken in that country?
 (5) will be invited to the party by them
 (6) Was Becky taken to the restaurant by
 your parents?
- 6 (1) This computer is used every day.
 (2) Were they helped by Ms. Smith?
 (3) Lunch will be cooked[made] by my sister.
 (4) Where were these cars made?
 (5) I was surprised at[by] my brother's letter.

TRY! 英作文

- (1) (例) This is called a teacup.
 (2) (例) It's[It is] used when we have[hold]
 a tea ceremony.
 (3) (例) Some pictures are often painted on
 a teacup.
 (4) (例) My friend in America is interested
 in Japanese teacups.

解説 1 受け身の文なので過去分詞にする。(1)(2)は規則動詞。(3)(4)(5)は原形・過去形・過去分詞がすべて異なる動詞。

- 2 (1) 「～から作られる」は be made from ～。材料の質が変化するものに使う。
 (2) 「～でできている」は be made of ～。材料の質が変化しないものに使う。
 (3) 「～でいっぱいである」 be filled with ～
 (4) 行為者を示す「～によって」は by ～ で表す。
 (5) 「～に驚く」 be surprised at ～
- 3 (1) 「感動する」は be moved。move は「～を感動させる」という意味。受け身で用いて「感動する」という意味になる。
 (2) 受け身の否定文は be 動詞のあとに not を置く。「～を売る」は sell で過去分詞は sold。
 (3) 「わくわくする」は be excited。時制は過去で疑問文。主語が you なので were で始める。
 (4) 「～でおおわれている」は be covered with ～ で表す。
 (5) 「～を読む」の read の過去分詞は read。行為者は by ～ で表す。
 (6) 助動詞を用いた受け身の文は、〈助動詞+be

+過去分詞)で表す。

- 4 能動態の文を受け身の文に書きかえる。
 (1) 時制は現在で否定文。主語が単数なので is not の短縮形 isn't を使う。「～を洗う」の wash は規則動詞。
 (2) 時制は過去で疑問文。主語が単数なので be 動詞は was を使う。「～を建てる」の build は不規則動詞で過去分詞は built。
 (3) 「～に知られている」 be known to ～
 (4) 時制は過去で主語が複数なので、be 動詞は were を使う。「～に…を送る」の send は不規則動詞で過去分詞は sent。
- 5 (1) 「理科は教えられた」は science was taught。「谷先生によって」は by Mr. Tani。
 (2) SVOC の受け身の文は〈be 動詞+過去分詞+補語〉の語順になる。
 (3) 受け身の否定文は be 動詞のあとに not を置く。主語は「これらの歌」の These songs。
 (4) 「何語」What language で文を始め、あとに〈be 動詞+過去分詞 ～〉を続ける。
 (5) 「招待されるでしょう」は〈will be+過去分詞〉で表す。
 (6) 受け身の疑問文は be 動詞を主語の前に出す。「～を…に連れていく」take ～ to ... の～が主語になる。
- 6 (1) 主語は「このコンピュータ」This computer。「使われる」は受け身を使って is used。
 (2) 時制は過去で主語が they なので be 動詞は were を使う。
 (3) 「料理されるでしょう」は未来の受け身の文。〈will be+過去分詞〉で表す。
 (4) 「どこで」なので疑問詞 Where で文を始めて、あとに受け身の疑問文を続ける。
 (5) 「～に驚く」は be surprised at[by] ～。「私の兄の手紙」は my brother's letter。

TRY! 英作文

- (1) 「これは～と呼ばれています」は This is called ～。
 (2) 「それは茶会を行うときに使われます」という文にする。It is used when ～. で表す。
 (3) 「～をかく」の paint は規則動詞。「よく」の often はふつう be 動詞と過去分詞の間に置く。
 (4) 「～に興味がある」は be interested in ～。「アメリカの私の友達」は my friend in America。

1 Reading Point

- ① 軽くて運びやすいこと、使いやすいこと。
- ② 新しいアイデアをもつ建築家になること。

Words Check

- ① paper ② wood ③ light
- ④ carry ⑤ such ⑥ maybe
- ⑦ a few ⑧ try to ⑨ many kinds of

- (1) an interesting picture (2) used
- (3) エ (4) ウ
- (5) (例) 多くの人々とのコミュニケーションを通して、さまざまな考え方を得ること。
- (6) (例) いっしょうけんめいに勉強する。/ 多くの種類の本や新聞を読む。
- (7) (例) It was built a few years ago (after the previous one became too old).
- (8) ウ, オ
- (9) A mountains B walls C paper D ideas

Writing Exercise

- (1) going to study as much as I can
- (2) My dream is to be a writer with a lot of
- (3) (例) What is your shirt made of?
- (4) (例) I'm [I am] interested in building a house[houses].

解説

- 1 (1) 前の文を参照。
- (2) 直前の are, is から受け身の文とわかる。
- (3) 問題の具体例が続くので「たとえば」が適切。
- (5) あとの文に具体的な説明がある。
- (6) 第 18 ~ 20 行目参照。
- (7) 質問は「写真の中の山小屋はいつ建てられましたか」という意味。第 6 ~ 7 行目参照。
- (8) ア「山小屋がすべて木でできているので、一郎はその写真に興味がありました」第 3 ~ 4 行目参照。山小屋は紙でできている。
イ「自動車で行くことが簡単なので、多くの登山者が山小屋に行きます」第 8 ~ 9 行目参照。自動車で山小屋に行くのは難しい。
ウ「紙管の壁は火と水に対して強くなり得ます」第 13 ~ 14 行目の内容と合う。
エ「再生紙が使われているので、紙管は高値で売られています」第 14 ~ 15 行目参照。紙管は値段が安い。

オ「新しいアイデアをもつ人は物事をよくすることができる、と一郎は考えています」第 17 ~ 18 行目の内容と合う。

(9) A climbing mountains で「山に登ること」。「趣味が^①山に登ることなので、ぼくはよく山小屋を利用します。山小屋は多くの登山者にとってよい場所です。一郎くんの写真の山小屋の^②壁が^③紙でできていることを知ってぼくは驚きました。いつかその山小屋に行ったら、壁を注意深く見るつもりです。一郎くんのスピーチから、新しい^④アイデアが大切だということをぼくは学びました」

Writing Exercise

- (1) 「できるだけ～」は〈as ~ as + 代名詞の主語 + can〉で表す。
- (3) 〈疑問詞 + be 動詞 + 主語 + 過去分詞 ~?〉で表す。「～でできている」be made of ~
- (4) 「家を建てる」build a house [houses]

全訳

ぼくは建築家になりたいです。だからぼくは建物の写真を見るのが好きです。ある日、ぼくはおもしろい写真を見ました。どうぞ^①それを見てください。この山小屋は何でできているのでしょうか。山小屋の壁は木材ではなく、紙です。紙管が壁に^②使われています。この山小屋は 2, 3 年前、以前のものが古くなりすぎたあとに建てられました。しかし、いくつか問題がありました。^③たとえば、急な山にあるので、自動車で山小屋に行くのは難しいです。多くの登山者が利用するので、それは急いで建てられなければなりません。紙管はこれらの問題を解決しました。紙管は軽くて運びやすいのです。それらはまた使いやすいです。それでそのような山小屋は^④短い時間で建てられるのです。たぶん、あなたたちは紙の壁は^⑤弱いと思うでしょう。しかし、紙管がほかの材料といっしょに作られるとき、その壁は火と水に対して強くなり得ます。そのうえ、再生紙が^⑥使われているので、それらは安いのです。今、その新しい山小屋は多くの登山者にとってよい場所です。これらの種類のアイデアをもつ人々は、ぼくたちの周りのものを向上させることに興味があります。今、ぼくの夢は新しいアイデアをもつ建築家になることです。高校生として、ぼくはできるだけのことをつもりです。たとえば、ぼくはいっしょうけんめいに勉強し、多くの種類の本や新聞を読む、などをします。ですが、ぼくには^⑦しなければならないもう 1 つのことがあります。それは、たくさんの人々とのコミュニケーションを通して、さまざまな考え方を得ることです。いつの日か、新しいアイデアをもつ建築家になり、それらをさまざまな状況で使うようにしようと思います。そうすると、ぼくはぼくたちの生活をよりよいものに導くことができます。

❖ 確認問題 ❖

→p.107

- 1 (1) have, walked (2) has, once
(3) have, been (4) has, times
- 2 (1) have, never, played
(2) Has, used
(3) Have, ever, climbed
(4) How, many, times
- 3 (1) have, lost
(2) has, finished
(3) have, just, cleaned
(4) has, already, written
- 4 (1) 1. They have not[haven't] left home yet.
2. Have they left home yet?
(2) 1. Mr. Brown has not[hasn't] eaten breakfast yet.
2. Has Mr. Brown eaten breakfast yet?

解説 1 「(今までに)~したことがある」は現在完了形(have[has]+過去分詞)で表す。

- (1) 「散歩する」は walk。過去分詞 walked を have のあとに置く。
(2)(4) 主語は3人称単数なので、has を使う。「何度も」は many times。
(3) 「~へ行ったことがある」は have been to ~。
- 2 (1) never は「一度も~ない」という意味を表す。have と過去分詞 played の間に置く。
(2) 疑問文は have[has]を主語の前に出す。
(3) ever は「今までに」という意味。過去分詞 climbed の直前に置く。
(4) 空所の数から、How many times ~? を使う。
- 3 「~してしまった、~したところだ」は現在完了形(have[has]+過去分詞)で表す。
(1) lose 「なくす」の過去分詞は lost。
(2) 主語は3人称単数なので、has を使う。
(3) 「ちょうど」は just。have と過去分詞 cleaned の間に置く。
(4) 「もう」は already。has と過去分詞の間に置く。write の過去分詞は written。
- 4 (1)(2) already は「もう、すでに」という意味。通例、肯定文で使う。否定文・疑問文では yet を使って、文末に置く。yet は否定文で「まだ」、疑問文で「もう」という意味を表す。have not の短縮形は haven't, has not の短縮形は hasn't。

❖ 演習問題 ❖

- 1 (1) have, heard, before (2) has, never, been
(3) has, just, written
(4) have, often, met[seen]
(5) Have, given, yet
- 2 (1) I have[I've] lost my watch once.
(2) We have never seen the bird.
(3) Has she ever helped Judy?
(4) My brother has not[hasn't] practiced tennis yet.
- 3 (1) 数回、その国へ行ったことがあります
(2) まだ彼女のお姉さん[妹さん]への誕生日プレゼントを買っていません
(3) 何回あのレストランで夕食を食べたことがありますか
(4) もうあなたのおばあさんにEメールを送ってしまいましたか
- 4 (1) Yes, have (2) No, haven't
(3) How, often
- 5 (1) I have just solved this problem.
(2) The soccer game hasn't started yet.
(3) Has Ms. Sato ever climbed Mt. Fuji?
(4) How many times have you listened to this song?
- 6 (1) We have been to the temple twice.
(2) I have[I've] already cleaned the kitchen.
(3) Judy has never made[cooked] Japanese food.
(4) Has your brother left home yet?
(5) How many times[How often] has he seen [watched] the movie?

TRY! 英作文①

- (1) (例) Have you ever been to Kyoto?
(2) (例) How many times[How often] have you been there[to Kyoto]?

TRY! 英作文②

- (1) (例) Have you finished your homework (yet)?
(2) (例) What do you want to drink?

- 解説** 1 (1) 主語が We なので、(have+過去分詞)。hear 「聞く」の過去分詞は heard。「以前に」は before。
(2) 主語 My father が3人称単数なので、(has+過去分詞)。「一度も~へ行ったことがない」は have[has] never been to ~。

(3)(4) 「ちょうど」の just, 「しばしば」の often は, have [has] と過去分詞の間に置く。write の過去分詞は written。

(5) 現在完了形の疑問文は, <Have [Has]+主語+過去分詞 ~?> の語順。主語は you なので, Have を使う。give 「あげる」の過去分詞は given。「もう」は yet で表し, 文末に置く。

2 (1) 現在までの経験は現在完了形 <have [has]+過去分詞> で表す。have のあとに過去分詞 lost を置く。「一度」は once で表し, 文末に。

(2) 「一度も~したことがない」は, 現在完了形の否定文 <主語+have never+過去分詞 ~.> で表す。

(3) 現在完了形の疑問文は, <Has+主語+過去分詞 ~?> の語順。「今までに」は ever で表し, 過去分詞の直前に置く。

(4) 「まだ~していない」は, 現在完了形の否定文 <主語+has not+過去分詞 ~ yet.> で表す。already は否定文では使わない。

3 (1) have been to ~ 「~へ行ったことがある」
several times 「数回」

(2) not ~ yet 「まだ~ない」

(3) How often ~? 「何回~?」 had は have 「食べる」の過去分詞。

(4) 疑問文の yet は 「もう」という意味。

4 (1) 現在完了形の疑問文には, have [has] を使って答える。最終文 「それはとてもおもしろかったです」 から, Yes の答えとわかる。

(2) 最終文 「私は来週末に買うつもりです」 から, No の答えとわかる。空所の数から, have not の短縮形 haven't を使う。

(3) Three times. 「3回です」という返答から, 回数をたずねる疑問文にする。空所の数から, How often ~? を使う。

5 (1) 主語は I。「~したところだ」は現在完了形 <have+過去分詞(solved)> で表す。「ちょうど」の just を補って have の直後に置く。

(2) 主語は The soccer game。「(まだ)~していない」は <hasn't+過去分詞(started)> で表す。「まだ」の yet を補って, 文末に置く。

(3) 主語は Ms. Sato。「今までに~したことがありますか」は, 現在完了形の疑問文 <Has+主語+ever+過去分詞(climbed) ~?> で表す。ever は 「今までに」。

(4) 「何回~」は How many times ~? で表し, あとに現在完了形の疑問文 <have+主語+過去分詞 ~> を続ける。主語は you。listen の過去分詞 listened を補う。

6 (1) 「~へ行ったことがある」は have [has] been to ~ で表す。主語が We なので, have を使う。「2回」は twice で表し, 文末に置く。

(2) 主語は I。「もう~してしまった」は現在完了形 <have+過去分詞> で表す。clean 「そうじする」の過去分詞は cleaned。肯定文の 「もう」は already で表し, have の直後に置く。

(3) 主語は Judy。「一度も~したことがない」は現在完了形 <have [has] never+過去分詞> で表す。主語が 3 人称単数なので, has を使う。make 「作る」の過去分詞は made。

(4) 主語は your brother。「もう~してしまいましたか」は, 現在完了形の疑問文 <Have [Has]+主語+過去分詞 ~ yet?> で表す。主語が 3 人称単数なので, Has を使う。「家を出発する」は leave home。leave の過去分詞は left。

(5) 「何回~」は How many times ~? または How often ~? で表し, あとに現在完了形の疑問文 <has+主語+過去分詞 ~> を続ける。主語は he。「映画を見る」は see [watch] a movie。see の過去分詞は seen。

TRY! 英作文① (1) 直後の返答から, 「あなたは今までに京都へ行ったことがありますか」と経験をたずねる現在完了形の疑問文だと考える。「~へ行ったことがある」は have been to ~。

(2) 直後の返答から, 「あなたは何回そこへ行ったことがありますか」と現在完了形の疑問文と考える。「何回~」は How many times ~? または How often ~? で表す。

別解 (1) Have you ever visited Kyoto?

(2) How many times [How often] have you visited it [Kyoto]?

全訳 ミキ: ⁽¹⁾京都へ行ったことがありますか。

アン: はい, あります。京都は大好きな場所です。

ミキ: ⁽²⁾何回そこへ行ったことがありますか。

アン: 5回あります。いつも楽しい時を過ごしました。

TRY! 英作文② (1) 2でジュンが「いいや, まだ終わってない。とても難しい」と答えているので, 空所は「もう宿題は終わったの?」という現在完了形の疑問文だと考える。

(2) 4でジュンが「紅茶をお願い」と答えている。3の空所には「何を飲みたい?」という文が入ると考える。

全訳 母親: ⁽¹⁾もう宿題は終わったの?

ジュン: いいや, まだ終わってない。とても難しい。

母親: それじゃ, ひと休みしましょう。ケーキを買ってきたわ。⁽²⁾何が飲みたい?

ジュン: 紅茶をお願い。ありがとう。

❖ 確認問題 ❖

→p.111

- ① (1) have, known (2) has, lived, since
(3) have, been, for
- ② (1) has, not, been (2) Have, wanted, have
(3) How, long, have, for
- ③ (1) have, been, playing
(2) has, been, watching
(3) have, been, using
(4) have, been, running
- ④ (1) Has he been practicing
(2) Has it been raining
(3) long have you been

解説 ① 状態について「ずっと～している」は現在完了形(have [has]+過去分詞)で表す。

- (1) 主語が I なので have を使う。know の過去分詞は known。
- (2) 主語が She なので, has を使う。live に -d をつけて過去分詞に。last month は過去の一時点を表すので, 直前に since 「～から」を置く。
- (3) 主語が They なので, have を使う。be 動詞 are の過去分詞は been。two years は期間を表すので, 直前には for 「～の間」を置く。
- ② (1) 「ずっと～していない」は現在完了形の否定文で表す。主語が It なので(has not +過去分詞)。be 動詞の過去分詞は been。
- (2) 現在完了形の疑問文は, <Have [Has]+主語+過去分詞 ~?>の形。主語 you に合わせて, Have を使う。want 「～がほしい」に -ed をつけて過去分詞に。答えの文でも have を使う。
- (3) 「どのくらい(の期間)～していますか」とたずねる疑問文は<How long have [has]+主語+過去分詞 ~?>で表す。主語 they に合わせて, have を使う。about one hour は期間を表すので, 直前には for 「～の間」を置く。
- ③ 動作・行為について「ずっと～している」は, 現在完了進行形(have [has] been+動詞の -ing 形)で表す。(3)の use は e を取って -ing, (4)の run は n を2つ重ねて -ing をつける。
- ④ (1)(2) 現在完了進行形の疑問文。<Has+主語+been+動詞の -ing 形 ~?>で表す。
- (3) 「どのくらい(の期間)～していますか」と動作・行為の継続期間をたずねる文は, <How long have+主語+been+動詞の -ing 形 ~?>で表す。

❖ 演習問題 ❖

- ① (1) stayed (2) using (3) since (4) for
(5) long
- ② (1) has, been, teaching (2) have, had
(3) haven't, been
(4) Has, been, working, she, has
(5) How, long, has, lived
- ③ (1) has, wanted (2) have, been, watching
(3) hasn't, been
(4) Have, you, learning [studying], for
(5) Have, been, were
(6) How, long, has, been
- ④ (1) has, been (2) has, been, snowing
- ⑤ (1) It has been cold since last Wednesday.
(2) has been talking on the phone for
(3) Have you been reading the comic book since
(4) Has Mr. Smith been an English teacher for
(5) How long has your sister been practicing the violin?
- ⑥ (1) They have been playing baseball for four hours.
(2) My brother has been doing his homework since six (o'clock).
(3) I have known Kumi for three years. / Kumi and I have known each other for three years.
(4) We have not [haven't] seen [met] Ami since last winter.
(5) How long have you been in Japan?

TRY! 英作文①

(例) I have been studying English [it] for five years.

TRY! 英作文②

- (1) (例) She has lived in this city for eight years.
- (2) (例) We have been friends since we were ten (years old).
- (3) (例) She has been playing tennis for six years.

解説 ① (1) 直前の have から現在完了形とわかるので, 過去分詞 stayed を選ぶ。

(2) 直前の has been から現在完了進行形とわかるので, 動詞の -ing 形を選ぶ。

(3) 直後の this morning 「今朝」は過去の一時点

を表すので、since「～以来、～から」を選ぶ。

(4) 直後の seven years「7年」は期間を表すので、for「～の間」が適切。

(5) 期間をたずねる文。「どのくらい(の間)～」は How long ～? で表す。

2 (1) 「ずっと教えています」は、現在完了進行形 (have[has] been+動詞の-ing形) で表す。主語 My sister は3人称単数なので has を使う。

(2) 「ずっと飼っている」は状態なので、現在完了形を使う。have「飼う」の過去分詞は had。

(3) have のあとに not を入れる。空所の数から、have not の短縮形 haven't を使う。

(4) 現在完了進行形の疑問文。has を主語の前に出す。答えの文でも has を使う。

(5) 下線部は「3か月間」。継続期間をたずねるときは、How long ～? を使う。あとは現在完了形の疑問文 (has+主語+過去分詞～) の形。

3 (1) 主語 Mari が3人称単数なので has。「ほしい」は want。-ed をつけて過去分詞に。

(2) 動作の継続を表すので、現在完了進行形 (have [has] been+動詞の-ing形) を使う。主語は They なので have を使う。

(3) 現在完了形の否定文。has not の短縮形 hasn't を使う。be 動詞の過去分詞は been。

(4) 行為の継続をたずねるので、現在完了進行形の疑問文。have を主語の前に出す。many years は期間を表すので、直前に for を置く。

(5) 状態の継続をたずねるので、現在完了形の疑問文。have を主語 you の前に出す。be 動詞の過去分詞は been。since 以下は過去の一時点を表すので、過去形を使う。

(6) 「どのくらい～していますか」と行為の継続期間をたずねる文は、(How long have [has]+主語+been+動詞の-ing形～?) で表す。

4 (1) 「彼はこの前の金曜日に病気になりました。彼は今でも病気です」→「彼はこの前の金曜日からずっと病気です」

(2) 「3日前に雪が降り始めて、今でも降っています」→「3日間ずっと雪が降っています」

5 (1) 寒暖を表す文の主語は It。「ずっと寒い」という状態は現在完了形で表す。has のあとに過去分詞 been を置く。since のあとに last Wednesday を続けて文末に置く。

(2) 「ずっと話している」は現在完了進行形で表す。「電話で話す」は talk on the phone。文末の thirty minutes の前に for を置く。

(3) 主語は you。「ずっと読んでいますか」は、現在完了進行形の疑問文 (Have+主語+been+動

詞の-ing形～?) で表す。文末の yesterday の前に since を置く。

(4) 主語は Mr. Smith。「ずっと英語の先生をしているのですか」は、現在完了形の疑問文 (Has+主語+過去分詞 (been)～?) で表す。文末の ten years の前に for を置く。

(5) 練習期間をたずねるので、How long で始めて現在完了進行形の疑問文 (has+主語+been+動詞の-ing形) を続ける。主語は your sister。

6 (1) 主語は They。「ずっと野球をしている」は、現在完了進行形 (have been+動詞の-ing形) で表す。「4時間」は for four hours。

(2) 主語は My brother。「ずっと宿題をしている」は、現在完了進行形 (has been+動詞の-ing形) で表す。「宿題をする」は do one's homework。

(3) 主語は I。「知り合ってから3年になる」は「3年間ずっと知っている」と考え、現在完了形 (have+過去分詞) で表す。know の過去分詞は known。「3年間」は for three years。

(4) 主語は We。「ずっと会っていない」は、現在完了形の否定文で表す。see「会う」の過去分詞は seen。「この前の冬から」は since last winter。

(5) 「日本に来てどのくらいになるか」は「日本にどのくらいいるか」と考える。滞在期間をたずねるので、How long で始めて現在完了形の疑問文 (have+主語+過去分詞 (been)) を続ける。

TRY! 英作文① 質問は「あなたはどのくらいの期間英語を勉強していますか」という意味。for, since を使って答える。別解 I have been studying English since I was ten (years old)。

TRY! 英作文② (1) 主語は She。「ずっと住んでいる」は、現在完了形 (has+過去分詞) で表す。「～に住む」は live in ～。「8年間」は for eight years で表し、文末に置く。

(2) 主語は We。「ずっと友達である」は、現在完了形 (have+過去分詞) で表す。be 動詞の過去分詞は been。主語が複数なので、friend に -s をつける。「(私たちが)10歳のときから」は (since+主語+動詞の過去形～) で表す。

(3) 主語は She。「ずっとテニスをしている」は、現在完了進行形 (has been+動詞の-ing形) で表す。「6年間」は for six years で表し、文末に置く。

1 Reading Point

- ① 環境を破壊せずに発電する方法。
- ② 風、水、日光のような再生可能エネルギーだけを使用する試験。
- ③ 古いペットボトルからできた太陽電池パネルで発電する方法。
- ④ エンジニアに地熱発電所の建設方法や利用方法を教えることで支援してきた。
- ⑤ さまざまな再生可能エネルギーをよりよい方法で利用しようと努めている。

Words Check

- ① produce ② environment
- ③ technology ④ share ⑤ energy
- ⑥ necessary ⑦ recycling ⑧ garbage
- ⑨ create
-
- (1) ① working ③ been (2) イ (3) エ
- (4) (例) It[They] tried a test for energy.
- (5) イ, エ, オ
-

Writing Exercise

- (1) can be used to produce electricity
- (2) are doing our best to solve
- (3) (例) Information technology has become more important.
- (4) (例) I walked instead of going by bus.

解説 1 (1) ① 直前に are があるので、動詞の -ing 形を続けて現在進行形に。「働く」は work。③ 前後の have, trying に注目。be を過去分詞 been にして、現在完了進行形に。
 (2) 第9～11行目参照。ポルトガルの人々は環境を守りたいので、再生可能エネルギーをもっと使いたい。イ「(再生可能エネルギーの使用は)石油を燃やすことよりも環境保護にはるかによい」が適切。ア「多くの人が石油を使うので環境によくない」、ウ「風、水、日光の利用のよい例ではない」、エ「再生可能エネルギーの施設は石油を節約できないので危険だ」。
 (3) 第21～22行目参照。エ「ケニアは再生可能エネルギーを使うため、日本と発電所を建設した」が正しい。ア「ケニアはあらゆる家に太陽電池パネルを設置するため小さな企業と協力している」、イ「ケニアは日本の支援で新しい風力発電所をいくつか建設した」、ウ「ケニアは発電所を建設す

るために、日本からペットボトルをたくさん購入している」。

- (4) 質問は「ポルトガルは2016年に何をしましたか」という意味。第5行目参照。
- (5) ア「新しい科学技術は大切だが、国家間の協力は重要ではない」第2～4行目参照。
 イ「ポルトガルでは、政府と企業が汚染を防止し、エネルギーを作り出そうと試みている」第5～11行目の内容に合う。
 ウ「ポルトガルはより多くのエネルギーを使用して汚染をよりひどくし、さらに経済成長することに決めた」本文にそのような内容はない。
 エ「ハンガリーの小さな企業はペットボトルから太陽電池パネルを作っている」第13～16行目の内容と合う。
 オ「日本はケニアのエンジニアが地熱発電所の利用方法を学ぶのをずっと手助けしてきた」第21～24行目の内容に合う。
 カ「世界中の国は再生可能エネルギーなしで済ませるよりよい方法を見つけた」本文にそのような内容はない。

Writing Exercise (1) 主語が Wind なので、受け身(can be + 過去分詞)で表す。目的の「～するために」は〈to + 動詞の原形〉で表す。「電気を作る」は produce electricity。
 (2) 現在進行形(be 動詞 + 動詞の -ing 形)の文。「最善を尽くす」は do our best。目的の「～するために」は〈to + 動詞の原形(solve)〉。
 (3) 主語「情報技術」は Information technology。「～になった」は現在完了形(have [has] + 過去分詞)で表す。主語は数えられない名詞なので、has を使う。「～になる」は〈become + 形容詞〉。become の過去分詞は become。「いっそう重要な」は比較級 more important で表す。
 (4) 主語は I。過去の文なので、walk は -ed をつけて過去形に。「～する代わりに」は〈instead of + 動詞の -ing 形〉。「バスで行く」は go by bus。手段を表すので、bus に a, the をつけたり、bus を複数形にしたりしない。

全訳 最近、世界中のますます多くの人が環境を破壊せずにどのように発電するかについて考えています。そのため、新しい科学技術や国家間の協力がより重要になりました。その事実を学ぶため、3つの話をしましょう。

2016年、ポルトガルはエネルギーの試験を実施しました。彼らは風、水、日光のような再生可能エネルギーだけを使用しました。彼らは国全体に必要な全電力を作り出すことができました。今、政府と企業が新

しい発電所を作るためにいっしょに働いています。
再生可能エネルギーは石油を節約し環境を守ることが
できるので、彼らはより多く利用したいと思っていま
す。人々は再生可能エネルギーの使用は、石油を燃や
すことよりも環境保護にはるかによいと考えます。彼
らの目標は汚染を防止し、より多くのエネルギーを得
て、経済成長をすることです。

ハンガリーでは、ある小さな企業が発電のために異
なる計画を試しています。大型の発電所を建設するの
ではなく、彼らははるかに小さなものを考えています。
その企業は古いペットボトルからできた太陽電池パネ
ルを設計しています。それはよりよい未来を築くため
、ごみを再生利用する賢い方法です。20 平方メートル
のこの太陽電池パネルは1世帯分の十分な電気を作る
ことができます。もしあなたの家に備えていれば、あ
なたの家族は大型の発電所からくる電気を使う必要は
ありません。この小さな科学技術は大きな問題を解決
するために使うことができます。

再生可能エネルギーを利用するため、おたがいに助
け合っている国もあります。ケニアは日本の支援を受
けて、地熱発電所を建設しました。これらの発電所は
地面の熱を利用します。日本はケニアのエンジニアに
これらの発電所の建設方法を示したり、その利用方法
を教えたりしてきました。ケニアはその発電所が作れ
る電力量を増やすという目標を立てました。彼らは将
来この目標を達成することを望んでいます。日本の支
援によって、ケニアの人々は経済成長を求めて、ずっ
と努力しています。多くの国が地球規模の問題を理解
し、よりよい世界を築くとき、このような国際協力は
重要です。

さまざまな再生可能エネルギーがあり、世界中の国
がそれらをよりよい方法で利用しようと努めています。
ポルトガル、ハンガリー、ケニアはよい見本です。今、
多くの国がより新しい科学技術を生み出し、より明る
い未来を目指して、よりよい協力をしようと最善を尽
くしています。

❖ 確認問題 ❖

⇒p.117

- 1 (1) know where to go (2) me how to swim
(3) which book to buy
- 2 (1) It, to (2) It, for (3) It, for, to
- 3 (1) told me to run (2) want them to speak
(3) asked him to make
- 4 (1) 笑わせませす
(2) 彼をそのパーティーに行かせました
(3) 先生が机を運ぶのを手伝いました
- 5 (1) too, to (2) enough, to

- 解説** 1 (1) 「どこに行ったらよいか」は〈疑問詞＋不定詞〉の形を使って where to go。
(2) 「泳ぎ方」は how to swim。「私に～を教えてください」なので SVOO の文。
(3) 「どちらの本を買えばよいか」は〈which＋名詞＋不定詞〉の形を使って which book to buy。
- 2 「～することは…だ」は It is ... to ~. の形で表す。
(2)(3) 「～にとって」は〈for＋人〉で表す。
- 3 それぞれ〈動詞＋人＋to ~〉の形で(1) 「(人)に～するように言う」、(2) 「(人)に～してもらいたい」、(3) 「(人)に～するように頼む」という意味を表す。
- 4 (1)(2) 〈make＋人＋動詞の原形〉で「(人)に(強制的に)～させる」、〈let＋人＋動詞の原形〉で「(人)に(許可して)～させてあげる」の意味。
- 5 (1) 「あまりに…なので～できない、～するには…すぎる」too ... to ~

❖ 演習問題 ❖

⇒p.118～p.119

- 1 (1) too (2) tell (3) for (4) how
(5) to climb
- 2 (1) enough, to (2) it, for, to
(3) told, me, to (4) which[what], subject, to
(5) made, me, go
- 3 (1) 子どもたちにとってこの川で泳ぐことは
(2) しばしば私にテレビを見ないように言います
(3) 彼女のお父さんに彼女を博物館[美術館]に連れていくように頼みました
(4) オーストラリアではどこに行ったらよいかたずねるつもりです
- 4 (1) too, to (2) how, to (3) want, to
(4) enough, to

- 5 (1) always tells me to go to bed early
 (2) I asked him not to be late
 (3) you want them to join the team
 (4) doesn't know which dress to wear
 (5) It is necessary for you to learn
 (6) We helped Tom to write a letter
- 6 (1) It is interesting[fun] to take a picture [pictures].
 (2) We want Bob to talk[speak] about his country.
 (3) I was too busy to help my father.
 (4) Please tell me when to call him.
 (5) This book helped me (to) write the report.

TRY! 英作文

- (1) (例) difficult [hard] to write
 (2) (例) I will show you

- 解説** 1 (1) あとに to ~ があるので too ... to ~ の形が適切。
 (2) <人+to ~>が続くので, tell を選ぶ。say と talk はあとに<人+to ~>を続けられない。
 (3) It is ... to ~. の文で, 「-にとって」は<for +人>で表す。
 (4) how to get to ~ で「~への行き方」を表す。
 (5) <want+人+to ~>の文で, 「私たちはあなた(たち)に私たちといっしょにその山に登ってもらいたいです」という意味になる。
- 2 (1) 「1人で電車に乗れる年齢」は「1人で電車に乗るのに十分年をとっている」ということ。... enough to ~ を使う。
 (4) 「どの科目を~したらよいか」は<which [what] +名詞+不定詞>の形で表す。
 (5) <make+人+動詞の原形>で「(人)に(強制的に)~させる」という意味。
- 3 (2) <tell+人+not to ~>は不定詞の否定で「(人)に~しないように言う」という意味。
 (3)(4) (3)の ask は<ask+人+to ~>の形で「頼む」, (4)の ask は「たずねる」という意味を表す。
- 4 (1) 「私たちはとても空腹なので, 働くことができません」→「私たちは空腹すぎて, 働くことができません」
 (2) 「あなたはバイオリンをひくことができますか」→「あなたはバイオリンのひき方を知っていますか」
 (3) 「日曜日にあなたのイヌを散歩させましょうか」→「あなたは私に日曜日にあなたのイヌを散歩させてもらいたいですか」
 (4) 「私のおじはとても裕福だったので, 彼は新し

い車を買うことができました」→「私のおじは新しい車を買うのに十分裕福でした」

- 5 (2) 「~に遅れないように」は不定詞の前に not を置いて not to be late for ~。
 (4) 「どのドレスを着たらよいか」は<which+名詞+不定詞>の形で which dress to wear。
 (6) <help+人+to+動詞の原形>で「(人)が~するのを手伝う」。
- 6 (3) 「...すぎて~できない」は too ... to ~ で表す。「忙しい」 busy
 (4) 「いつ~したらよいか」は<疑問詞+不定詞>の形で when to ~。
 (5) <help+人+(to+)動詞の原形>「(人)が~するのを手伝う」を使う。

TRY! 英作文

- (1) 絵からケビンが漢字を書くのに手間どっている様子を読みとる。「この漢字を書くのは難しいです」という文を It is ... to ~. で表す。
 (2) 美咲の吹き出しからケビンに漢字の書き方を教えている様子を読みとる。「私がそれ(=漢字)をじょうずに書く方法を教えましょう」という文にする。

❖ 実戦問題 ❖

→p.120~p.121

1 Reading Point

- ① 和だいこの演奏。
 ② 6月の終わり。
 ③ アヤカの祖父。
 ④ 和だいこを演奏してくれて本当にありがとう, と言った。

Words Check

- ① small ② traditional ③ festival
 ④ sad ⑤ find ⑥ welcomed
 ⑦ at the end of ⑧ for a long time

- (1) Ayaka's father wanted her to practice
 (2) イ
 (3) (例) 和だいこの演奏のしかたを父から習いた
 いと考えた。
 (4) 1. (例) Because she wanted to help him.
 2. (例) She practiced it every weekend.
 (5) ア, ウ
 (6) A decided B interesting C watch
 D players

Writing Exercise

- (1) A lot of children in the park looked happy.
- (2) (例) My friends aren't interested in playing the guitar.
- (3) (例) I want to learn how to skate from my father.

● 解説 ① (2) ア「和だいの演奏を見ることはおもしろいです」

イ「伝統を維持することは大切です」前文の内容と合う。

ウ「小さな町に住むことは人気があります」

エ「和だいの演奏のしかたを教えることは簡単です」

(3) 第 30 行目参照。

(4) 1. 質問は「アヤカはなぜお父さんといっしょに公民館に行きましたか」という意味。第 11 行目参照。

2. 質問は「アヤカは夏の間、いつ和だいを練習しましたか」という意味。第 23 ~ 25 行目参照。

(5) ア「アヤカの町のお祭りは長い歴史があります」第 1 ~ 2 行目の内容と合う。

イ「アヤカのおじいさんは彼女と和だいを演奏したいと思いました」本文にそのような内容はない。

ウ「和だいの演奏者たちは公民館でアヤカと会って喜びました」第 12 行目の内容と合う。

エ「アヤカのお父さんは高校生のときから和だいを演奏しています」第 15 ~ 16 行目参照。和だいの演奏を始めたのは中学生のとき。

オ「最近、アヤカの町では和だいの演奏が若い人たちの間で人気です」第 19 ~ 21 行目参照。若い人たちは和だいの演奏に関心がない。

(6) 「アヤカは父の代わりに和だいの演奏に参加すること^④を決心しました。和だいを演奏することは難しかったですが、彼女には^⑤おもしろかったです。お祭りの日、多くの人が和だいの演奏を^⑥見にきました。アヤカはほかの^⑦演奏者たちと和だいを演奏しました。彼女はうれしく感じました」

Writing Exercise (3) 「スケートのすべり方」は how to skate で表す。

全訳 アヤカは小さな町の中学生です。彼女の町には夏に伝統的なお祭りがあります。お祭りで、最もわくわくする行事は和だいの演奏です。彼女のお父さんは和だいの演奏者の 1 人で、そこで毎年夏には、公民館でほかの演奏者たちといっしょに和だいをとても熱心に練習します。

① アヤカのお父さんは彼女に和だいを練習してほしいと思いましたが、彼女はそうしたいと思いませんでした。彼女は音楽は好きでしたが、和だいには興味がありませんでした。

6 月の終わりにアヤカのお父さんは右腕を骨折し、和だいを練習することができなくなりました。お祭りが間近に迫り、町には和だいの演奏者が十分になかったため、彼は悲しく感じました。新しい演奏者を見つけることは難しく、それで彼はアヤカに今年のお祭りで彼の代わりに和だいを演奏するように頼みました。彼女はお父さんを助けたかったので、彼と公民館に行きました。

公民館で、和だいの演奏者たちはアヤカを歓迎しました。彼らの演奏はわくわくするものでした。彼らのうちの 1 人は高校生でした。彼は彼女の家の近くに住んでいました。「なんてかっこいいんでしょう!」と彼女は思いました。彼らが練習したあと、演奏者の 1 人がアヤカに「きみのお父さんは中学生のときに、和だいを演奏し始めました。きみのおじいさんが彼にその演奏のしかたを教えました。私の父も同じことを私のためにしました。私たちの町の人々は長い間、この伝統を引き継いできています」と言いました。彼女はその話に関心をもつようになりました。別の演奏者が「最近、若い人たちは和だいを演奏することに興味をもたず、町には子どもがたくさんいません」と言いました。アヤカは「将来だれが和だいを演奏するのだろう」と考えました。

和だいの演奏者の何人かがアヤカに和だいの演奏のしかたを教え、彼女はそれをやってみました。和だいを演奏することは簡単ではありませんでしたが、それはおもしろかったです。彼女はお祭りで和だいを演奏することを決心し、それで夏の間毎週末、それを練習しました。

お祭りの日、アヤカはお父さんの代わりに和だいを演奏しました。町の多くの人が和だいの演奏を見てとても楽しそうでした。アヤカは和だいを演奏することを本当に楽しみました。ほかの演奏者たちは彼女と演奏してわくわくしました。彼女のお父さんは彼女に「和だいを演奏してくれて本当にありがとう」と言いました。アヤカは「私は父から和だいの演奏のしかたを習いたい」と思いました。

今、アヤカはもっといっしょけんめいに和だいを練習したいと思っています。彼女は将来、自分のお父さんやおじいさんのようにその演奏のしかたをより若い人たちに教えることを希望しています。彼女は

② 伝統を維持することは大切であると考えています。

❖ 確認問題 ❖

→p.123

- 1 (1) singing (2) reading (3) living
(4) running
- 2 (1) used (2) painted (3) made (4) spoken
- 3 (1) ウ (2) イ (3) エ (4) エ (5) ア
- 4 (1) a book my father wrote
(2) the girl I met yesterday
(3) like the curry you cooked

解説 1 「～している, ～する」は現在分詞(-ing形)で表す。

- 2 「～された, ～されている」は過去分詞で表す。
- 3 (1)(2) 現在分詞と過去分詞が, それぞれ1語で名詞を修飾しているので, 修飾する名詞の前に置く。
(3)(4)(5) 現在分詞と過去分詞が, それぞれほかの語句をともなっている, 修飾する名詞のあとに置く。
(3) 「私たちの先生と話している生徒」, (4) 「英語で書かれた本」, (5) 「体育館でバレーボールをしている男の子」となる。

- 4 「(人などが～する…)」は名詞のあとに〈主語+動詞(～)〉を置いて表す。
(1) 名詞は a book。〈主語+動詞〉は my father wrote。
(2) 名詞は the girl。〈主語+動詞 ~〉は I met ~。
(3) 名詞は the curry。〈主語+動詞 ~〉は you cooked yesterday。

❖ 演習問題 ❖

→p.124~p.125

- 1 (1) made (2) working (3) seen
(4) sitting (5) sold
- 2 (1) flying, bird (2) broken, door
(3) singer, named (4) I, know
(5) boy, cutting (6) they, sent
- 3 (1) あなた(たち)のお兄さん[弟さん]の前に立っているあの生徒は
(2) 教室で国語[日本語]を教えている男性は
(3) 約500年前に建てられた古いお寺に行きました
(4) 私の祖母がよく知る医者です
- 4 (1) called (2) crying, girl (3) I, use
(4) you, met

- 5 (1) Bob is the student we helped
(2) Who is the boy running with his dog?
(3) The question he asked me was difficult.
(4) The book written by the scientist was interesting.
(5) The baby sleeping on the bed is eight months old.
(6) you show me the pictures taken by your mother
- 6 (1) This is a[the] dictionary I bought last Saturday.
(2) Do you know the boy wearing a cap[hat]?
(3) The subject I like (the) best is math.
(4) English is the language spoken in their country.
(5) The woman playing the violin over there is my aunt.

TRY! 英作文

- (1) (例) There is a baseball museum visited by many people in the stadium.
(2) (例) We can see the bats and the gloves famous players used.
(3) (例) We can buy a cap designed by one of the best players (there).

解説 1 修飾する名詞との関係が「…は～する」なら現在分詞, 「…は～される」なら過去分詞。

- (1) 不規則動詞。make - made - made
(3) 不規則動詞。see - saw - seen
(5) 不規則動詞。sell - sold - sold

- 2 (1) 「飛んでいる」が1語で「鳥」を修飾する。
(2) 「壊れた」が1語で「ドア」を修飾する。
(3) 「ヒロと名づけられた」は〈過去分詞+語(句)〉なので, 名詞(the singer)のあとに置く。
(5) 「木を切っている」は〈現在分詞+語(句)〉なので, 名詞(the boy)のあとに置く。
(6) 「彼らがあなたに送った」は〈主語+動詞 ~〉で, 前の名詞(the presents)を修飾する。
- 3 (1) standing in front of your brother が〈現在分詞+語(句)〉で前の that student を修飾する。
(2) teaching Japanese in the classroom が〈現在分詞+語(句)〉で前の The man を修飾する。
(3) built about five hundred years ago が〈過去分詞+語(句)〉で前の the old temple を修飾する。
(4) my grandmother 以下が〈主語+動詞 ~〉で, 前の a doctor を修飾する。
- 4 (1) 「斉藤先生はネコを飼っています。それはタマと呼ばれています」→「斉藤先生はタマと呼ばれ

るネコを飼っています」

(2) 「あなたはあの少女を知っていますか。彼女は泣いています」 → 「あなたはあの泣いている少女を知っていますか」

(3) 「これはコンピュータです。私は毎日それを使います」 → 「これは私が毎日使うコンピュータです」

(4) 「その男性は私のおじです。あなたは病院の近くで彼に会いました」 → 「あなたが病院の近くで会った男性は私のおじです」

5 (3) 「彼が私にたずねた」は he asked me. the question がこの文の主語。

(4) 「～によって書かれた本」は the book written by ~. the book がこの文の主語。

6 (2) 「帽子をかぶっている男の子」は現在分詞を使い, the boy wearing a cap [hat].

(3) 「私が最も好きな教科」は the subject I like (the) best. 「～です」を表す be 動詞は主語の the subject に合わせて is を使う。

(5) 「向こうでバイオリンを演奏している女性」は the woman playing the violin over there. 主語の the woman に合わせるので「～です」は is を使う。「向こうで」 over there

TRY! 英作文 (1) 「多くの人々によって訪問される～」は(名詞+過去分詞+語(句))で表す。

(2) 「有名な選手たちが使用した…」は(名詞+主語+動詞 ~)で表す。

(3) 「…によってデザインされた～」なので(1)と同様, 過去分詞を使う。「…によって」by ...

◆実戦問題◆

→p.126~p.127

1 Reading Point

- ① 義足[人工の足]。
- ② 科学技術を使い始めた。
- ③ 遠藤さんのように人々を幸せにしたいという気持ちになった。

Words Check

- ① engineer ② sick ③ together
- ④ hospital ⑤ kind ⑥ money
- ⑦ take good care of ⑧ more than

(1) エ (2) ② made (3) living

(3) イ (4) ア

(5) (例) 自分の技術を使えば 3,000 円で[同じ値段で]よりよい義足を作ることができる。

(6) ウ → イ → ア → エ

Writing Exercise

(1) I showed them the picture my father painted.

(2) 2,000 yen is needed to buy this bag.

(3) (例) The girl wearing a cap [hat] is trying to catch a ball.

(4) (例) I don't have much money to buy the things I need.

解説 1 (1) ア 「なぜなら彼らがバスケットボールをしていたときに, 遠藤さんは彼の友達を失ったので」

イ 「なぜなら遠藤さんは彼の友達を助けるために歩行ロボットを作りたかったので」

ウ 「なぜなら遠藤さんの友達の 1 人が彼に子どもたちのための歩行ロボットを作るように言ったので」

エ 「なぜなら遠藤さんの友達の 1 人が片足を失い, 遠藤さんはその友達を助けたかったので」由佳の 2 番目の発言内容と合う。

(3) 第 28 ~ 29 行目の内容に合う写真を選ぶ。

(4) ア 「日本よりもインドでより多くの義足が必要とされています」由佳の 3 番目の発言内容と合う。

イ 「インドの人々は, 病院が遠すぎるので病院に行きません」第 15 ~ 16 行目参照。病院に行くためのお金があまりないので, 病院に行けない。

ウ 「インドの病院は人々の世話をするお金を必要としていません」第 16 ~ 17 行目参照。多くの病院では必要とするものを買うお金があまりない。

エ 「多くの日本人がインドの病院で働いています」本文にこのような内容はない。

(5) 第 25 ~ 27 行目の内容をまとめる。

(6) 遠藤さんの人生の流れに合わせて選択肢を並べると以下の通り。

ウ 「遠藤さんはアメリカ合衆国の大学で勉強するためにそこに行きました」 →

イ 「遠藤さんは病院にいる彼の友達を訪ねて, 彼に歩行ロボットを見せました」 →

ア 「遠藤さんはインドの NGO の技術者たちが作った義足を見ました」 →

エ 「遠藤さんはその NGO の技術者たちと仕事をするためにインドへ行きました」

Writing Exercise (1) 「父がかいた絵」は, 名詞 the picture を後ろから(主語+動詞)の my father painted が修飾する形になる。

(2) 受け身の文で「2,000 円」を主語にする。

(3) 「～しようとする」 try to ～

(4) 「自分が必要とする物」は the things I need.

全訳 由佳：私は日本人技術者の遠藤さんについての本を読んだの。彼はアメリカの大学で勉強し、インドで義足を作っているの。

ニック：①なぜ彼はそれらを作り始めたの？

由佳：彼が歩行ロボットを研究しているとき、彼の友達の1人が病気になり片足を失ったの。彼らは親友で、同じチームでいっしょにバスケットボールをしていたの。遠藤さんが病院に行き、彼が作った歩行ロボットを友達に見せたとき、友達は悲しそうで、自分の足でもう一度歩きたいと言ったわ。「ぼくは歩行ロボットは作れるけど、自分の友達が歩くのを手伝えない。ぼくは何ができるだろうか」と彼は考えたわ。遠藤さんは彼の友達のために何か役に立つものを作ると決めたの。

ニック：遠藤さんは親切な男性だね。彼は友達を助けるために科学技術を使い始めたんだね。でもきみは、彼はインドで義足を作っていると言ったよ。なぜだい？

由佳：日本よりも病気が多いので、インドではもっと多くの人々が彼らの足を失っているの。でも、病院に行くためのお金があまりないので、彼らは病院に行くことができないの。さらに、多くの病院には必要な物を買うためのお金があまりないわ。だから医者たちは人々をととてもよく世話することができないの。多くの貧しい人々が彼らの足を失い、義足を必要としているわ。

ニック：ぼくは、義足を買うのに10万円以上が必要とされると聞いたことがあるよ。貧しい人々がそれを手に入れることができるの？

由佳：ええ。ある日、遠藤さんはインドのNGOの技術者によって②作られた義足を見たわ。このNGOはインドに③住んでいる貧しい人に義足を提供していて、だから人々はそれを入手するためのお金を少しも必要としないのよ。でも、1つの義足を作るのにインドでは3,000円かかると聞いたとき、彼は「ぼくにはより優れた科学技術がある。3,000円でもっとよい義足を作ることができる」と考えたわ。それで彼はインドへ行き、その技術者たちと仕事をしたの。④この写真を見てごらん。彼の義足を身に着けた少女が歩こうとしている。彼女はとても幸せそうに見えるわよ！

ニック：すばらしい！ いつの日か、ぼくは遠藤さんのように人々を幸せにしたいな。

❖ 確認問題 ❖

→p.129

- ① (1) friend, who (2) cat, which
(3) boy, who (4) bus, which
- ② (1) a robot that plays the piano
(2) a boy who speaks Chinese
(3) The castle which stands near the lake
- ③ (1) letter, which[that] (2) nurse, that
(3) stories, which[that] (4) man, that
- ④ (1) the sandwiches which Akira made
(2) a musician that my parents know well
(3) The sport that Judy likes

解説 ① She, It, He などの主語の代わりをするのは、主格の関係代名詞。

(1)(3) 先行詞が「人」のとき、主格の関係代名詞は who を使う。

(2)(4) 先行詞が「物」・「動物」のとき、主格の関係代名詞は which を使う。

② 先行詞のあとに〈関係代名詞＋動詞～〉を続ける。

③ it, her, them, him などの目的語の代わりをするのは、目的格の関係代名詞。

(1)(3) 先行詞が「物」・「動物」のとき、目的格の関係代名詞は which または that を使う。

(2)(4) 先行詞が「人」のとき、目的格の関係代名詞は that を使う。

④ 先行詞のあとに〈関係代名詞＋主語＋動詞～〉を続ける。

❖ 演習問題 ❖

→p.130～p.131

- ① (1) who (2) which (3) that (4) which
(5) teaches
- ② (1) which[that], stands (2) all, that
(3) who[that], talked[spoke]
(4) which[that], were
(5) that, we, like
- ③ (1) We know a girl who[that] dances well.
(2) I like the pizza which[that] my grandmother made.
(3) The boy that you helped in the gym is Daisuke.
(4) The movie which[that] we watched last night was interesting.

- 4 (1) who[that], works (2) which[that], she
(3) who[that], has (4) which[that], I
- 5 (1) The girl who cleaned the room is
(2) the first person that came to my house
(3) The train which goes to Tokyo leaves
(4) I'm reading the book that my friend gave to me
(5) Tom is an American boy that I have known
(6) The language Mr. White speaks at home is
- 6 (1) I have a friend who[that] can[is able to] run fast.
(2) The woman that you met[saw] in[at] the hospital is my aunt.
(3) Nara is a[the] city which[that] has a long history.
(4) Do you know a student who[that] plays tennis well?
(5) This is a[the] pen which[that] I bought [got] for your birthday.

TRY! 英作文

- (1) (例) It's the largest bookstore in our town.
(2) (例) There are many books (which[that] are) written in English.
(3) (例) You can talk[speak] to a salesperson who[that] can speak English.

解説 1 (1) 先行詞は「人」で、あとが came と動詞なので主格の who。

(2) 先行詞は「物」で、あとが動詞(was)なので主格の which。

(3) 先行詞は「人」で、あとが Ami's sister respects と(主語+動詞)なので目的格の that。

(4) 先行詞は「物」で、あとが(主語+動詞 ~)(Tom sent ~)なので目的格の which。

(5) 関係代名詞に続く動詞は、先行詞の人称・数に一致させる。a teacher は 3 人称単数。

2 (1) 先行詞が The building と 3 人称単数で、主格の関係代名詞。「立つ」は stands と -s をつける。

(2) 「すべてのお金」は all the money。先行詞に all が含まれるので、関係代名詞は that。

(3) 先行詞は The woman で主格の関係代名詞。「~に話しかけた」なので talked[spoke]とする。

(4) 関係代名詞のあとは受け身の文で、先行詞 the photos が複数なので be 動詞は were。

3 (1) 先行詞は a girl で「人」。She の代わりなので主格。関係代名詞は who[that]を使う。

(2) 先行詞は the pizza で「物」。it の代わりなので目的格。関係代名詞は which[that]を使う。

(3) 先行詞は The boy で「人」。him の代わりなので目的格。関係代名詞は that を使う。

(4) 先行詞は The movie で「物」。it の代わりなので目的格。関係代名詞は which[that]。

4 (1) 「~している」を表す現在分詞を(主格の関係代名詞+動詞 ~)で言いかえる。

(2) 「これは昨年、彼女によって書かれた手紙です」→「これは昨年、彼女が書いた手紙です」

(3) with long hair は「長い髪をもった」。<主格の関係代名詞+動詞 ~>で言いかえる。

(4) 目的格の関係代名詞を使って、「ロンドン是我がいちばん好きな都市です」という文にする。

5 (1)(2)(3) 主格の関係代名詞。先行詞のあとに(関係代名詞+動詞 ~)を続ける。

(4)(5) 目的格の関係代名詞。先行詞のあとに(関係代名詞+主語+動詞 ~)を続ける。

(6) The language のあとの目的格の関係代名詞が省略されている。

6 (1) 「~できる友達」は a friend who[that] can[is able to] ~。「速く走る」run fast

(2) 「あなたが~で会った女性」は the woman that you met[saw] ~。the woman がこの文の主語。

(5) 「私が~のために買ったペン」は a[the] pen which[that] I bought[got] for ~。

TRY! 英作文 (1) 「町でいちばん大きい書店」は<the + 最上級 + 名詞>で表す。

(3) 先行詞が a salesperson 「店員」で、主格の関係代名詞 who[that]を使って表す。

❖ 実戦問題 ❖

⇒p.132~p.133

1 Reading Point

- ① 自分のハザードマップを作るべきだ。
② 自分の市のウェブサイトを見て、家族や隣人と近所の避難所を確認したり、危険な場所に関する情報を共有したり、現地調査のために地域を歩き回ったりする。
③ 隣人にあいさつしておくべきだ。

Words Check

- ① disasters ② emergency ③ dangerous
④ protecting ⑤ neighbors ⑥ solve
.....
(1) ① ウ ② イ (2) ③ ア ④ エ (3) ウ
(4) ウ (5) ⑧ エ, オ ⑨ ア, カ

解説 1 (1) ① 直前の people に注目。人を先行詞とする主格の関係代名詞 who が適切。②前後

の語句から考える。「あなたが自分で解決できない問題」ならば、完成する文の意味が通るので、I you が正しい。some problems に合わせて、関係代名詞 that, which を入れると意味が通らない。

(2) ③ 第7～8行目参照。But のあとで it is important to ~, too. 「～することも大切だ」と言っている。ア「災害に備えて自分のマップを作ることの重要性」が適切。④ 第13～14行目の First 以下、16～17行目の Next 以下などに注目。マップ作成上の留意点を紹介している。エ「マップ作成のためにしたがるべき助言」が適切。イ「緊急時における地域の情報」、ウ「知っておくべき皆さんの自然災害」。

(3) 第25～30行目参照。隣人と意思の疎通を図ることを勧めている。ウ「あなたは隣人と意思の疎通をたくさん図るべきです」が適切。ア「あなたは隣人にマップを作るように言うべきです」、イ「あなたは緊急時、隣人にしたがるべきです」、エ「あなたは隣人にあなたの問題を解決してくれるようにお願いするべきです」。

(4) 第9～11行目に注目。本文の a place to meet your family「家族と会う場所」は where to ～「どこで～したらよいか」、ways to go to evacuation sites「避難所へ行く道」は how to ～「どのように～したらよいか、～する方法」を使って言いかえられる。

(5) ⑧ 現地調査前にしたほうがよいこと。エ「緊急時にどこへ行くべきか知る」第13～14行目参照。オ「話し合って確認すべき場所を決める」第21～22行目参照。

⑨ 現地調査中にしたほうがよいこと。ア「危険な場所の写真をとる」第19～20行目参照。カ「子どもやお年寄りといっしょに行く」第20～21行目参照。イ「多くの情報でマップを作成する」、ウ「危険な場所を見つけて修理する」本文にそのような内容はない。

全訳 自分のハザードマップを作る

[1] 日本には、台風、地震、豪雨を含めて、多くの自然災害があります。大型の台風があなたの街に来ることを想像してください。あなたはどこに行くべきか知っていますか。あなたの力になってくれる人を知っていますか。この情報があれば、緊急のときでも素早く落ち着いて行動できます。自治体には、危険な場所を示すハザードマップがあるかもしれません。しかし、自分自身のハザードマップを作ることも大切です。危険な場所だけでなく、近所にあるほかの大切な場所も示すべきです。たとえば、家族と会う場所や避難所へ行く道を加えるべきです。あなたは災害から自分自身

を守ることにについて考えなければなりません。

[2] どうすれば緊急時に役立つ自分のハザードマップを作れるでしょうか。第一に、自分の市のウェブサイトを見て、家族や隣人と近所の避難所を確認してください。学校へ行くべき人もいれば、公民館へ行くべき人もいます。次に、危険な場所に関する情報を共有してください。たとえば、だれかが「この道路は大雨になると水没するでしょう」と言うかもしれません。おたがいに話したあと、現地調査をするために地域を歩き回ってください。あなたのマップに危険な場所の写真を貼るとよいので、カメラを携帯してください。子どもやお年寄りはあなたが見逃しているほかの危険物に気づくかもしれないので、いっしょに行く必要があります。また、行く前にどの場所を調べるか決めておくべきです。そうすることで、手際よく終わらせることができます。現地調査のあと、集めた情報すべてを使ってマップを作成してください。

[3] 緊急時に、②あなたが自分で解決できない問題があるかもしれません。このような場合、あなたは隣人と協力する必要があるでしょう。もしあなたが彼らをよく知っていれば、助け合うのは容易です。そこで、隣人とつながるために、まず彼らにあいさつをしてはどうでしょうか。マップの作成はあなたに隣人ともっと話す機会も与えてくれるでしょう。よいコミュニケーションによって、社会は災害に対してもっと強くなるでしょう。

メモ ハザードマップについて

要点:

- [1] ③災害に備えて自分のマップを作ることの重要性
- [2] ④マップ作成のためにしたがるべき助言
- [3] 筆者からのメッセージ

→ 重要!

⑤隣人とたくさん意思の疎通を図るべきだ。

マップに必要とされること

- ・家族と⑥どこで会えばよいか
- ・⑦どのように避難所へ行けばよいか
- ・危険な場所の写真

マップを作るために何をしたらよいか

現地調査前

- ・市のウェブサイトを見る
- ・⑧緊急時にどこへ行くべきか知る
- ・話し合って確認すべき場所を決める

現地調査中

- ・⑨危険な場所の写真をとる
- ・子どもやお年寄りといっしょに行く

⇒p.135～p.137

- 1 (1) イ (2) イ (3) ア (4) イ (5) ア
(6) ア
- 2 (1) drawing (2) cooked (3) to buy
(4) running (5) made (6) taking
- 3 (1) エ (2) イ (3) イ (4) ウ (5) エ
(6) イ (7) ア
- 4 (1) shop[store], near (2) to, see
(3) girls, cleaning (4) book, written
(5) you, took (6) who[that], works
(7) which[that], he, built
- 5 (1) バスケットボールは私たちが毎週日曜日に楽しむスポーツです。
(2) 私はあのカフェテリアで何か冷たいものを飲みたいです。
(3) 私たちの市には多くの外国の人々に訪問されるお寺があります。
(4) 私の兄[弟]は今日の午後、彼の宿題をする時間がありませんでした。
(5) あなた(たち)にいくつか質問をした少年は私のクラスメートです。
- 6 (1) child, sitting (2) written, her
(3) who[that], has
(4) that, everyone, respects
(5) my, aunt, made (6) to, worry, about
- 7 (1) Tom is a boy who swims well.
(2) The fruit she likes is oranges.
(3) He has a cat called Tama.
(4) We see something white on the beach.
(5) Bob needs something cold to drink.
(6) Do you know the students in front of the library?
- 8 (1) the songs sung by the musician
(2) a girl that I have known for five years
(3) The boy watching TV in the room
(4) The zoo which[that] had many kinds of animals
(5) the color she likes the best
- 9 (1) I have a lot of things to
(2) famous place visited by many people
(3) Do you know the girl dancing on the stage?
(4) received the birthday present my aunt sent to me

(5) should take the bus which goes to the station

- 10 (1) This is a[the] letter (which[that]) I wrote ten years ago.
(2) The children in the room enjoyed listening to music.
(3) You have a lot of[many / lots of] books to read.
(4) What is the language spoken in the country?
(5) The girls playing tennis look happy.

解説 2 (1)(4)(6) 修飾する名詞と「…は～している」

の関係なので、現在分詞にする。

(2)(5) 修飾する名詞と「…は～された」の関係なので、過去分詞にする。

- 3 (3) 形容詞的用法の不定詞が前の名詞を修飾する。「夕食前に書くべき2通の手紙」
- 4 (2) 「見るべき」は形容詞的用法の不定詞を使い to see となり、前の a lot of flowers を修飾。
(3) 「体育館をそうじしている」は〈現在分詞+語句〉。修飾する名詞のあとに置く。
- 5 (1) a sport を〈主語+動詞～〉の we enjoy ～ が修飾している。
- 6 (4) 「耕司のお父さんはみんなから尊敬されている医者です」→「耕司のお父さんはみんなが尊敬する医者です」
(5) 「私はおばによって作られたこのかばんをよく使います」→「私はおばが作ったこのかばんをよく使います」
- 7 (5) 「何か冷たい飲み物」は〈-thing+形容詞+不定詞〉の語順で something cold to drink。
- 8 (2) 先行詞は a girl. her の代わりなので目的格の関係代名詞 that を使う。
(4) 先行詞 The zoo. It の代わりなので主格の関係代名詞は which または that を使う。
- 9 (1) 「私は今日の午後するべきことがたくさんあります」、(2) 「それは多くの人々に訪問される有名な場所です」、(3) 「あなたは舞台上で踊っている少女を知っていますか」、(4) 「私はおばが私に送ってくれた誕生日プレゼントをちょうど受け取ったところです」、(5) 「私たちは駅に行くバスに乗るべきです」
- 10 (2) 「その部屋の中の子どもたち」は〈前置詞+語句〉を使い、the children in the room。
(4) 「その国で話されている」は〈過去分詞+語句〉を使い、spoken in the country。

27 間接疑問文・いろいろな疑問文

◆確認問題◆

⇒p.139

- ① (1) that, boy, is (2) where, they, stay
(3) what, Ann, likes
- ② (1) when she will come
(2) why he is angry
(3) who made the cake
- ③ (1) aren't, you (2) didn't, he
(3) does, she (4) Yes, does
- ④ (1) Aren't (2) Yes, are
(3) Didn't (4) No, didn't

解説 ① 疑問詞で始まる疑問文がほかの文の一部になっている間接疑問文は、疑問詞のあとは(主語+動詞～)にする。

- ② (3) 疑問詞が主語である場合は、(疑問詞(=主語)+動詞～)と語順がかわらない。
- ③ 肯定文には否定の付加疑問を、否定文には肯定の付加疑問をつける。
(2) 一般動詞の過去の肯定文。付加疑問には didn't を使う。
(3) 主語が3人称単数で現在の否定文。付加疑問には does を使う。
(4) (否定文+肯定の付加疑問)に答えるときは、「いいえ」は Yes, 「はい」は No になる。
- ④ 「～ではないのですか」は否定の形で始まる疑問文(否定疑問文)で表す。答えの文の日本語は、Yes 「いいえ」、No 「はい」になる。

◆演習問題◆

⇒p.140～p.141

- ① (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア
- ② (1) Isn't (2) what, happened (3) will, you
(4) are, they (5) knew, where, stayed
(6) didn't, he (7) Won't, Yes
- ③ (1) 私は、私たちの先生が何のスポーツがいちばん好きなのか知りません。
(2) あなたのおじさんは午前中に新聞を読まないのですか。— いいえ、読みます。
(3) トムは早く家に帰ってきませんでしたね。
— はい、帰ってきませんでした。
- ④ (1) he, is (2) I, should, say
(3) when, she, was
- ⑤ (1) Your brother wasn't tired, was he?

- (2) I wonder how much this camera is.
(3) Couldn't you swim in the sea
(4) Ms. Smith has Japanese food, doesn't she?
(5) Tell me who took these pictures.

- ⑥ (1) Do you know who that man is?
(2) I don't know why she's crying.
(3) Will[Can] you tell us what time it is (now)?
(4) I want to know when he used my bike.
(5) Ms. White can speak three languages, can't she?
(6) Don't your parents watch TV after dinner?
— No, they don't.

TRY! 英作文

- (1) (例) I don't know what I should buy
(2) (例) Do you know where I can buy
(3) (例) Aren't you free

解説 ① (1) lives から where を選ぶ。「その有名なサッカー選手がどこに住んでいるか」
(3) Let's ~. の文を付加疑問文にするときは、(, shall we?)をつける。

- ② (2) 「何が起こったか」は what happened. what は主語でもあるので、語順はかわらない。
(3) 命令文を付加疑問文にするときは、(, will you?)をつける。
(4) aren't なので否定文。肯定の付加疑問をつける。Judy and Paul は they で受ける。
(5) 前の文の動詞が過去形なので、時制の一致で間接疑問の動詞 stay も過去形にする。
(7) 未来の否定疑問文なので Won't ~?. 否定疑問文に対する答えでは「いいえ」は Yes で表す。
- ③ (2) 一般動詞を使った現在の否定疑問文。「～ではないのですか」という意味。否定疑問文に対する答えで Yes は「いいえ」と訳す。
(3) (否定文+肯定の付加疑問)の答えでも、Yes と No が日本語と逆になる。No は「はい」となる。
- ④ (1) 「私は彼の年齢を知りません」→「私は彼が何歳なのか知りません」
(2) 「私は最初に何を言ったらよいかわかりません」→「私は最初に何を言うべきかわかりません」
(3) 「あなたは彼女の誕生日を知っていますか」→「あなたは彼女がいつ生まれたか知っていますか」
- ⑤ (1) 「疲れていませんでしたね」なので、否定文に肯定の付加疑問をつける。
(2) 「～かしら」は I wonder ~.。疑問詞は how much で、あとに(主語+動詞～)を続ける。
- ⑥ (5) 「～を話すことができますね」は can を使った肯定文に否定の付加疑問をつける。

(6) 「あなたの両親は～ないのですか」は否定疑問文で、Don't your parents ~? となる。

TRY! 英作文 (1) 亜美の「メアリーへの誕生日プレゼントをもう買いましたか」という質問に対して、「いいえ、まだです」と答えたあとの文を考える。「私は彼女のために何を買うべきなのかわかりません」という文を作る。what 以下は should を使った間接疑問文で表す。

(2) かばんを買おうと決めたボブが、「あなたは私がすてきなかばんをどこで買えるか知っていますか」とたずねる文にする。

(3) 直後に「いっしょに来てくれたらうれしいです」と言っているので、「あなたは今日、ひまではないのですか」と確認する否定疑問文にする。「ひまな」free

(3) ア「おとなのツバメはそれらに飛び方を教えます」その仕事が大変な理由が、次の文に書かれている。

イ「おとなのツバメはそれらのために新しい巣を作ります」

ウ「ひなは自分たちの兄弟たちの世話をします」

エ「ひなはまったく食べ物を食べません」

(4) 1. 質問は「おとなのツバメは卵を産んだあとに何をしますか」という意味。26 行目参照。

2. 質問は「なぜひなは成長するとじょうずに飛ぶことが必要になるのですか」という意味。第 29 ~ 31 行目参照。

別解 Because they need to get food alone (after leaving their nests).

(5) ア「健はツバメに関する本や雑誌を一度も読んだことはありません」第 10 行目参照。1 冊読んだことがある。

イ「日本に来るときたびたび迷子になるので、ツバメは賢くありません」第 10 ~ 16 行目参照。

日本に来るとき迷子にならず、賢い。

ウ「日本に来るツバメのほとんどは、1 年で 6,000 キロメートル以上飛びます」第 7 ~ 9 行目参照。飛行距離は 1 年で 4,000 キロメートル以上。

エ「日本に飛んで戻るとき、ツバメは彼らの特別な能力を使っている、と健は考えています」第 14 ~ 17 行目の内容と合う。

(6) 「ツバメは小さいが、とても速く飛びます。彼らの飛行[Ⓐ]速度は時速 200 キロメートル以上です。ツバメは以前滞在していたのと同じ巣に[Ⓑ]戻ることができます。ツバメには多くの[Ⓒ]特別な能力がある、と健は考えています。加えて、ツバメはとても熱心な働き手です。[Ⓓ]おとなのツバメは自分たちの家族のためにたくさんのことをします。巣を作り、自分たちのひなの世話をする、などです」

Writing Exercise (2) 「1 日に 2 時間以上」more than two hours a [per] day

(3) 「天気がどうか変わったか」は how のあとに〈主語+動詞 ~〉を続ける。

全訳 あなたたちはどんな種類の鳥がいちばん好きですか。ぼくの大好きな鳥はツバメです。^①今日はあなたたちになぜぼくがツバメを好きなのかを話します。

第 1 に、ツバメはとても強いです。おとなのツバメの平均的な大きさは約 17 センチメートルです。ツバメは小さいですが、彼らの飛行速度はときに時速 200 キロメートルを超えます。日本に来る大部分のツバメは冬の間はたいてい、より暖かい国、たとえばフィリピンやマレーシアやインドネシアに滞在します。それはツバメが 1 年間で、日本に来るのに 2,000 キロメ

❖ 実戦問題 ❖

⇒p.142~p.143

1 Reading Point

- ① 約 17 センチメートル。
- ② たとえばフィリピン、マレーシアやインドネシアといった、より暖かい国。
- ③ 太陽。
- ④ (家族のために)(朝から晩まで)巣を作ろうとする。

Words Check

- ① strong ② smart ③ foreign ④ map
- ⑤ guess ⑥ strange ⑦ all day ⑧ grow up

- (1) tell you why I like swallows
- (2) イ (3) ア
- (4) 1. (例) They try to keep the eggs warm all day.
- 2. (例) To get food alone (after leaving their nests).
- (5) エ
- (6) A speed B return C special D Adult

Writing Exercise

- (1) What kind of music does Bob like the best?
- (2) (例) You have to [must] study for more than two hours a [per] day.
- (3) (例) Do you remember how the weather changed during the soccer game [match]?

解説 1 (2) became panicked 「うろたえた」

ートル以上、ほかの国へ旅するのにさらに2,000キロメートルを飛ばなければならないことを意味します。ツバメはとても強いと思いませんか。

第2に、ツバメはとても賢いです。ぼくはツバメに関する1冊の本を読んだことがあります。それによると、ツバメは毎年たいてい同じ巣に帰ってくるそうです。ちょっと想像してください！ あなたたちは迷うことなく1人で外国に行けますか。ツバメには地図もなく、旅の案内人もいません。しかし、ツバメはかつて訪れた場所を覚えていて、同じ巣に戻ることができるのです。ほかの国から日本に飛んで戻ってくるとき、ツバメがどのようにして同じ巣への経路を見つけられるのか、ぼくにはわかりません。ツバメはぼくたちにはない多くの特別な能力をもっている、とぼくは信じています。その能力の1つは太陽と何か関係がある、とぼくは思います。あなたたちは数年前に日食の間に空がどのように変化したかを覚えていますか。突然、夜空のように暗くなりました。そのときぼくの家の巣のツバメたちは、うろたえて、とても大声でさえざり始めました。彼らは何か奇妙なことが太陽に起きることに気づいた、とぼくは推測しています。

第3に、おとなのツバメは家族のためにとてもいっしょうけんめいに働きます。あなたたちの家にツバメの巣はありますか。もしあるならば、2、3週間の間、とても注意深くあなたのツバメを観察してください。あなたたちは彼らがどれだけいっしょうけんめいに働くかわかるでしょう。ひなをもつ前に、おとなのツバメは朝から晩まで自分の家族のために巣を作ろうとします。卵を産んだあとは、彼らは1日中それを温めておこうとします。ひなが卵から出てくると、おとなのツバメは自分たちのひなの世話をするためにいっしょうけんめいに働きます。巣をきれいにし、ひなにエサを与え、そしてカラスのようなほかの鳥からひなを守ります。ひなが成長すると、おとなのツバメはそれらに飛び方を教えます。巣を出たあと、1人で食べ物を得るためにひなはじょうずに飛ぶ必要があるのです。おとなのツバメにとって、それは大切な仕事です。おとなのツバメは本当にいっしょうけんめいに働きます。あなたも同感ではありませんか。

実際、ツバメに関してはまだ多くのなぞがあります。だからぼくはツバメについてもっと学ぶために大学に行き、そのなぞに対する回答を見つけたいです。

❖ 確認問題 ❖

⇒p.145

- 1 (1) knew, would (2) were, could
(3) didn't, could (4) weren't, would
- 2 (1) 時間があれば、本を読めるのに
(2) 鳥だったら、飛べるのに
(3) 忙しなくなれば、彼女は映画を見るだろうに
(4) そんなに年を取っていないなら、彼はスキーをするだろうに
- 3 (1) were (2) could, understand (3) were
(4) could, come
- 4 (1) もっと背が高ければいいのに
(2) オーストラリアに住んでいればいいのに
(3) 私たちのチームにいればいいのに

解説 1 「もし～なら、…だろうに[できるのに]」は〈If+主語+動詞の過去形～, 主語+would[could]+動詞の原形…〉の仮定法の文で表す。

(2)(4) 仮定法の文でbe動詞の過去形はwere。

- 2 〈If+主語+動詞の過去形～, 主語+would[could]+動詞の原形…〉の仮定法の文は「もし～なら、…だろうに[できるのに]」という意味を表す。
- 3 「～ならいいのに」は〈I wish+主語+(助)動詞の過去形～〉の仮定法の文で表す。be動詞の過去形は主語が何であってもふつうwereを使う。

❖ 演習問題 ❖

⇒p.146～p.147

- 1 (1) were (2) met (3) had
- 2 (1) lived, could, swim
(2) didn't, have, would (3) would, stop
(4) weren't
- 3 (1) had, could (2) knew, could (3) had
(4) weren't
- 4 (1) 彼の名前を知っていれば、あなた(たち)に教えるだろうに
(2) 病気でなければ、彼は私たちといっしょに行くだろうに
(3) 私の家に来られればいいのに
(4) 今ここにいればいいのに
- 5 (1) If I had enough money, I would travel around the world.
(2) If my brother were not sleepy, he could watch the TV program.
(3) I wish it were a holiday today.

- (4) I wish I had more time to play video games.
- (5) If you were a teacher, what subject would you teach?
- 6 (1) If I had a guitar, I could play it.
- (2) If I were you, I would not[wouldn't] do that[it].
- (3) If Ken were not[weren't] busy, he would help us.
- (4) I wish he were my brother.
- (5) I wish I could speak English better.

TRY! 英作文①

- ・(例) If I were Maria, I could speak three languages.
- ・(例) If I were Shota, I could swim well.

TRY! 英作文②

(例) If I had a lot of money and time, I would study abroad.

解説 1 (2) 仮定法の文のコンマのあとが疑問文になっている。

2 (2) 「もし～しないなら、…だろうに」〈If+主語+didn't+動詞の原形～, 主語+would+動詞の原形....〉

(3) stop ~ing 「～することをやめる」

3 (1) 「私はカメラを持っていないので、写真をとることができません」→「もし私がカメラを持っていたら、写真をとれるのに」

(2) 「私たちは絵里の電話番号を知らないで、彼女に電話をかけることができません」→「もし私たちが絵里の電話番号を知っていたら、彼女に電話をかけられるのに」

(3) 「私はイヌを飼ってなくて残念です」→「私はイヌを飼ってればいいのに」

(4) 「私は私たちの先生が怒っていて残念です」→「私たちの先生が怒ってない方がいいのに」

5 (4) 「もっと～する時間がある」have more time to～。to～はtimeを後ろから修飾する不定詞の形容詞的用法。

TRY! 英作文① (別解) If I were Yui, I could dance well.

TRY! 英作文② (別解) If I had a lot of money and time, I would build a big house for my family.

◆実戦問題◆

⇒p.148～p.149

1 Reading Point

- ① メジャーリーグで大きな成功を収めること。
- ② 今までで最高の野球選手だから。
- ③ 投球あるいは打撃に集中するべきだという意見もあれば、高いレベルでは両方をうまくすることは不可能だろうという意見もあった。
- ④ 打者としてホームラン46本を打ち、投手として9勝を挙げた。
- ⑤ 大谷翔平選手のようなチャレンジ精神のある強い人。

Words Check

- ① player ② amazing ③ unique
- ④ century ⑤ became ⑥ held
- ⑦ was born ⑧ take part in

(1) ① エ ② ウ

(2) (例) 幼いころからずっと打撃も投球もうまくなろうと努め続けている

(3) will make us excited

(4) 1. (例) Yes, he did.

2. (例) He hit forty-six (home runs).

(5) ア, ウ

Writing Exercise

(1) the best movie that I have ever seen

(2) (例) She helped me (to) learn how to cook.

(3) (例) He has become one of the most popular singers.

解説 1 (1) ① あとの〈could+動詞の原形〉から、仮定法の文と考える。「～であればいいのに」は〈I wish+主語+(助)動詞の過去形～.〉で表す。

② Ifで始まり、あとにwouldがある。また、投手の大谷選手と打者の大谷選手が対戦することは現実にはありえないので仮定法で表す。

(2) 第18～20行目参照。〈have[has] been+動詞の-ing形〉は現在完了進行形で、行為の継続「ずっと～している」を表す。bothは前のpitching and hitting「投球と打撃」を指す。

(3) 主語the news across the seaは「海を越えるニュース」の意味。文脈から、アメリカから日本に伝わる大谷翔平選手の活躍に関するニュースを指す。excitedがあるので「(人)を～(の状態)にする[しておく]」を表す〈make+人+形容詞〉の形を使う。

(4) 1. 質問は「大谷翔平選手は小さな男の子のころ、野球を楽しんでいましたか」という意味。第5～7行目参照。

2. 質問は「大谷翔平選手は2021年に何本のホームランを打ちましたか」という意味。第27～28行目参照。

(5) ア「大谷翔平選手はメジャーリーグに行く前に日本野球機構で5年間プレイしました」第9～12行目の内容と合う。

イ「大谷翔平選手は日本の多くの野球ファンに愛されていますが、アメリカ合衆国では人気がありません」第13～14行目の内容に合わない。

ウ「大谷翔平選手はアメリカ合衆国で二刀流の選手としてプレイするため、ずっととても熱心に努力しています」第25～26行目の内容に合う。

エ「大谷翔平選手は有名な野球選手のベイク・ルースほどじょうずではないと言う人がいます」第29～30行目、ベイク・ルースよりもはるかに優れていると言う人がいるという内容に合わない。

オ「大谷翔平選手が2021年にたくさんの賞を受けたので、すべての人が驚いています」第28～29行目、多くの受賞にだれも驚いていないという内容に合わない。

カ「健は高校に入学したら、大谷翔平選手のような二刀流の野球選手になりたいと思っています」本文にそのような内容はない。最終文に健は大谷選手のようなチャレンジ精神のある強い人になりたいとある。

Writing Exercise (1) 「最高の～」は〈the+最上級(best)+名詞〉で表す。これを先行詞として関係代名詞 that を置く。あとは〈主語+動詞～〉。「今まで見た」は経験を表すので、現在完了形〈have+過去分詞(seen)〉を使う。

(2) 「(人)が～するのを助ける」は〈help+人+動詞の原形〉で表す。「身につける」は learn。「～のしかた」は〈how to+動詞の原形〉。

(3) 「～になった」は現在完了形〈have [has]+過去分詞(become)〉で表す。主語が3人称単数なので has を使う。「最も～な…の1人」は〈one of the+最上級+複数名詞〉。「人気のある」を表す popular の最上級は most popular。

全訳 こんにちは、みなさん。ぼくは健です。ぼくの大好きなスポーツは野球です。ぼくのあこがれの人は大谷翔平選手です。彼は野球がとてもじょうずです。ぼくはうまくいかないとき、「大谷選手と同じくらいうまくプレイできればなあ！」とよく思います。今日ぼくはこの特別な野球選手について話します。

大谷翔平選手は岩手に生まれました。彼は小さな男

の子だったころ、野球を始めました。彼の父親は彼が野球のしかたを身につけるのを手助けしました。彼は友達といっしょにとっても熱心に野球を練習し、それをとっても楽しみました。高校生のとき、彼は豪速球を投げることができ、とても有名になりました。日本野球機構で5年間プレイしたあと、彼はメジャーリーグでプレイすることに決めました、なぜなら彼の夢はそこで大成功を収めることだったからです。彼は背番号17をつけた選手としてロサンゼルス・エンゼルスとともにアメリカ合衆国での新生活を始めました。現在、彼は世界中の最高の選手たちと野球をしています。彼は日米の多くの野球ファンに愛されています。

あなたたちはなぜ大谷翔平選手がそれほど人気があるのか知っていますか。彼は私たちが今まで見た中で最高の野球選手です。そのことは私たちに次のような興味深い疑問を与えます。つまり、もしも投手の大谷選手が打者の大谷選手と対戦したら、どちらが勝つのだろうか。実際、彼は驚くべき二刀流の選手です。多くの選手にとって打撃と投球の両方をじょうずにするのは困難かもしれませんが、彼は両方がとてもじょうずです。彼は小さいころから、両方をじょうずになろうと努め続けています。^③このことに関してはさまざまな意見がありました。彼は投球に集中するべきだと言う人たちがいました。彼は打撃に集中するべきだと言う人たちもいました。そして、高いレベルで両方をじょうずにすることは不可能だろうと言う人たちもいました。しかしながら、彼は自分自身を信じ、独自のスタイルをかえませんでした。メジャーリーグで二刀流の選手としてプレイするため、彼は何年もずっと多くの努力を重ねています。数回けがもしましたが、あきらめませんでした。2021年、彼は私たちに本物の才能があることを見せてくれました。彼は打者として46本のホームランを打ち、投手として9勝を挙げました。彼が多くの賞を受けたことに驚く人はいません。彼は20世紀初めの有名な野球選手ベイク・ルースよりもはるかに優れていると言う人もいます。ついに、彼の夢はかないました。大谷翔平選手は野球史上、最も偉大な選手の一人になりました。「ショータイム」は続き、海を越えるニュースが^④ぼくたちをわくわくさせてくれるでしょう。

ぼくは学校の野球部員です。毎日、放課後に野球をしています。高校に入学したら、ぼくは野球部に入って甲子園球場で催される夏の大会に参加したいです。また、野球をすることを通じてたくさんのことを学ぶつもりです。将来、ぼくは大谷翔平選手のように、チャレンジ精神のある強い人になりたいと思っています。

→p.150

確認問題①

- (1) a, piece, of (2) and, so, on (3) at, night
 (4) was, born (5) am, interested, in
 (6) a, few (7) a, lot (8) all, right
 (9) agree, with (10) was, full, of
 (11) a, little (12) after, school
 (13) Anything, else (14) around, the, world
 (15) is, famous, for (16) a, lot, of
 (17) At, that, time (18) is, different, from
 (19) a, member, of (20) At, first
 (21) are, afraid, of (22) at, home
 (23) is, good, at (24) all, over, the, world

→p.151

確認問題②

- (1) go, to, bed (2) go, shopping
 (3) come, from (4) come, true
 (5) for, a, long, time
 (6) have, a, good, time
 (7) Are, ready, for (8) get, to (9) get, on
 (10) grow, up (11) because, of
 (12) between, and (13) far, away
 (14) go, on, a, trip (15) both, and
 (16) by, myself (17) come, back
 (18) give, up (19) for, the, first, time
 (20) For, example (21) get, up
 (22) Do, your, best (23) call, back
 (24) depends, on (25) each, other
 (26) get, off

確認問題③

- (1) Look, at (2) looking, for (3) heard, of
 (4) Most, of (5) next, to (6) Here, is
 (7) in, need (8) Of, course (9) heard, about
 (10) How, about (11) keep, in, touch
 (12) left, for (13) help, yourself
 (14) no, longer (15) not, only, but, also
 (16) help, with (17) In, addition, to
 (18) instead, of (19) looking, forward, to
 (20) can't, at, all (21) in, front, of
 (22) In, my, opinion (23) look, like
 (24) not, any, more (25) in, the, future
 (26) in, the, morning

→p.153

確認問題④

- (1) too, to (2) waited, for
 (3) Why, don't, you (4) You, know
 (5) on, TV (6) over, there (7) so, that
 (8) take, care, of (9) these, days
 (10) Welcome, to (11) years, old
 (12) One, day (13) takes, a, bath
 (14) used, to (15) would, like, to
 (16) What, a (17) one, of
 (18) take, off (19) very, much
 (20) thought, of (21) right, now
 (22) took, part, in (23) the, other, day
 (24) Thank, you, for

⇒p.154~p.155

- 1 (1) called (2) written (3) been
(4) running (5) more (6) mine (7) sung
- 2 (1) エ (2) エ (3) ウ (4) イ
- 3 (1) likes the comic book which he bought
(2) it was easier to understand her English
(3) My mother told me to clean
(4) make things they needed in
- 4 (1) when she will come
(2) have you been looking
(3) interesting games played in Japan
(4) the movie we saw was how to
(5) wish I were better at
(6) of the books you gave me made
- 5 (1) (例) I hope (that) you will learn something important, too.
(2) (例) I decided to study English more.
(3) (例) She's a student who [that] came from Canada two weeks ago.
- 6 (1) ① (例) I was very surprised to hear your speech.
② (例) There were many [a lot of / lots of] things (which [that]) I didn't know in it.
(2) ① (例) We always use them without thinking about them.
② (例) Can I read the book (which [that]) you bought?

- 解説** 1 (1) 〈過去分詞+語句〉が後ろから an animal を修飾する。「パンダと呼ばれている動物」
(2) 空所の直前に was, 直後に by があるので、受け身の文。動詞は過去分詞にする。
(3) 空所の直前が We've [We have] なので、現在完了形の文。動詞は過去分詞にする。「私たちはそのときからずっといっしょにいます」
(4) 〈現在分詞+語句〉が後ろから The girl を修飾する。「公園を走っている少女」
(5) 文の後半に than があることから、比較級の文だとわかる。many は比較級 more にする。「でもトムのほうがあなたよりも多くの CD を持っていると思います」
(7) 〈過去分詞+語句〉が後ろから a famous song を修飾して、「合唱祭で歌われる有名な歌」という意味になる。sing の過去分詞は sung。

- 2 (1) 〈ask+人+to ~〉で「(人)に~するように頼む」という意味を表す。
(2) 現在完了進行形の文。あとに過去のある時点が続くので、直前は for ではなく since が適切。
(3) 主語が複数で現在の受け身の文は、〈are+過去分詞〉で表す。
(4) あとの would から仮定法の文。動詞は過去形。If のあとの主語が I でも、be 動詞は were が正しい。「もしも私があなたなら、医者に行くだろうに」
- 3 (1) 先行詞は the comic book。「彼が昨日買った」があとに続く。
(4) 「物を作るために」は〈to+動詞の原形〉を使って to make things と表す。「彼らの生活の中で必要な物」は things を後ろから they needed in their life が修飾する形にする。
- 4 (1) 「彼女がいつ来るか」を間接疑問〈疑問詞+主語+助動詞+動詞〉で表す。「あなたは彼女がいつ来るか覚えていますか」
(2) 現在完了進行形の疑問文。疑問詞 What のあとは〈have+主語+been+動詞の-ing形〉の語順。「あなたは今朝からずっと何をさがしていますか」
(3) 〈one of the+最上級+複数名詞〉「最も~な…のうちの1つ」を played in Japan が後ろから修飾している文。「それは日本で行われている最もおもしろいゲームのうちの1つです」
(4) think のあとに省略されている接続詞 that が導く文の主語は、the message of the movie we saw 「私たちが見た映画のメッセージ」となる。how to enjoy our lives 「私たちの人生の楽しみ方」
(5) 仮定法〈I wish+主語+動詞の過去形 ~.〉の文。主語が I でも be 動詞は were。「~するのがもっとうまい」は be better at ~ing で表せる。「でもそれをひくのがもっとうまければいいのに」
(6) 主語の one of the books を you gave me が後ろから修飾して「あなたが私にくれた本のうちの1冊」となる。「あなたが私にくれた本のうちの1冊が私を悲しくさせた(=悲しませた)からです」
- 5 (1) 「私は~ということを望む」I hope (that) ~., 「何か大切なこと」something important
(3) 先行詞は a student。あとに「2週間前にカナダから来た」を表す who [that] came from Canada two weeks ago を続ける。
- 6 (1) ② 「~があった」は There was [were] ~. で表す。many things のあとに「私が知らなかった」(which [that]) I didn't know を続ける。
(2) ① 「~することなしに」without ~ing

⇒p.156~p.157

- 1 (1) busiest (2) bought (3) were (4) left
 2 (1) difficult, by (2) help, learn
 3 (1) I like it because it is easy to
 (2) think of something good to
 (3) can't decide where we should go
 (4) for selling bikes made in
 (5) who use them have to know how
 4 (1) boy sitting by me is
 (2) the highest of all the mountains
 (3) teacher loved by her
 (4) send me the book after
 (5) think that box is as
 5 (1) (例) It will be very good to go out.
 (2) (例) I want[need] to take a break.
 6 (1) (例) My grandmother bought me his CD
 last month.
 (2) (例) His song is[songs are] loved by a lot
 of[many/lots of] people.
 (3) (例) I want to be[become] a singer like him.

- 解説** 1 (1) 空所の直前に the が、後ろに in ~ が
 あることから、形容詞の最上級が入る。busy の
 最上級は busiest。「彼は私たちの事務所で最も
 忙しい人なので、いつも夜遅くまで働きます」
 (2) 文末の yesterday から、一般動詞の過去形が
 入る。buy の過去形は bought。「私は昨日あの
 店でこのコンピュータを買いました」
 (3) 文の後半が when we visited them と過去形
 であることから、空所の直後が watching であるこ
 とから、過去進行形の文だとわかる。主語が
 They なので、be 動詞は were。「私たちが彼ら
 を訪ねたとき、彼らはテレビを見ていました」
 (4) 空所の直前が has just なので、現在完了形の
 文。動詞は過去分詞にする。leave の過去分詞は
 left。「バスはちょうど出てしまいました」
 2 (1) 「難しい」は difficult。「列車で」は by train。
 (2) 「(人)が~するのを助ける」は〈help+人+(to
 +)動詞の原形〉で表す。「学ぶ」は learn。
 3 (1) easy to ~ で「~しやすい」という意味を表す。
 「私はそれが使いやすいので、それが好きです」
 (2) think of ~ 「~を思いつく」、something
 good to bring to the party 「パーティーに持つ
 ていくのによい何か」

(3) アメリカからの留学生について相談する会話。
 I can't decide 「私は決められません」のあとに、
 間接疑問〈疑問詞+主語+助動詞+動詞〉を使って、
 where we should go 「私たちがどこへ行くべき
 か」を続ける。

(4) 前置詞 for の目的語として動名詞 selling が
 続く。名詞 bikes を made in France が後ろか
 ら修飾する。「それはフランスで作られた(=フラ
 ンス製の)自転車を売ることで有名です」

(5) 電車で携帯電話を使う人についての会話。
 people who use them 「それらを使う人々」、
 have to ~ 「~しなければならない」、how and
 where to ~ 「どうやって、どこで~するべきか」
 「それらを使う人々は、それらをどうやって、ど
 こで使うべきかを知らなければなりません」

- 4 (1) sitting by me が後ろから The boy を修飾し
 ている。from が不要。「私のそばにすわってい
 る少年が太郎です」
 (2) which が不要。「それは神奈川のすべての山
 の中で最も高いです」
 (3) loved by her students が後ろから a music
 teacher を修飾している。during が不要。「彼女
 は生徒たちに愛されている音楽の教師です」
 (4) 〈send+人+物〉で「(人)に(物)を送る」、〈接
 続詞 after+主語+動詞 ~〉で「…が~したあと
 に」。mine が不要。「あなたが読み終えたあと、
 その本を私に送ってくれますか」
 (5) as ~ as ... で「…と同じくらい~」。この
 that は接続詞や関係代名詞ではなく形容詞。than
 が不要。「ええと、あの箱はこの箱と同じくらい
 大きいと私は思います」
 5 (1) 「外出することはとてもよさそうだ」と考えて、
 It will be ... to ~. の文で表す。
別解 It will be just right for going out.
 (2) 「私はひと休みしたい」と考えて、want to ~
 で表す。「ひと休みする」take a break
別解 relaxation is also necessary.
 6 (1) 「(人)に(物)を買う」は〈buy+人+物〉か〈buy
 +物+for+人〉で表す。
別解 Last month my grandma bought his
 CD for me. / I have his CD (which[that]) my
 grandmother bought me last month.
 (2) 「…によって~される」という受け身の文は
 〈be 動詞+過去分詞+by ...〉で表す。
別解 His songs are liked by a lot of[many /
 lots of] people. / Many people love his songs.
 (3) **別解** I hope I'll be[become] a singer like
 him. / I'd like to be[become] a singer like him.

⇒p.158~p.159

確認問題①

- 1 (1) This, I, speak[talk], out, take
(2) decided, like, For, or
- 2 (1) on
(2) I, leave
(3) try, on
(4) How, much
(5) show, another
- 3 (1) ウ
(2) カ
(3) ア
- 4 (1) ウ
(2) イ
- 5 (1) May I speak to Mike
(2) Would you like some water?
(3) tell him to call me

- 解説** 1 (1) 電話で「～です」と名乗るときは、This is ~. を使う。I am ~. とは言わないことに注意。「～さんをお願いします」は May [Can] I speak [talk] to ~ (, please)?。「外出中で」は be out, 「伝言をうかがいましょうか」は Can [May / Shall] I take a message? で表す。
(2) 「ご注文はもうお決まりですか」は Have you decided yet?。「～をいただきます」は I'd like ~. 「こちらでお召し上がりですか、それともお持ち帰りですか」は For here or to go? を使う。また、For here or to go? に対しては For here. か To go. で答える。
- 2 (1) 「(電話を切らずに)お待ちください」Hold on, please.
(2) 「伝言をお願いしてもいいですか」Can [May] I leave a message?
(3) 「～を試着する」は try ~ on で表す。
(4) 値段をたずねるときは How much ~? で表す。
(5) 「別のものを見せてくださいませんか」Could [Would] you show me another one?
- 3 (1) 電話で「私です」と言うときは、Speaking.。
A: もしもし、ミカです。ビルくんをお願いします。
B: ぼくです。こんにちは、ミカ。どうしたの?
(2) 注文などを聞かれて、「以上です」と答えるときは、That's all. を使う。
A: ほかに何かご注文はありますか。

B: いいえ。以上です。

(3) 「～はいかがですか」は How about ~? で表す。

A: すみません。この帽子は小さすぎます。もっと大きいものはありますか。

B: はい。これはいかがですか。

- 4 (1) B の返事から、店員が客にあいさつしていることがわかる。

A: いらっしゃいませ。

B: はい。私は兄へのプレゼントをさがしています。

(2) 空所のあとで A が「はい、お願いします」と答えているので、B は何かを申し出ていることがわかる。

A: もしもし。マサオです。ライアンくんをお願いします。

B: すみませんが、彼は家にいません。伝言をうかがいましょうか。

A: はい、お願いします。

- 5 (1) May I speak to ~? は電話の会話で「～をお願いします」。

A: もしもし。ケンです。マイクくんをお願いします。

B: すみませんが、彼は今、外出中です。彼は6時に帰宅します。

(2) Would you like ~? で「～はいかがですか」。

A: お水はいかがですか。

B: はい、お願いします。

(3) Could you tell ~ to call me back? は、「私に電話をかけ直すように～に伝えてくださいませんか」という、ていねいな依頼の表現。

アレン: もしもし。アレンです。デイビッドくんをお願いします。

サラ: すみません、アレン。彼は今、家にいません。

アレン: わかりました。私に電話をかけ直すように彼に伝えてくださいませんか。

サラ: わかりました。彼はあとでかけ直すでしょう。

確認問題②

- 1 (1) Take
 (2) Get, on
 (3) Turn, right
 (4) How, By
 (5) change, trains
- 2 (1) Where
 (2) way, to
 (3) Which, bus
 (4) Get, off
- 3 ① for
 ② down[along]
 ③ left
 ④ right
- 4 (1) ア
 (2) ア
- 5 (1) How can I get to
 (2) Which train should I take?
 (3) show you how to
 (4) You must change trains at Tokyo

解説 1 (1) 「～線に乗りなさい」は Take the ~ Line. で表す。

- (2) 「(バス, 電車など)に乗る」は get on ~。
 (3) 「右[左]に曲がる」は turn right[left]。
 (4) 交通手段をたずねるときは How ~? で「どうやって～ですか」と表す。「～で」と交通手段を答えるときは、<by+乗り物名>を使う。この場合の乗り物名の前には a や the は不要。
 (5) 「電車を乗り換える」は change trains. trains と複数形になることにも注意。
- 2 (1) 場所をたずねるときは, Where ~?。
 (2) 「～への道を教えてくださいませんか」は Will [Can] you show[tell] me the way to ~?。
 (3) 「どのバスが～ですか」とたずねているので, Which bus ~ で始まる疑問文になる。
 (4) 「(バス, 電車など)を降りる」は get off ~。
- 3 ① look for ~ 「～をさがす」
 女性は郵便局をさがしていることがわかるので, 地図をもとに郵便局までの道順を説明する文を続けなければよい。
 ② go down[along] ~ 「～に沿って行く」
 ③ turn left 「左に曲がる」
 ④ on your right 「右側に」
 女性: すみません。私は郵便局をさがしています。

男性: ええと。この道に沿って行って, 2つ目の角を左に曲がってください。それは右側に見えます。

女性: わかりました。どうもありがとうございます。

男性: どういたしまして。

- 4 (1) A: すみません。どこでタクシーに乗れますか。
 B: ええと, この道にある新しい病院を知っていますか。

A: いいえ, 知りません。

B: わかりました。私があなたといっしょに行きます。

そのほかの選択肢は, イ「それはよい考えです」, ウ「5分かかりました」, エ「どうもありがとうございます」という意味。

(2) 空所のあとの発言で B が時間を答えていることから, A が市役所までバスでかかる時間をたずねている文が適切だとわかる。

A: すみません, 市役所がどこにあるか知っていますか。

B: はい, 知っています。ここから遠いです。あのバスに乗るべきです。

A: どれくらいかかりますか。

B: ええと, 20分くらいです。

そのほかの選択肢は, イ「あなたはなぜそこへ行きたいのですか」, ウ「あなたはいつ行きますか」, エ「事務所はいくつありますか」という意味。

- 5 (1) How can I get to ~? 「～へはどうやって行ったらいいですか」

A: 駅へはどうやって行ったらいいですか。

B: まっすぐ行って, 2つ目の角を右に曲がってください。

(2) A: すみません。私は白河へ行きたいです。
どの電車に乗ればいいですか。

B: 2番線の電車に乗ってください。

(3) A: すみません。市立図書館へはどうやって行ったらいいですか。

B: 私があなたにそこへの行き方を教えてあげます。 ペンを持っていますか。

A: はい, どうぞ。

(4) サム: ジュニー, ぼくは新幹線でどうやって名古屋に行ったらいいのかわからないよ。助けて。
 ジュニー: いいわよ。あなたは東京駅で電車を乗り換えなくてはならないわ。

確認問題③

- ① (1) Really
 (2) wrong, have
 (3) Shall[May, Can], I, thank, you
 (4) about, playing, idea
 (5) think, so
- ② (1) agree
 (2) think, so
 (3) Pardon
 (4) see
 (5) right
- ③ (1) Why, don't
 (2) Shall, I
 (3) matter, That's, take
- ④ (1) ウ
 (2) ア
- ⑤ (1) Shall we play tennis
 (2) can I use your pen
 (3) don't we go out for

解説

- ① (1) 「本当ですか」 Really?
 (2) 「どうしましたか」は What's wrong?。「頭痛がします」は I have a headache。
 (3) 「(私が)～しましょうか」と申し出るときは Shall I ~? を使う。答えるときは, Yes, please. 「はい, お願いします」, No, thank you. 「いいえ, けっこうです」などで表す。
 (4) 「～してはどうですか」は How about ~ing? で表す。Why don't you ~? や Would you like to ~? など表すこともある。
 (5) 「私はそう思いません」 I don't think so.
- ② (1) 相手の意見などに賛成するときは, I agree. 「私は賛成です」, 反対のときは I disagree. 「私は反対です」で表す。
 (2) 「私もそう思います」 I think so, too.
 (3) 相手の言ったことが聞きとれなかったときは, Pardon? 「すみませんが, もう一度言ってください」などでたずねる。
 (4) 「わかりました」 I see.
 (5) 「その通りです」 That's right.
- ③ (1) Why don't you ~? 「～してはどうですか」
 A: 私はキタ美術館を訪れるつもりです。私といっしょに来てはどうですか。
 B: わかりました。それはよいですね。
 (2) Shall I ~? 「(私が)～しましょうか」

A: ここはとても暑いです。

B: 窓を開けましょうか。

A: はい, お願いします。ありがとう。

(3) What's the matter? で「どうしましたか」。What's wrong? と言うこともある。That's too bad. 「それはいけませんね」, Please take care of yourself. 「お大事にしてください」

A: どうしましたか。

B: かぜをひきました。

A: それはいけませんね。お大事にしてください。

- ④ (1) Will you ~? 「～しませんか」と誘っている文のあとに続く答えを選ぶ。さらに, 空所のあとの A の反応から, B が誘いを受けたことがわかる。
 A: 私は今晚, 家族と花火大会に行きます。私たちといっしょに行きませんか。

B: もちろん行きます。

A: よかった。今晚, 会いましょう。

そのほかの選択肢は, ア「すみませんが, 行けません」, イ「私は家にいなければなりません」, エ「いいえ, けっこうです」という意味。

(2) 空所のあとの A の答えから, B がパイをもらえないか依頼したことがわかる。

A: 私の母は昨日このアップルパイを作りました。少しいかがですか, クリス。

B: ありがとう。わあ, 本当においしい! もう1切れいただけますか。

A: もちろん。パイはあと2つあります。

そのほかの選択肢は, イ「手伝ってくれませんか」, ウ「だれがそれを作りましたか」, エ「あなたはそれをどこで買いましたか」という意味。

- ⑤ (1) Shall we ~? 「(いっしょに)～しませんか」
 A: 昨日, 新しいラケットを買ったんだ。
 B: 本当? 今度の土曜日にテニスをしませんか。
 A: いいよ。わくわくするね。
 (2) Can I ~? で「～してもいいですか」と許可を求める表現になる。
 A: ユミ, あなたのペンを使ってもいいかしら?
 B: もちろん。はい, どうぞ。
 A: ありがとう。
 (3) Why don't we ~? 「～しませんか」
 A: 私は今晚, 遅くなるわ。
 B: 大丈夫だよ, ママ。外で夕飯を食べない?

→p.164~p.165

- ① イ
② ウ
③ (1) (例) Why don't you join us?
(2) (例) Can[May] I leave a message?
④ (1) (例) May[Can] I help you(4語)
(2) (例) I want a cheaper one. Could[Would] you show me another one?(11語)
⑤ (例) Shall I take your picture?
⑥ ① (例) can[may] I play the piano
② (例) She's sleeping

解説 ① ①「リサさんをお願いします」に Sorry. 「すみません」と答えているので、B「彼女はここにはいません」を選ぶ。

② 空所の直前で「あとでもう一度彼女に電話してもいいですか」とたずねているので、A「彼女に伝えることがあります」が適切。

③ C「彼女は夕食前には家にいます」

② ① 第1行目より、2人の目的地はサクラ公園だとわかる。第4～6行目より、まず書店のとなりのコンビニエンスストアに行こうとしていることがわかるので、空所には school を入れて、「この道に沿って学校まで行って、そこで左に曲がります」とする。

② 第9～10行目より、コンビニエンスストアを出たあとの道順について話していることがわかる。空所には left を入れて、「それから私たちは次の信号機まで歩いて、その角を左に曲がります」と続けるため、答えはウ。

全訳 キャシー：サクラ公園に行くのに、どれがいちばんよい道順かしら、サユリ？

サユリ：今、私たちはここにいるわ。そしてそこに着く前に、昼食の食べ物を買うわ。

キャシー：コンビニエンスストアに寄らしましょう。

サユリ：書店のとなりの？

キャシー：ええ。

サユリ：この道に沿って①学校まで行って、そこで左に曲がるわ。

キャシー：それから、食べ物を買ったあとでコンビニエンスストアのところを右に曲がるのね。

サユリ：ええ。それから私たちは次の信号機まで歩いて、その角を②左に曲がるわ。

キャシー：そうね。行きましょう。

③ (1)「～しませんか」は Why don't you ~? / How about ~ing? / Would you like to ~? などを使って表す。「～に参加する」は join。

④ (1)「いらっしゃいませ」 May[Can] I help you?
(2) 空所の直前で店員が「3,000円です」と言い、空所のあとでは「同じサイズのこの黒いのはいかがですか。たったの1,000円です」と言っていることから、宏志はもっと安いものがほしいと発言したことがわかる。「ぼくはもっと安いものがほしいです。別のものを見せていただけますか」などの意味となる答えが望ましい。

別解 I want something a little cheaper. Do you have anything else?(11語)

全訳 店員：こんにちは。

宏志：こんにちは。

店員：①いらっしゃいませ。

宏志：はい。ぼくはTシャツをさがしています。

店員：何色をおさがしですか。

宏志：濃い色のものがほしいです。

店員：この緑色のものはいかがですか。

宏志：わあ、これはかっこいいですね。それにぼくのサイズでもある。いくらですか。

店員：3,000円です。

宏志：②ぼくはもっと安いものがほしいです。別のものを見せていただけますか。

店員：わかりました。同じサイズのこの黒いものはいかがですか。たったの1,000円です。

宏志：いいですね。それをいただきます。

⑤ 左の絵では、ゆみこが「見て。彼らは写真をとっているわ」と言い、ベンが「英語を話しているね。英語を使って彼らを助けてはどうかね」とゆみこにすすめている。右の絵では、ゆみこは写真をとっている男性に話しかけていて、男性は「はい、お願いします。ありがとう」と言ってカメラをゆみこに渡そうとしているので、「あなたたちの写真をとりますか」などと申し出る文を入れるとよい。

⑥ ① ヒカルの吹き出しのピアノと、空所のあとに母親が「いけません」と答えていることから、ヒカルが「ピアノをひいてもよいか」と許可を求める文を作る。

別解 can[may] I practice the piano

② 空所の前で母親が「妹を見てごらんさい」と言っていることから、ピアノをひけない理由を答える文を作る。

別解 She will wake up

⇒p.166~p.167

① ウ → イ → エ → ア

② (1) イ

(2) ウ

③ (1) (例) How can I get to Green Hotel?

(2) (例) I don't want to walk because it's too far.

④ ① ク

② ア

③ オ

④ エ

⑤ (1) (例) Have you decided yet

(2) (例) want to eat[would like to have] pizza

(3) (例) What kind of juice do you have

解説 ① 選択肢を並べかえると以下の通り。ウ「もしもし。ブラウン・オフィスです」→
イ「トム・スミスです。ブラウンさんをお願いします」→エ「すみません、彼は今、忙しいのです」→
ア「わかりました。あとでかけ直します」

② (1) 英文は「あなたの英語の先生が今、教室に来るところです。彼女はたくさんのノートを持っていて、あなたは彼女を手伝いたいと思います。あなたは彼女に何と言いますか」という意味。イ「ノートのうちの何冊かを持ちましょうか」が適切。そのほかの選択肢は、ア「私のノートを持ってくれないですか」、ウ「手伝ってくださいませんか」、エ「ドアを開けてくれるようにあなたに頼んでもいいですか」という意味。

(2) 英文は「あなたは映画館で映画を見えています。あなたは本当にそれを楽しみたいのですが、あなたとなりすわっている男性が別の人と大きな声で話し始めます。あなたは彼らに話すのをやめてほしいです。あなたは彼らに何と言いますか」という意味。ウ「すみません。静かにしていただけませんか」が適切。そのほかの選択肢は、ア「ごめんなさい。静かに映画を見ましょうか」、イ「問題ありません。どうお手伝いしましょうか」、エ「すみませんが、もう一度言ってください。もっと話してはどうですか」という意味。

③ (1) 2で少年が道順を説明している。「この道に沿って行って、3つ目の角で右に曲がってください。それは左側にあります」と言っていることから、

男性はグリーンホテルへの道順をたずねたことがわかる。「～へはどうやって行ったらいいですか」は How can I get to ~? などで表す。

別解 Can[Will] you tell me the way to Green Hotel?

(2) グリーンホテルまでは徒歩で約20分かかると聞いた男性の発言。4で少年が「では、バスに乗ることができます」と言っていることから、「遠すぎるので歩きたくありません」などとする。

別解 I have a big bag and I'm very tired.④ **全訳** リッキーの母：もしもし。

ユウジ：もしもし。ユウジです。

リッキーの母：こんにちは、ユウジ。元気ですか。

ユウジ：元気です、ありがとうございます、でも、リッキーは元気ですか。彼は今日、学校に来ませんでした。

リッキーの母：ええと、彼は昨夜からかぜをひいているの。① それで今は病気で寝ているのよ。

ユウジ：それはよくないですね。

リッキーの母：② 彼にあなたに電話をかけ直すように言いませんか。ユウジ：いいえ、いいんです。③ でも、伝言をお願いしてもいいですか。

リッキーの母：いいですよ。

ユウジ：明日の料理の授業のためにエプロンを持ってくるように彼に言っていただけますか。

リッキーの母：④ 料理の授業用のエプロンね。

ユウジ：はい、彼がすぐによくなることを望んでいます。

リッキーの母：どうもありがとう。

⑤ (1) 注文をたずねるときの表現が入るため、「ご注文はもうお決まりですか」などとする。

別解 May I help you

(2) I want to eat[would like to have] ~ 「私は～が食べたいです」や I will have ~ 「私は～をいただきます」などを使って、久美のお父さんになったつもりで注文する文を作る。

別解 will have a steak

(3) I also want something to drink. 「私は何か飲むものもほしいです」に続く言葉で、4で店員が「たくさんの種類のジュースがあります」と答えていることから、「どんな種類のジュースがありますか」などとする。種類をたずねるときは What kind of ~? で表す。

別解 What do you have

⇒p.168

パターン1

- (1) (例) we can exchange messages easily (5語)
 (2) (例) they will visit me soon (5語)

確認問題①

- ① (1) (例) What do we have to do for homework tonight? (9語)
 (2) (例) We have a lot of homework. (6語)
 ② (例) can stop using plastic bags (5語)

解説 **パターン1** (1) 手紙よりも E メールが好まれる理由を説明する文を考えて書く。exchange messages 「メッセージを交換する」

別解 we don't have to buy any stamps or letter paper (10語) 「私たちは切手も便せんも買う必要がありません」

(2) ホストファミリーからの E メールを読んで、アイコは何がわかってうれしいかを考える。また、空所のあとに続く「私はそれをとても楽しみにしています」という文から、未来のことだとわかる。

別解 they will come to Japan this summer (7語) 「彼らは今年の夏に日本にやって来よう」

全訳 アイコ：昨年、私は英語を勉強するためにオーストラリアに行ったの。今はときどき、ホストファミリーと Eメールの交換をしているの。

ジェーン：私はニューヨークにいる友達によく Eメールを送るわ。⁽¹⁾簡単にメッセージを交換できるという理由で、多くの人が手紙よりも Eメールを好むわね。

アイコ：ええ、私もそう思うわ。昨日、私はホストファミリーから Eメールを受け取ったの。⁽²⁾彼らがじきに私を訪ねてくれることがわかって、とてもうれしいわ。それをとても楽しみにしているの。

ジェーン：それはいいわね。

確認問題① ① (1) 空所のあとで、貴志が「ぼくたちは3章から4章まで英語の本を読まないといけないよ。数学の宿題もある」と答えていることから、ジョンは貴志に宿題の内容をたずねているとわかる。

別解 Please tell me about our homework. (6語) 「ぼくたちの宿題について教えてください」/ Can [Will] you tell me what to do for our homework? (10語) 「宿題に何をしたらいいか教

えてくれませんか」

(2) 空所のあとで貴志が「だから、きみはそれ(=宿題)を早く始めたほうがいいよ」と言っていることから、宿題を早く始めたほうがいい理由が入る。

別解 It will take a long time. (6語) 「それは時間がかかるでしょう」

全訳 ジョン：こんにちは。ジョン・スミスです。貴志くんはいますか。

貴志：やあ、ジョン。貴志だよ。

ジョン：やあ、貴志。質問があるんだけど。

貴志：何だい？

ジョン：⁽¹⁾ぼくたちは今夜、宿題に何をしなければならぬのかな？

貴志：3章から4章まで英語の本を読まないといけないよ。数学の宿題もある。⁽²⁾宿題がたくさんあるね。だから、きみはそれ(=宿題)を早く始めたほうがいいよ。

ジョン：わかったよ。ありがとう。じゃあね。

貴志：じゃあね。

② What can I do for it? 「そのために(=地球を守るために)私に何ができますか」という A の問いに対する答えを考えて書く。

別解 can walk or ride your bike to school for clean air (11語) 「きれいな空気のために、学校まで歩くか自転車に乗ることができます」

全訳 A：私は地球を救うために何かをしたいと思っています。そのために私に何ができますか。

B：そうですね、あなたはビニール袋の使用をやめることができます。

A：それは簡単そうですね。やってみます。

⇒p.169

パターン2

(例) Let's take a picture together. (5語)

確認問題②

- ① (例) That sign says, "Don't swim in this area." (8語)
 ② (例) I was taking a bath then. (6語)

解説 **パターン2** 絵や登場人物のせりふから、「どこで」「だれが」「何をしている」場面なのかを推測し、適切な会話表現を考える。

場面 A …女の子が男の子に何かを提案し、男の子は「いいよ」と了解している。Sure. 「いいよ」は提案を受けるときに用いる表現。

場面B…女の子が「笑って!」と言いながら、男の子といっしょに写真をとっている。

別解 Will[Can] you take a picture with me? (7語)「私と写真をとってられませんか」

確認問題② ① 左の絵…浮き輪を持った女性がある1人の女性に「泳ぎましょう」と言っている。右の絵…「遊泳禁止」の看板を見た女性が浮き輪を持った女性に何かを言うと、その女性が「ああ、なるほど」と答えている。

解答例は「あの看板に、『この区域で泳いではいけません』と書いてあるわ」という意味。

別解 We can't swim here. Let's go to another place. (9語)「私たちはここで泳げません。別の場所に行きましょう」

② 「何をしていたの?」という質問に対して、過去進行形を使って、友達からの電話に出られなかった理由を考えて書く。

別解 I was running in the park at that time. (9語)「ぼくはそのとき公園を走っていたよ」

全訳 ①: ねえ、ぼくは昨夜7時にきみに電話したんだよ。どうして電話に出てくれなかったんだい?

②: ごめんね。

③: 何をしていたの?

④: そのときお風呂に入っていたんだ。

⑤: ああ、なるほど。

→p.170

パターン3

(1) (例) what to do (3語)

(2) (例) I was very tired, but I shared a good time with them.

確認問題③

① (1) (例) He can run (the) fastest in his class. (7[8]語)

(2) (例) He plays soccer well. (4語)

(3) (例) He taught me math [taught math to me] yesterday. (5[6]語)

② (例) I like playing tennis. I practice it very [so] hard every day. My dream is to be [become] a famous tennis player. (20語)

解説 **パターン3** (1) メモの第2文の「何をしたらよいか」を(疑問詞+不定詞)で表す。

(2) 「～と楽しい時間をわかち合う」share a good time with ~

別解 I was so tired, but I had a good time

with them. 「私はとても疲れていましたが、彼らと楽しい時間を過ごしました」

全訳 私は7月の3日間、幼稚園を訪れました。私のクラスには20人の子どもたちがいました。最初、私は緊張して、子どもたちと遊ぶのは難しかったです。しかし先生たちはとても親切で、彼らは私に⁽¹⁾何をしたらよいか教えてくれました。私が子どもたちのためにピアノをひいたとき、彼らは歌ったり踊ったりして楽しみました。最後の日、彼らは私に「また来てください!」と言ってくれました。彼らが私のことをとても好きになってくれたので、私はとてもうれしかったです。⁽²⁾私はとても疲れていましたが、彼らと楽しい時間をわかち合いました。

確認問題③ ① (1) 「いちばん速く走る」は最上級を使ってrun (the) fastest. また<比較級+than any other+単数名詞>で表してもよい。

別解 He runs faster than any other student in his class. (10語)「彼はクラスのほかのどの生徒よりも速く走ります」/ He's the fastest runner in the class. (7語)「彼はクラスの中でいちばん速い走者です」

(2) ほかにも形容詞good「じょうずな」やbe good at ~ing「～することが得意だ」などの表現がある。

別解 He's a good soccer player. (5語)「彼はじょうずなサッカー選手です」/ He's good at playing soccer. (5語)「彼はサッカーをするのが得意です」

(3) 「(人)に～を教える」は<teach+人+物>または<teach+物+to+人>で表す。learn ~ from ... 「…から～を学ぶ」という表現を使ってもよい。

別解 I learned math from him yesterday. (6語)「私は昨日、彼から数学を学びました」

全訳 こんにちは、みなさん。私は私の兄についてみなさんにお話しします。⁽¹⁾彼はクラスの中でいちばん速く走れます。⁽²⁾彼はじょうずにサッカーをします。⁽³⁾彼は昨日、私に数学を教えてくれました。ありがとうございました。

② ① 「～するのが好きだ」はlike ~ingまたはlike to ~で表す。

③ 「私の夢は～になることです」はMy dream is to be [become] ~. で表す。I want to be ~ (in the future). を使ってもよい。

別解 I like to play tennis. I practice it very [so] hard every day. I want to be [become] a famous tennis player in the future. (23語)

パターン4

テーマのある英作文

- (1) (例) spring
- (2) (例) New things start in spring. We will meet new friends in a new class. I feel that good things are waiting. I can try things I have never done. (29 語)

賛成・反対の立場を表明し、意見を述べる英作文

- (1) (例) I agree with Mariko.
- (2) (例) We can wear it every day.

確認問題④

- ① (例) I'd like to go to America. I want to visit the park I saw in a movie and take a lot of pictures there. (24 語)
- ② (同意の例) (1) I think so, too.
(2) We can learn a lot about different cultures and also enjoy talking with foreign people. (15 語)
(反対の例) (1) I don't think so.
(2) It's very important for Japanese people to learn more about Japan and Japanese culture. (14 語)

解説 **パターン4** (テーマのある英作文)

自分が好きな季節を1つ選び、その季節を選んだ理由やその季節を説明する文を書く。解答例は「私は春がいちばん好きです。春には新しいことが始まります。私たちは新しいクラスで新しい友達に出会います。いいことが待っているように感じます。これまでにしたことがないことに挑戦できます」という意味。

- 別解** (1) (I like) summer (the best.)
(2) Summer vacation is longer than spring vacation or winter vacation. So we have enough time to enjoy a lot of things. For example, we can try swimming and surfing. (29 語)「私は夏がいちばん好きです。夏休みは春休みや冬休みよりも長いです。だから、私たちは多くのことを楽しむ時間が十分にあります。たとえば、水泳やサーフィンに挑戦できます」

(賛成・反対の立場を表明し、意見を述べる英作文)

賛成の場合は I agree with ~. 「私は~に賛成です」, I think so, too. 「私もそう思います」などの表現を使う。一方、反対の場合は I disagree with ~. 「私は~に反対です」, I don't think so.

「私はそう思いません」などの表現を用いる。

解答例は「私は真理子に賛成です。私たちはそれ(=制服)を毎日着ることができます」という意味。

別解 I don't think so. Because I feel hot in summer and cold in winter when I wear it. 「私はそう思いません。なぜなら制服を着ているとき、夏は暑く冬は寒く感じるからです」

確認問題④ ① テーマである「行きたい国や都市の名前」, 「そこでしたいこと」を盛りこんだ文を作る。

解答例は「私はアメリカに行きたいです。映画の中で見た公園を訪れ、そこで写真をたくさんとりたいです」という意味。

別解 I want to go to London. I want to visit the British Museum there. It's one of the world's largest and most important museums. (24 語)「私はロンドンに行きたいです。私はそこにある大英博物館を訪れたいです。それは世界で最も規模が大きく、最も重要な博物館の一つです」

② 質問は「日本よりも外国を旅行するほうが良いと言う人たちもいます。あなたはこれについてどう思いますか」という意味。

「日本よりも外国を旅行するほうが良い」という主張に対して賛成・反対の立場を表明し、意見を述べる。

(同意の例) 「私もそう思います。私たちはいろいろな文化についてたくさん学ぶことができますし、外国の人と話すことを楽しむこともできます」

(反対の例) 「私はそう思いません。日本人が日本や日本文化についてより多くのことを学ぶのはとても重要です」

別解 (同意の例) Traveling in foreign countries is exciting. I can try new foods and talk with people I've never met before. (19 語)「外国を旅行することは、わくわくします。私は新しい食べ物を食べてみたり、これまでに一度も会ったことがない人たちと話したりできます」

(反対の例) In many cases, traveling in Japan is cheaper than going to foreign countries. (13 語)「多くの場合、外国に行くよりも日本を旅行するほうが安くすみます」

⇒p.172～p.173

- 1 (1) (例) we can read a newspaper (5 語)
 (2) (例) we can take a walk (5 語)
- 2 (1) (例) Why don't we go out on April 2? (8 語)
 (2) (例) We will go to the park and enjoy the beautiful view. Then we will eat lunch under the cherry trees. (20 語)
- 3 (例) I'm very busy now. Will [Can] you take a message and tell her I will call her back after cooking lunch? (20 語)
- 4 場面 A (例) Taro's mother wanted him to do some shopping for her. He received a shopping bag from his mother. (10 語, 8 語 / 2 文)
 場面 B (例) He bought some food at a store. He didn't need a plastic bag from the store. (7 語, 9 語 / 2 文)
- 5 (例) Akiko and I will go to see a movie next Sunday. Will you go to see it with us? Let's meet at Aoba Station at two o'clock in the afternoon. (30 語)
- 6 (例) Because many Japanese anime series on TV are popular among young people in foreign countries now. So they often watch them and listen to the songs. If we sing a song from anime, they will enjoy listening to our song. (40 語)

解説 1 (we can + 動詞の原形)「私たちは～できる」を使って、早起きをするべき理由を2つ書く。以下の表現などを使ってもよい。

do our homework before breakfast 「朝食の前に宿題をする」

study for a test before going to school 「学校に行く前にテスト勉強をする」

read books before breakfast 「朝食の前に読書をする」

help our mother 「母親の手伝いをする」

take care of our pet 「ペットの世話をする」

have time to talk with our family 「家族と話す時間を持つ」

全訳 こんにちは、みなさん。

今朝は何時に起きましたか？ 私はたいてい朝6時に

起きます。

私は、私たちは毎日、早起きをするべきだと思います。それには2つの理由があります。まず、⁽¹⁾私たちは新聞を読むことができます。次に、⁽²⁾私たちは散歩をすることができます。

これらの理由から、私は私たちにとって早起きは大切だと思います。

ご清聴ありがとうございました。

2 天気予報を表す表を見て、会話の流れに合う英文を考える。

(1) 第1～2行目から、当初お花見を予定していた明日は雨で行けなくなったことがわかる。空所の前で、いつお花見に行こうかとたずねられているので、晴れの日を提案する英文を作る。〈Why don't we go out on + 日付?〉で「～に行きませんか」。そのほかに〈How about ~?〉「～はどうですか」、〈Let's + 動詞の原形 ~.〉「～しましょう」などの提案を表す表現を使ってもよい。

別解 How about this Sunday [April 3]? It will be sunny. (8 語)「今週の日曜日 [4月3日] はどうですか。晴れるでしょう」

別解 Let's go this Saturday or Sunday [on April 2 or 3]. (6 [7] 語)「今週の土曜日か日曜日 [4月2日か3日] に行きましょう」

(2) 空所の前「(花見では)私たちは何をしますか」というマークの質問に答える英文を作る。

We will ~. 「私たちは～しましょう」

Let's ~. 「～しましょう」

You should ~. 「あなたは～したほうがよい」

You can ~. 「あなたは～できる」

別解 You should bring your camera with you. You can take many pictures of beautiful cherry blossoms and show them to your friends. (22 語)「カメラを持ってくるほうがよいですよ。きれいな桜の花の写真をたくさんとって、あなたの友達に見せることができます」

別解 We will enjoy watching beautiful cherry blossoms. Also, let's enjoy eating and drinking under the trees. (16 語)「私たちはきれいな桜の花を見るのを楽しみましょう。また、木の下で食べたり飲んだりして楽しみましょう」

全訳 あなた：マーク、雨が降るだろうから、私たちは明日、桜を見に行くことができないよ。
 マーク：それを聞いて残念だよ。じゃあ、いつ桜を見に行こうか。

あなた：⁽¹⁾4月2日に行くのはどう？

マーク：いいよ。ぼくは、これが初めての花見になるよ。ぼくたちは何をしようか？

あなた：(2) 私たちは公園に行って、きれいな景色を楽しもう。それから、私たちは桜の木の下で昼食をとろう。

- ③ 絵や登場人物の発言から、いつ、どこで、だれが、何をしている場面なのかを推測して、適する会話表現を考える。

いつ…(時計から読み取って)昼食のとき

どこで…ダイニングキッチン

だれが…姉のエレンと妹のローラ

何を…妹のローラが外出中の母親からの電話に出て、姉のエレンに電話を代わろうとして、話しかけているところ

Will[Can] you ~? 「～してくれませんか」

Would[Could] you ~? 「～していただけますか」

take a message 「伝言を受ける」

call ~ back 「～に電話をかけ直す」

after ~ing 「～したあと」

〈while+主語+動詞〉「…が～している間」

〈as soon as+代名詞の主語+can [as soon as possible]〉「できるだけすぐに」

by oneself 「自分(たち)で、自力で」

④ OK, but would[could] you cook lunch while I'm talking on the phone? I'll be back as soon as I can.(20語)「わかったわ。でも、私が電話で話している間、あなたが昼食を作ってくれる？ できるだけすぐに戻るわ」

⑤ Will[Can] you tell her we can cook lunch by ourselves? So, please say to her, "You can come home late." (20語)「お母さんに、私たちは自分たちで昼食を作れると伝えてくれる？ だから、お母さんに『遅く帰ってきてもいいよ』と伝えてちょうだい」

⑥ 全訳 ローラ：エレン姉さん！ ママから電話よ。

エレン：私は今、とても忙しいの。伝言を聞いて、昼食を作り終わったら電話をかけ直すとお母さんに伝えてくれる？

- ④ 絵の内容から、どこで、だれが、何をしている場面なのかを推測して、適する会話表現を考える。

場面A：どこで…自宅

だれが…太郎の母親

何を…太郎に買い物袋を渡して、食料品の買い出しを頼んでいる

〈want+人+to+動詞の原形〉「(人)に～してほしい」、〈ask+人+to+動詞の原形〉「(人)に～するよう頼む」、do some shopping 「買い物をする」、receive ~ from ... 「…から～を受け取る」などの表現を使うとよい。解答例は「太郎のお母さん

は太郎に彼女のために買い物をしてほしいと思いました。彼は彼のお母さんから買い物袋を受け取りました」という意味。

⑦ 別解 Taro's mother asked him [Taro] to go shopping at a supermarket. She gave him a shopping bag for some food(s).(10語, 9語 / 2文)「太郎のお母さんは彼にスーパーマーケットに買い物に行くよう頼みました。彼女は彼に食料品を入れるための買い物袋を渡しました」

場面B：どこで…スーパーマーケットのレジ

だれが…太郎

何を…買い物を済ませ、レジ袋は必要ないと店員に言っている

need 「～を必要とする」、a plastic bag 「ビニール袋(レジ袋)」などの表現を使って表す。解答例は「彼は店でいくらかの食べ物を買いました。彼は店からのレジ袋を必要としませんでした」という意味。

⑧ 別解 He [Taro] got some food(s) there. He said to a shop clerk, "I have a shopping bag, so I don't need a plastic bag." (5語, 18語 / 2文)「彼はそこでいくらかの食べ物を買いました。彼は店員に『買い物袋があるので、レジ袋は必要ありません』と言いました」

- ⑤ メモの内容から〈待ち合わせの日時〉と〈場所〉を読み取って、ルーシーを映画に誘うのにふさわしい英文を考える。

人を誘うときには、Will you ~? 「～ませんか」、〈Let's+動詞の原形 ~.〉「～しましょう」などの表現を使って表す。解答例は「明子と私は来週の日曜日に映画を見に行くつもりです。あなたも私たちといっしょに見に行きませんか？ 午後2時に青葉駅で会いましょう」という意味。

⑨ 別解 Do you have any plans for next Sunday? If you're free, will you go and see a movie with Akiko and me? We will meet at Aoba Station at two o'clock in the afternoon.(34語)「あなたは来週の日曜日に何か予定はありますか？ もしひまならば、明子と私といっしょに映画を見に行きませんか？ 私たちは午後2時に青葉駅で会うつもりです」

- ⑥ 空所の直前でWhy ~? と理由をたずねられて、直後ではトムがI see. と肯定しているので、次郎の立場になって、日本の歌のほうが良いと主張する理由を考える。Why ~? 「なぜ～ですか」と理由をきかれた場合は、Because ~ 「なぜなら～」などで答えるとよい。

⑩ 別解 English songs are already known to

them. So, I think it's more exciting for them to listen to Japanese songs. I want them to know a part of Japanese culture through the songs we will sing.(36 語)「彼らにはすでに英語の歌は知られているよ。だから、ぼくは彼らにとって日本の歌を聞くほうが、よりわくわくすると思うんだ。ぼくは彼らにぼくたちが歌う歌を通して、日本文化の一部を知ってほしいんだ」

全訳 トム：来週、アメリカから 10 人の生徒たちがぼくたちの学校を訪れる予定なんだ。彼らを歓迎するために歌を歌わないかい？

次郎：それはいい考えだね。どんな種類の歌を歌おうか？

トム：彼らがアメリカで知っている英語の歌を歌うのはどうかな？ 彼らはとても喜ぶよ。

次郎：それはいいね、でも、ぼくは日本の歌のほうがもっといいと思うよ。

トム：どうしてそう思うんだい？

次郎：なぜなら今、外国の若い人たちの間で多くの日本のテレビのアニメシリーズが人気があるんだ。だから、彼らはよくそれらを見てその歌を聞いているよ。もしぼくたちがアニメの歌を歌ったら、彼らはぼくたちの歌を聞くことを楽しんでくれるよ。

トム：なるほどね。ぼくはきみの考えが正しいと思うよ。

⇒p.174~p.175

- 1 (1) (例) I'm from Japan.(3 語)
(2) (例) I love my piano and I practice it every day because it makes beautiful sounds.(15 語)
- 2 (1) (例) I want to be[become] an English teacher.(7 語)
(2) (例) I will go to many foreign countries in the future. I want to learn about different cultures there and teach students about them.(23 語 / 2 文)
- 3 (例) I think so, too(4 語)
(例) we can learn many things about the world from newspapers(10 語)
- 4 (例) I enjoyed playing volleyball. I was a member of my junior high school's volleyball team. Our team practiced hard every day. We were very happy to win some games.(4 文)
- 5 (例) I will study science hard because I want to be[become] an astronaut in the future.
- 6 (例) I enjoy walking around the park because it's fun and good for my health. I sometimes meet some of my friends there.(22 語)
- 7 (例) I agree. First, we can get information in the world. Second, we can learn foreign languages. Third, we can watch our favorite sports games at home. So, we can learn something on TV and have fun at the same time. For these reasons, it's good for junior high school students to watch TV.(6 文)
- 8 (1) (例) If they lived in their natural habitats, they could run around freely. In zoos, they usually live in small areas, so they feel uncomfortable. It's not good for their health.(30 語)
(2) (例) People can see some endangered animals in zoos with their own eyes. Watching them makes people more interested in such animals. It can encourage people to try to protect them.(30 語)

解説 1 (1)にはあなたの出身を表す英文を、(2)には

あなたにとって大切なものについて理由を含めた英文を作る。

(1) 〈I'm from+ 出身地.〉〈I come from+ 出身地.〉「私は～出身だ」という表現を使って英文を作る。

(2) 「あなたにとって大切なもの」についての説明なので、I love ～「私は～が大好きです」、It is ～「それ(=大切なもの)は～です」などの表現を使う。また、理由を表す文は〈接続詞 because+ 主語+ 動詞〉「なぜなら～だからです」を使って表すことができるが、前後のつながりから理由を表す文だということがわかれば、必ずしも because を使わなくてもよい。

別解 It is my family. They know how to make me happy when I am sad.(15 語)「それ(=大切なもの)は私の家族です。彼らは私が悲しいとき、私をうれしい気持ちにさせる方法を知っています」

全訳 こんにちは、みなさん。私の名前は(あなたの名前)です。⁽¹⁾私は日本出身です。

今日は、私にとってとても大切なものについてお話したいと思います。⁽²⁾私は私のピアノが大好きで、毎日、練習しています。なぜなら、そのピアノはきれいな音を奏でるからです。

(スピーチを聞いてくれて)ありがとうございました。

2 「将来の夢」と「今、努力していること、これから努力しようと思うこと」を関連づけて書かなければならない点に注意すること。

(1) want to ～「～したい」、〈My dream is to be [become]+ 職業名.〉「私の夢は～になることです」などの表現を使って、将来の夢を表す英文を作る。職業は doctor「医者」、soccer player「サッカー選手」、lawyer「弁護士」、actor「俳優」、cook「料理人」、police officer「警察官」、writer「作家」、vet「獣医」などがある。解答例は「私は英語の教師になりたいです」という意味。

(2) 将来の夢のために「今、努力していること」は、現在形や現在進行形を使って表す。また、「これから努力しようと思うこと」は、I will [I want to] ～ (in the future). 「私は(将来)～するつもりです[したいと思います]」や I'm thinking of ～ing. 「私は～しようと考えています」などの表現を使う。さらに、そのような努力をしている理由を表す文をつけ加える。解答例は「私は将来、多くの外国に行くつもりです。私はそこで、さまざまな文化について学び、それらについて学生に教えたいと思っています」という意味。

別解 (1) My dream is to be [become] a

newscaster.(7 語)「私の夢はニュースキャスターになることです」

(2) I watch the news on TV every day. I think it is important for me to get a lot of information.(21 語)「私は毎日テレビでニュースを見ます。情報をたくさん得ることは、私にとって重要だと思っています」

別解 (1) My dream is to be [become] a nurse.(7 語)「私の夢は看護師になることです」

(2) I'm interested in helping people in need. So I sometimes work at a home for old people as a volunteer. Also, I often read a book about nurses.(28 語)「私は困っている人を助けることに興味があります。なので、私はときどき、ボランティアとしてお年寄りのための施設で働いています。また、私はよく看護師に関する本を読みます」

3 ある生徒の意見を読み、賛成・反対の立場とそれに対する理由を明確に表現すること。

(1) 賛成の場合の表現：I think so, too. 「私もそう思います」、I agree with him [her]. 「私は彼[彼女]の意見に賛成です」、I think the opinion is right. 「私はその意見が正しいと思います」

反対の場合の表現：I don't think so. 「私はそう思いません」、I don't agree with him [her]. 「私は彼[彼女]の意見に賛成しません」、I don't think the opinion is right. 「私はその意見が正しいと思いません」

(2) 「もっと多くの中学生が新聞を読むべきだ」というある生徒の意見に対して、賛成・反対の立場を表明したあとに続ける「理由」を表す文なので、(because) we can ～「(なぜなら)私たちは～できるからです」などの表現を使って表す。

別解 (反対の場合) we can use TV or the internet to get a lot of information(13 語)「(なぜなら)私たちはテレビやインターネットを使ってたくさんの情報を得ることができるからです」

全訳 ある生徒の意見：私は日本の中学生の約 60% が新聞を読まないと聞きました。私はもっと多くの中学生が新聞を読むべきだと思います。

あなたの意見：⁽¹⁾私もそう思います、なぜなら、⁽²⁾私たちは新聞から世界についてたくさんのことを学ぶことができるからです。

4 「これまでの生活で楽しかったこと」とそれに関する具体例や理由を関連づけて書く。

第 1 文目は〈enjoyed ～ing〉「～する楽しんだ」、it was a lot of fun 「とても楽しかった」、

had a good[great] time「楽しい時間を過ごした」などを使う。

第2文目以降は「これまでの生活で楽しかったこと」に関する具体例や理由を書く。指示にある通り、同じ表現をくり返さないよう注意すること。解答例は「私はバレーボールをすることを楽しみました。私は中学のバレーボールチームの一員でした。私たちのチームは毎日いっしょうけんめいに練習しました。私たちはいくつかの試合に勝つことができ、とてもうれしかったです」という意味。

別解 I went to Kyoto on my school trip, and it was a lot of fun. There were a lot of beautiful old temples in Kyoto. I was so excited to see them. I'm interested in history, so I enjoyed learning a lot about the history of Kyoto.(4文)「私は修学旅行で京都に行き、とても楽しかったです。京都には美しい古いお寺がたくさんありました。私はそれらを見て、とてもわくわくしました。私は歴史に興味があるので、京都の歴史について多くを学べて楽しかったです」

- 5 「高校生活でしようとしていること[したいこと]と「将来の夢」を関連づけて書く。解答例は「私は将来、宇宙飛行士になりたいので、理科をいっしょうけんめい勉強するつもりです」という意味。

別解 I will study English hard. I will need to speak English when I visit a foreign country in the future. 「私は英語をいっしょうけんめいに勉強します。将来、外国を訪れるときに、私は英語を話す必要があるでしょう」

別解 I will practice soccer every day and study English very hard because I'm interested in playing soccer abroad. 「私は毎日サッカーの練習をして、とてもいっしょうけんめいに英語の勉強をします。なぜなら、私は外国でサッカーをすることに興味があるからです」

- 全訳** あなたが高校生になると、新しい生活があると思います。おそらく、あなたは高校でやりたいことが何かあるでしょう。あなたの高校生活について考えてください。高校のあとは、あなたの未来はどのような感じですか？

[質問] あなたは高校で何をしようとしていますか。なぜあなたはそれをするつもりですか。その理由として、あなたの将来の夢について書いてください。

- 6 設問文の「あなたはひまなときに何をするのが好きですか」という質問に対して、することとその理由を書く。

enjoy ~ing 「～することを乐しみます」

like to do / like ~ing 「～することが好きだ」

解答例は「私は楽しくて健康によいので、公園を歩き回ることを楽しみます。私はときどき、そこで友達の何人かに出会います」という意味。

別解 I like playing the guitar when I'm free. My father bought me a guitar when I became fifteen. I like its beautiful sound.(23語)「私はひまなときにギターをひくのが好きです。私が15歳になったとき、私の父が私にギターを買ってくれました。私はギターの美しい音色が好きです」

別解 I like to play games, but I always have a lot of homework to do and I don't have enough time to play them.(24語)「私はゲームをするのが好きです。でも、いつもするべき宿題が多く、ゲームをする時間が十分にありません」

- 7 「テレビを見ることは中学生にとってよいことだ」というテーマに対して、賛成・反対の立場を表明し、その理由を書く。

解答例は、賛成の立場をとり、その理由を3つ並べ、最後に結論を述べている。複数の理由を列挙する場合は first 「第一に」、second 「第二に」、third 「第三に」を使うとよい。

解答例は「私は賛成です。第一に、私たちは世界の情報を得ることができます。第二に、私たちは外国語を学ぶことができます。第三に、私たちは、家でお気に入りのスポーツの試合を見ることができます。だから、私たちはテレビで何かを学べると同時に、楽しむこともできます。これらの理由で、テレビを見ることは中学生にとってよいことです」という意味。

別解 I don't agree because I think watching TV takes too much time. If we watch TV for many hours, we can't have much time to sleep. And, it's bad for our minds and bodies if we don't sleep well. I think junior high school students should not watch TV.(4文)「私は賛成しません、なぜなら、テレビを見ることは時間を取りすぎると思うからです。もし何時間もテレビを見れば、私たちは眠る時間があまりとれません。それから、もし十分に眠らないと、私たちの心身にとってよくありません。私は、中学生はテレビを見るべきではないと思います」

- 8 (1) 前文を受けて、動物園で動物を飼育することがよくないと思う理由や例を挙げる。また、あとのユウジの発言ともつながる内容を考える。

別解 They are usually watched by many people. For example, some animals appear on the show and do tricks for the visitors. It may make the animals nervous and sick. (29 語)「それらはふだん多くの人によって観察されます。たとえば、ショーに出演して来園者のために芸をする動物もいます。それが原因で、動物は緊張したり、具合が悪くなったりするかもしれません」

(2) 前文を受けて、動物園のよい点を挙げる。動物の繁殖や保護につながる、研究機会や教育機会の提供などについて書くとよい。

別解 Researchers can study many different animals there. If we had no zoos in the world, we could not know much about animals. This knowledge is helpful when we protect wild animals. (31 語)「研究者はそこでたくさんのさまざまな動物を研究できます。動物園が世界に1つもなければ、動物についてあまり知ることはできないでしょう。私たちが野生動物を保護するとき、この知識は役立ちます」

全訳 ユウジ：ぼくは昨日、友達と動物園へ行ったんだ。そこでたくさんの動物を見たよ。とてもわくわくしたよ。

マーク：いいね。ぼくは動物園は好きだけど、動物園で動物たちを飼育するのはよくないことだと思うんだ。(1) もしも自然生息地に住んでいるなら、自由に走り回れるだろう。動物園では、ふつう狭い場所に住んでいるから不快に感じるよ。動物たちの健康によくはないよ。

ユウジ：なるほど。動物たちはときどき悲しそうに見えるから、ぼくはその考えを理解するよ。

エミ：マーク、あなたは多分正しいわ。でも動物園にはよい点もあるわよ。(2) 動物園では、絶滅の危機にある動物を自分の目で見るができるわ。人々はそれらを観察することで、そのような動物により関心を向けるようになるの。それが動物の保護に努めるよう人々を奨励するかもしれない。

ユウジ：ああ、本当だね。動物園に行くのは楽しいけど、きみたちのおかげでぼくは動物園の別のよい点を学んだよ。

入試実戦

読解

基本

⇒p.176~p.179

パターン1 (1) ア (2) ウ

パターン2 (1) ウ (2) イ

パターン3 ウ

パターン4 エ

パターン5 ア

パターン6 (例) 稽古中は祖母ではなくて、先生だということ。

パターン7 (1) (例) Because they wanted the souls to return to their bodies.
(2) (例) They cover their mouths with their hands.

パターン8 イ

解説 **パターン1** (1) 空所の前の too 「～すぎる」に注目し、「パスワードは簡単すぎるものにするべきではない」となるア simple 「簡単な」を選ぶ。(2) 空所を含む文は「しかしパスワードはあなたが～しやすいものである必要もある」という意味。ウ remember 「覚える」を選ぶと文意が通る。

全訳 今日、多くの人々がコンピュータを使うときにパスワードを使用します。もし、他人があなたのパスワードを知れば、彼らはあなたの情報を手に入れたり、あなたのお金で何かを買ったりすることができます。そのため、あなたのパスワードを(1) 簡単すぎるものにするべきではありません。それらは他人が推測しにくいものである必要があります。A, B, C のような大文字, a, b, c のような小文字, 1, 2, 3 のような数字, そして, !, \$, & さえも混ぜるべきです。しかしパスワードはあなたが(2) 覚えやすいものである必要もあります。もしパスワードを忘れてしまうと、あなたは困ったことになるでしょう。

パターン2 選択肢の意味は、ア「私は折鶴おりづるを作ったことがあります」、イ「私はほかの動物も作ることができます」、ウ「私は一度も折鶴を見たことはありません」、エ「私はどの動物も好きではありません」、オ「イヌを作ることは楽しいと思います」。

全訳 ベッキー：あなたは何をしていますのですか。
ケイコ：私は折鶴を作っています。これは折り紙と呼ばれています。

ベッキー：本当？ (1) 私は一度も折鶴を見たことはありません。

ケイコ：それは日本で人気があります。見てください。はい、どうぞ。

ベッキー：ありがとう。これはすばらしいですね。あなたはどのように折り紙について知ったのですか。
ケイコ：私の母がそれ(=折り紙)を私に教えてくれました。②私はほかの動物も作ることができます。たとえば、イヌやネコです。

ベッキー：折り紙を作ることは難しいですか。

ケイコ：いいえ。あなたもできますよ。

ベッキー：折鶴の作り方を私に教えてくださいませんか。

ケイコ：いいですよ。いっしょに作りましょう。

パターン3

全訳 私の祖父の家の近くに川があります。それは3年前はあまりきれいではありませんでした。川に浮かんでいるたくさんの缶やびんがありました。③川の近くに住んでいる人々は、それら(=川に浮かんでいる缶やびん)を見るのが好きではありませんでした。②だから、彼らはその問題について話し合うための会合を開きました。④彼らはボランティアとして週末に川をきれいにすることに決めました。①彼らの熱心な作業のおかげで、川はとてもきれいになりました。私は、ともに働くことは私たちの生活をよりよくすると思えます。

パターン4 直前の文に注目。挿入する文の It is a book about Tokushima を指し、there は in Tokushima を表す。the great nature と the people living there は、最終文の the wonderful nature, people in Tokushima の言い換え表現。あとの文とのつながりも考えて、エが適切。

全訳 私は今、日本への4度目の訪問を計画しています。私は高校の修学旅行で、2002年に初めて日本を訪れました。私は東京へ行き、友達と日本最大の都市での滞在を楽しみました。3年後、私は京都へ行きました。私は3か月間その大学でいっしょうけんめいに勉強しました。私は京都の神社仏閣が大好きでした。ときどき、私は週末に奈良に住んでいる親友に会いました。それから、私は昨年、北海道でスキーを楽しみました。私は深い雪の中でスキーをしてとてもうれしかったです。4度目の訪問では、一度も訪れたことのない場所へ行きたいです。私は徳島についての本を読みました。それはすばらしい自然とそこに住んでいる人々を紹介していました。私はかずら橋の前でとられた美しい写真に感動しました。私はすばらしい自然と徳島の人々に出会うのを楽しみにしています。

パターン5

全訳 このグラフは3歳未満の幼児の平均睡眠時間を示しています。ニュージーランドの子どもは日本の子どもより約100分長く眠ります。カナダの子どもはインドネシアの子どもより少し短く眠ります。グラフ

の A, B, C, D は4か国を示しています。

パターン6

全訳 私の祖母は伝統的な日本の踊りである日本舞踊の有名な先生です。私は5歳のとき、彼女に「私はおばあちゃんと踊りたいわ」と言いました。彼女は少し考えてから「稽古中は、私はおばあちゃんではなく、先生ですよ。わかりますか、カオリ?」と言いました。私は「はい、おばあちゃん。私はそのことを理解できるわ。本当に踊りたいの」と言いました。私たちは毎週土曜日に日本舞踊の練習をしました。いっしょうけんめい練習したあと、私たちは祖母が作ったチョコレートケーキを食べました。それはとてもおいしくて、私の大好きなチョコレートケーキになりました。私は祖母と楽しい時間を過ごしました。私は毎週土曜日が楽しみでした。

パターン7 疑問詞で始まる疑問文に答えるときは、疑問詞の意味から問われている内容を把握する。when「時」、where「場所」、who「人」、what「何」、how「方法」、why「理由」

(1)質問は「なぜ人々は、くしゃみをした人に対して『お大事に』と言ったのですか?」という意味。第3～4行目参照。

(2)質問は「一部の日本人はくしゃみをするときに、何をしますか?」という意味。第6～7行目参照。

全訳 私たちはアメリカでこの状況をよく見かけます。昔、人々はくしゃみをする^{たましい}と、魂が自分の体から飛び出すと考えていました。彼らは魂が体に戻ってくることを望んだので、「(くしゃみをした人に対して)お大事に」と言いました。今日では私たちはそう考えませんが、今でも「お大事に」と言います。

アメリカ人は口をおおうものを持っていないとき、たいていこのようにくしゃみをします。日本では、手で口をおおう人もいます。おもしろくありませんか?

パターン8 ア「サナエは2か月前に学校の合唱部の一員になりました」第1～2行目参照。サナエは2年間ずっと合唱部の部員なので、本文と一致しない。

イ「合唱部の部員たちは、この前の土曜日に小学校でコンサートを開きました」第3～4行目の内容と合う。

ウ「ナオキはコンサートのあと、サナエに彼女のお気に入りの歌を歌ってくれないかと頼みました」第6～7行目参照。サナエがナオキに頼んだので、本文と一致しない。

エ「サナエは彼女の祖母に教えてもらったお気に入りの歌についてナオキに話しました」第8～9行目参照。祖母について話したのはナオキなので、本文と一致しない。

全訳 サナエは高校生です。彼女は2年間ずっと学校の合唱部の部員です。彼女は歌うことを楽しんでます。合唱部には13人の生徒たちがいます。彼らは彼らの観客のためにじょうずに歌うため、ほぼ毎日放課後にとっても熱心に練習しています。この前の土曜日に、彼らはコンサートを開くために、小学校を訪れました。コンサートのあと、子どもたちの1人がサナエに「ぼくはナオキです。あなたたちの歌をとっても楽しみました。ありがとう」と言いました。彼女は彼に「それを聞いてうれしいわ。あなたは歌を歌うことが好き？」と言いました。彼は「はい」と言いました。彼女は「あなたのお気に入りの歌を歌ってくれない？」と言いました。彼は「もちろん」と言いました。それから彼は彼のお気に入りの歌を歌い始めました。彼が歌い終わると、彼女は「すばらしかったわ。だれがあなたにその歌を教えてくれたの？」と言いました。彼は「ぼくの祖母です。彼女に会うと、ぼくたちはいつもいっしょに歌を歌います」と言いました。彼女は「なるほど。あなたには、すてきなおばあちゃんがいるのね」と言いました。

入試実戦

読解 ①

→p.180~p.181

- ① (1) ア (2) under[below]
- ② イ
- ③ (1) strongest (2) (例) easy (3) ウ
- ④ エ

解説 ① (1) 第3行目の eight kinds of many paper pieces から、図形は8種類だとわかるので図形の重複がないものを選ぶ。
 (2) 英文は「3歳()の子どもはEX-8を使うべきではありません」という意味。第6行目参照。Children younger than ~ years oldは「~歳未満の子ども」という意味。空所の数から、「~未満の」を表す前置詞 under[below]が適切。

全訳 EX-8の遊び方

EX-8の世界へようこそ！ 私たちはあなたが自分の作品を組み立ててすばらしい時間を過ごすことを望みます。

1. 8種類ある紙片をたくさん使って、あなたはたくさんのデザインを作ることができます。
2. 初めてEX-8で遊ぶときは、この紙の裏面のデザイン見本から作り始めるのがよいです。
3. 3歳未満の子どもはEX-8を使うべきではありません。
4. EX-8の紙片を口の中に入れてはいけません。それらは小さいので、幼児ののどをつまらせてしまいます。

<http://www.ex-8.com> をご覧になって、作品をシェアしたり、参考にしたりしてください。

② 質問は「グラフと表から何が言えますか」という意味。

ア「気温が低くなったときには、生徒たちはより多くのトマトサンドを買いました」気温が低くなるとトマトサンドの購入は減っているため、グラフと表の内容に一致しない。

イ「気温が低くなったときには、生徒たちはより多くのツナサンドを買いました」グラフと表の内容に一致する。

ウ「晴れた日は、生徒たちはトマトサンドよりも卵サンドを買いました」晴れた月曜日と火曜日のグラフを見ると、卵サンドよりもトマトサンドのほうが売れたので、グラフと表の内容に一致しない。

エ「雨が降ったとき、生徒たちはツナサンドよりもトマトサンドを買いました」雨が降った水曜日

と金曜日のグラフを見ると、トマトサンドよりもツナサンドのほうが売れたので、グラフと表の内容に一致しない。

全訳 タロウの高校には小さな店が1つあります。生徒たちはそこで3種類のサンドイッチー トマトサンド、卵サンド、ツナサンドーを買うことができます。

グラフは今週月曜日から金曜日までに生徒たちが何箱のサンドイッチを買ったかを表しています。表は同じ週の天候と気温を示しています。

3 (1) そのあとの由美の発言に注目。「ひかり中学校との試合に勝ったことがあるチームはこれまでに1校もない」→「ひかり中学校はいちばん強い」と考え、最上級にする。

(2) 空所を含む文の接続詞 but に注目。「毎日たくさん練習しているけれど、(いちばん強いひかり中学校に)私たちの学校が勝つことは()ではないだろう」となるので、easy(簡単な)などが適切。

(3) ア「あなたはとても親切ですね」、イ「どういたしまして」、ウ「最善をつくしてね[頑張って]」、エ「私はやってみます」

ひかり中学校との試合に不安を感じている由美に対して、メアリがかける言葉として適切なものを選ぶ。

全訳 メアリ：あなたは今週末、何か予定はあるの、由美？

由美：私はバスケットボールをするために、市のスポーツ公園に行く予定よ。市内中学校の体育大会が今週末に開かれるのよ。

メアリ：わあ、すごいわね！

由美：私たちのチームは最初にひかり中学校と試合をするの。

メアリ：そのチームは市内で①いちばん強いと聞いているわ。

由美：その通りよ。ひかり中学校との試合に勝ったことがあるチームはこれまでに1校もないわ。私たちは毎日たくさん練習しているけれど、私たちの学校が勝つのは②簡単ではないわ。

メアリ：心配しないで。今回は勝てるわよ！ ③最善をつくしてね。

由美：わかったわ。ありがとう、メアリ。勝つためにいっしょうけんめいやってみるわ。

4 ア「清掃に参加する人は、同じ日に3か所をそうじしなければなりません」表のDate「日付」欄に注目。清掃は同日ではなく、3日に分けて行われることがわかるので、一致しない。

イ「清掃に参加すると、Tシャツと飲み物をもらうことができます」1つ目の●の文に注目。飲み

物はもらえるのではなく、自分で持って行くので一致しない。

ウ「清掃に参加する人は手袋とごみ袋を持ってくる必要があります」2つ目の●の文に注目。「ごみ袋は持ってくる必要はない」と書いてあるので一致しない。

エ「町役場にEメールを送ったあと、清掃に参加することができます」清掃の参加方法については、第12行目参照。「清掃に参加したい場合は、町役場にEメールを送ってください」との指示がある。

全訳 フォレストタウン清掃

私たちはボランティアを必要としています！

あなたは私たちの町をよりきれいにできます。また、新しい友達と出会えます。私たちはあなたのお手伝いを求めています！

〈清掃場所〉	〈日付〉	〈時間〉
フォレストタウン川	4月9日(土)	8:00-11:00
フォレストタウン駅	4月16日(土)	13:00-16:00
フォレストタウン公園	4月23日(土)	9:00-12:00

3日間すべてに参加できます。または、1日か2日間を選ぶことができます。

- 手袋と飲み物を持ってきてください。
- ごみ袋を持ってくる必要はありません。
- 清掃に参加する人全員にTシャツが支給されます。清掃に参加したい場合は、町役場にEメールを送ってください。私たちは折り返しEメールをお送りし、詳細をお伝えします。Eメールの受け付けは3月31日までです。

フォレストタウン町役場

Eメール：****@foresttown.com

→p.182~p.185

- ① (1) エ
 (2) (例) 空港へ行くにはどの電車に乗ればよいか
 わからなかったから。
 (3) ウ
- ② (1) ウ (2) エ (3) ア, オ
- ③ (1) ア (2) 1. ウ 2. エ
 (3) they didn't work together
 (4) イ
 (5) A grades B have[get] the power

解説 ① (1) ア「彼に電話をしてもいいですか」

イ「外国人の男性と話しませんか」

ウ「私にそれを見せてくれませんか」

エ「そのことについて私にもっと話してくださいませんか」

空所のあとで、ユウコは「はい」と答え、外国人の男性と英語で話した出来事についての説明を続けている。空所には、メアリ先生がさらなる説明を求める工が適切。

(2) 第6行目参照。

(3) ア「ジョンがユウコにみどり駅がどこにあるかを英語でたずねたとき、彼女は何も言いませんでした」第4～8行目参照。

イ「ユウコは空港で困っていたので、ジョンからいくつか質問されました」第10～11行目参照。質問したのはユウコなので、本文と一致しない。ウ「ジョンが使った単語は、ユウコにとって難しくありませんでした。だから、彼女は彼の英語を理解することができました」第12～13行目の内容と合う。

エ「ユウコはジョンに英語力を高めるよい方法を教えることができたので、うれしく感じました」本文にそのような内容はない。

全訳 メアリ：こんにちは、ユウコ。うれしそうね。

ユウコ：あのね！ 私は昨日、外国人の男性と英語で会話を楽しんだんです。

メアリ：本当？ (1) そのことについて私にもっと教えてくれない？

ユウコ：ええ。私はみどり駅で彼に会ったんですが、彼は困っていました。

メアリ：何を困っていたの？

ユウコ：ええと、彼は空港までどの電車に乗るべきかわからなくて、私にたずねたんです。

メアリ：あら、あなたは英語で彼を助けたの？

ユウコ：ええ。私たちが電車を待っているとき、私は彼とたくさん会話をしました。

メアリ：すばらしいわ。何について話したの？

ユウコ：私は彼にいくつか質問をしました。彼の名前はジョンで、アメリカ出身です。3年間ニューヨークのコンピュータ会社で働いていて、今は日本を旅行中なんです。

メアリ：英語で彼と話すことはあなたにとって難しかった？

ユウコ：いいえ、難しくなかったです。彼は難しい単語を使わなかったので、私は彼の英語を理解することができました。

メアリ：わあ。私はそれを聞いてうれしいわ。

ユウコ：彼と話するとき、英語の教科書の簡単な文が役に立ちました。

メアリ：そうね。あなたが何を考えているかほかの人に伝えるとき、難しい文を使う必要はないのよ。私は先週、あなたたちに英語のスピーチコンテストについて話したよね。覚えている？ あなたはそれに参加してはどうか。

ユウコ：実は、私はずっとそれに興味があるのですが、でも、私はたくさんの人の前で話したことがないんです。

メアリ：問題ないわ。あなたならできるわ。それに向けて練習するのにまだ4か月あるのよ。

ユウコ：ええと…。わかりました。スピーチコンテストに参加します。

メアリ：あなたはスピーチコンテストで何について話したいかな？

ユウコ：そうですね…。ジョンのために何かすることができてうれしかったから、昨日の出来事について話したいです。彼は駅で助けを必要としていたんです。

メアリ：それはおもしろそうね。

② (1) 第2～5行目参照。ウ「ペットボトルやビニール袋」が適切。ア「ビーチと海」、イ「ハワイの友達」、エ「ハワイの問題」。

(2) 第18～20行目参照。質問に対し、香奈は自分たちができることを答えているので、エ「私たちに何ができますか」が正しい。ア「私たちは何を止めるでしょうか」、イ「あなたはそれをどのように手に入れることができますか」、ウ「あなたはいつそれを聞きましたか」。

(3) ア「香奈と家族はお昼ご飯を食べたあとビーチをそうじしました」第2～3行目の内容と合う。イ「オリビアはまだ友達とプラスチックごみを集めていません」第4行目参照。昨年ハワイで集め

た。

ウ「香奈はとても遠くまで行く日本のごみに関する記事を読みました」本文にそのような内容はない。読んだのはプラスチックごみを食べた動物に関する記事。第10～13行目参照。

エ「ハワイの高校生は漁師と海をそうじしました」本文にそのような内容はない。漁師と海をそうじしているのは日本人の高校生。第14～15行目参照。

オ「香奈とオリビアは友達とその問題について話すことに決めました」第21～24行目の内容と合う。

〔全訳〕 オリビア：この前の週末は何をしたの？

香奈：家族とビーチに行って楽しんだよ。でも訪れたビーチはきれいじゃなくて、だからお昼ご飯を食べたあとにそうじして、そこでペットボトルやビニール袋をたくさん集めたんだ。

オリビア：あら、私も昨年ハワイで友達とビーチをそうじしてそれらを集めたよ。それらのいくつかにあった文字は日本語で書かれていた。^①それらはとても遠くから来ていたのでびっくりした。

香奈：プラスチックごみは世界中の問題だと思う。

オリビア：私もそう思う。ビーチや海から自然に消えない。環境に悪いよ。

香奈：プラスチックごみのほかの問題について雑誌の記事を読んだわ。

オリビア：本当？ その記事について教えてくれる？

香奈：もちろん。海中の多くの動物がプラスチックごみをえさだと思って食べてしまうの。すると、それは消化できなくて、もう何も食べようとしなくなる。だから私たちはプラスチックごみを減らさなければならぬ。漁師と海をそうじしようとしている日本人の高校生がいると聞いたわ。彼らは海底のごみを集めて、生徒たちはその行動について世界の人に伝えている。その中にプラスチックごみがたくさんあるとも聞いた。

オリビア：私たちが今すぐ漁師と同じことをするのは難しいと思うけれど、プラスチックごみを減らし始めるべきね。香奈、^②私たちに何ができるかな？

香奈：私たちは学校へ自分の水筒を持ってきたり、買い物に自分の袋を持っていったりすることができる。

オリビア：いいね。これらの行動は小さなことだけれど、私たちが環境のためによいことをするのは大切よ。

香奈：その通り。多くの高校生がプラスチックごみを減らすためにそうしたら、ビーチや海的环境はよくなるわ。だから、まず友達とその問題について話し始めよう！

オリビア：そうね！

〔3〕 (1) A 第25～28行目参照。

B 第12～14行目参照。

C 第17～21行目参照。

(2) 1. 問題文は「シンボルマークCには、3つの()があります」という意味。図C参照。3つあるのは「手」。

2. 問題文は「健悟は()と思っています」という意味。

ア「里佐のシンボルマークは単純すぎる」

イ「里佐のシンボルマークがいちばんよい」

ウ「里佐のシンボルマークを使うことは役に立つ」

エ「里佐のシンボルマークを使うことは難しい」

第24～25行目参照。

(3) 問題文は「健悟と里佐は『強い友情』を表したかったのだが、()」という意味。

第35～38行目参照。第38行目に「ぼくたちのメインテーマは『強い友情』ですが、ぼくたちは協力し合いませんでした」とある。

(4) ア「健悟と里佐はジョーンズ先生に文化祭のシンボルマークを作ってもらいたいと思っています」本文にそのような内容はない。第8～9行目から、健悟と里佐はジョーンズ先生に自分たちがデザインしたシンボルマークの感想を聞きたいことがわかる。

イ「ジョーンズ先生は、里佐のシンボルマークは文化祭をよく表していると思っています」第32行目の内容と合う。

ウ「ジョーンズ先生が文化祭に最も適したシンボルマークを選ぶことは、難しくありません」第30～32行目参照。ジョーンズ先生は、健悟のデザインも里佐のデザインも気に入っているの、「決めるのが難しい」と言っている。

エ「ジョーンズ先生は健悟のシンボルマークをとても気に入っていますが、里佐のシンボルマークは好きではありません」第32行目の内容と一致しない。「どのシンボルマークも好きです」とジョーンズ先生は言っている。

(5) A 第25～26行目参照。3つの星は「3学年」を表すとある。

B As you said last week, we hope that ~.「あなた[ジョーンズ先生]が先週言ったように、私たちは～を願っています」に注目。第41～42行目参照。「シンボルマークが生徒全員に協力し合う力を与えてくれる」というジョーンズ先生の願いを、「シンボルマークから生徒全員が協力し合う力をもって[得て]くれる」と言いかえればよい。「こんにちは、ジョーンズ先生。先週はお時間を

いただき、ありがとうございました。そのあと、私たちは新しいシンボルマークを作りました。SとFは『強い友情』を意味します。大きな星は文化祭の喜びを意味します。健悟は以前、3^A学年を表すために3つの星を使いましたが、今回私たちは3つの花を使いました。先週、先生がおっしゃったように、私たちは生徒全員がこのシンボルマークから協力し合う^B力をもつ[得る]ことを願っています。のちほどそれについて話しましょう。健悟と里佐]

全訳 ジョーンズ先生：こんにちは、健悟！ こんにちは、里佐！ あなたたちは何をしていますのですか。里佐：こんにちは、ジョーンズ先生。10月に文化祭があることを知っていますか。

ジョーンズ先生：ええ。私はそれを楽しみにしています。

健悟：ぼくたちは文化祭のシンボルマークについて話し合っています。

ジョーンズ先生：へえ、そうなの。

健悟：はい、それはたとえばパンフレットやクラスの旗など、たくさんのものに使われます。ぼくたちは最高のシンボルマークを作りたいのです！

里佐：机の上にある3つのシンボルマークを見てください。私たちがそれらをデザインしました。先生がどう思うか私たちに教えてくださいませんか。

ジョーンズ先生：もちろん、いいですよ。

健悟：最初にこれを見てください。

ジョーンズ先生：SとF？

健悟：その通りです。文化祭のメインテーマは「Strong Friendship(強い友情)」です。ぼくはそれを表現したかったのです。

ジョーンズ先生：あなたのシンボルマークから、そのメインテーマを理解するのは簡単ですね。

健悟：ありがとうございます。

里佐：それは文化祭用には単純すぎると思います。これはどう思いますか。私がデザインしました。

ジョーンズ先生：手が3つと星1つですか？

里佐：はい、星は文化祭の喜びを意味していて、手は強い友情を表しています。私たちは強い友情をもつことができたら、うれしいでしょう。文化祭には、音楽コンサートのようなイベントがたくさんあります。私はそれらも表現したかったのです。

ジョーンズ先生：それは文化祭に適したデザインですね。健悟、それについてどう思いますか。

健悟：シンボルマークはいろいろなものに使われるから、シンプルであるべきです。里佐のシンボルマークを使うのは難しいと思います。これはどうですか。シンボルマークの中に、星が3つあります。それら

はこの学校の3学年を表しています。さらに、円が2つあります。それらは男子と女子を表しています。ぼくはすべての生徒に強い友情をもってもらいたいと思っています。ぼくはそれをこのシンボルマークに表現したかったのです。

ジョーンズ先生：あなたはそれについてよく考えたのですね。

健悟：ジョーンズ先生、どれが文化祭に最も適していますか。

ジョーンズ先生：そうですね、決めるのは難しいですね。健悟、あなたのシンボルマークはたくさんものに使えますね。里佐のシンボルマークは文化祭をよく表しています。私はどちらのシンボルマークも好きですよ。しかし、問題が1つあります。

健悟：問題ですか？

ジョーンズ先生：あなたたちは2人とも「強い友情」をよく表現しました。でも、あなたたちはそのシンボルマークを作るために協力しましたか。強い友情のために、協力し合うことはとても重要だと思います。

里佐：ああ、その通りですね。私たちはいちばん大切なことを忘れていました！

健悟：はい、ぼくたちのメインテーマは「強い友情」ですが、ぼくたちは協力し合いませんでした。

ジョーンズ先生：あなたたちが協力し合えば、最高のシンボルマークが作れますよ！

里佐：ええ、ありがとうございます、ジョーンズ先生。

ジョーンズ先生：どういたしまして。あなたたちが作るシンボルマークがすべての生徒に協力し合う力を与えてくれることを願っています。

健悟：ぼくもそう願っています。ぼくたちは新しいシンボルマークを作って、それをあなたにお見せします！

→p.186~p.187

- ① (1) (例) 真理子さんがアメリカへ来て、1週間ベッキーさんの家に滞在するということ。
 (2) (例) 真理子さんの乗った便の到着が2時間遅れて、ベッキーさんたちを長い間待たせてしまったこと。
 (3) in front of the science museum
 (4) イ
- ② (1) ① sent
 ② took
 ④ thinking
 (2) (例) 人に教えることは、人から学ぶことであるということ。
 (3) (例) 大学入学や就職をしてから、何をするか、どう生きるかについて考えることがより重要だから。
 (4) ウ、オ

解説 ① (1) そのあとに続く不定詞は感情の原因・理由を表す副詞的用法で、わくわくした理由が述べられている。

(2) No problem. は「問題ないですよ。大丈夫ですよ」という意味で、ベッキーが真理子に対して言った発言である。その直前の第4~5行目の内容をまとめればよい。

(3) 質問は「真理子はベッキーに送るつもりの写真はどこでとりましたか」という意味。

メールBの第7~8行目参照。

(4) 選択肢の意味は、ア「ご多幸をお祈りします」、イ「ずっと昔」、ウ「ひとまず、さようなら」、エ「さようなら、元気でね」。

イ以外は、手紙やEメールなどの結びの表現として適切。

全訳 【メールA】

こんにちは、真理子。

Eメールをありがとう。あなたがアメリカに来て、1週間私の家に滞在する予定だと聞いて、①私は本当にわくわくしています。待ちきれません。

私は家族と空港であなたを出迎えるつもりです。さて、1つ質問があります。

あなたは滞在中どこに行きたいですか。私はあなたとたくさんの場所に行きたいです。近いうちにあなたからお返事があることを願っています。

では、

ベッキー

【メールB】

親愛なるベッキー

お元気ですか。今、自宅にいます。私のためにいろいろしてくれてありがとう。あなたとすばらしい時間を過ごしました。

空港に到着して、あなたとあなたのご家族に会ったとき、私はとてもうれしかったです。私の飛行機の便が2時間遅れたので、あなたたちはみんなで長い間待たなければなりませんでしたね。でも、あなたは私に「②問題ないわ」と言ってくれました。私は決してそのことを忘れません。

私はあなたと話すことやたくさんの場所へ出かけることを楽しみました。科学博物館の前で私がとった写真をあなたに送るつもりです。

それでは、さようなら。

真理子

② (1) ①「あなたたちが私に()してくれた写真を見て、私は幸せな気持ちでした」という文脈に合うのは send「~を送る」。sendの過去形 sentにする。

② 空所のあとに続く Japanese classes「日本語の授業」に注目する。take「(科目など)を取る、(授業)を受ける」の過去形 tookが入る。

④ 空所の前の their ways of に注目。way of ~ingで「~する方法」という意味。「彼らの()方法は興味深いので、彼らと話すことは私をわくわくさせます」という文脈に合うのは、their ways of thinking「彼らの考え方」である。

(2) 直後の1文が「大切なこと」について具体的に説明している。

(3) 下線部⑤は「大学に入ることも就職することもあなたの人生の目標ではありません」という意味。次に続く文でジェニーがそう考える理由が述べられているので、まとめればよい。

(4) ア「ジェニーは大学生になるために、いっしょうけんめい勉強しています」第4~5行目の内容と一致しない。ジェニーは現在、教師になるために大学で学んでいる。

イ「ジェニーは日本にやって来る前、エンジニアでした」第6~7行目の内容と一致しない。「日本でエンジニアの職に就きたかったので、(大学で)日本語の授業も受けました」とある。

ウ「ALTとしてのジェニーの経験は、現在の彼女の仕事に役立っています」第14行目の内容と合う。

エ「ジェニーのクラスメートは全員、自分の仕事のために学んでいます」第16~17行目参照。「学

び続けたいために、大学に通うクラスメートもいます」とあるので、本文の内容と一致しない。
オ「ジェニーは私たちの人生でどんなことも意味のあるものにする事ができると考えています」
第23行目の内容に一致する。

全訳 こんにちは、みなさん。お元気ですか。お手紙をどうもありがとうございます。みなさんが私に①送ってくれた写真を見て、私は幸せな気持ちでした。1年前、みなさんとお別れをしましたが、私はまだ私たちの学校生活を覚えています。

さて、私は今、来週の試験に向けていっしょうけんめい勉強しています。なぜ私がそのようなことをしているのか、みなさんは不思議に思うかもしれません。今、私はアメリカで再び大学生となり、教師になるために勉強しています。

私は大学でコンピュータ科学を勉強しました。私は日本でエンジニアの職に就きたかったので、日本語の授業も②受けました。だから、私はALTとして日本に行きました。しかし、秋田県滞在中に、私の夢はかわりました。私はあなたたちといっしょに勉強することを実に楽しみました。なぜなら、みなさんは、私の国について興味深い質問をたくさんしてくれたからです。ときどき、質問に答えることが私には難しかったです。私はいっしょうけんめい答えようと思いました。それから、私は③何か大切なことを発見しました。ほかの人に何かを教えることは、その人から何かを学ぶことであるということです。そのことが私を大いにかえました。だから、私は教師になることに決め、学生として大学に戻りました。また、私はホームステイプログラムの調整役として、大学で働いています。外国人学生がホストファミリーを見つけるのを手伝っています。ALTとしての私の経験は、(今の)私の仕事にとっても役に立っています。

多くのアメリカの大学は仕事に就いている人、または大学をすでに卒業した人のために、社会人教育講座を設けています。私のクラスの中には、自分の仕事のために何か新しいことを学んでいる学生もいます。また、学び続けたいために、大学に通うクラスメートもいます。私の母と同じ年齢のクラスメートもいます。私たちはいっしょに学ぶことを楽しんでいます。彼らの④考え方は興味深いので、彼らと話すことは私にはわくわくします。私たちは、いつでも再び学び始めることができます。なぜなら、学ぶのに遅すぎることは決してないからです。

⑤大学に入ることも就職することもあなたの人生の目標ではありません。そのあとに、何をすべきか、どう生きるかについて考えることがみなさんにとってより重要です。

あなたたちの人生に無駄なことは1つ也没有せん。あなたたちは自分がしたことによって自信を得ることができます。だから、間違えることを恐れなくて、自分の将来のために、いろいろなことに挑戦し続けてください。

→p.188～p.191

- ① (1) イ
 (2) (例) Why do they learn it?(5語)
 (3) エ
 (4) 次に来る語 / 言葉の順序
 (5) ウ
- ② (1) 1. (例) Yes, we do.
 2. (例) They were set in 2015.
 (2) without (3) ウ
 (4) (例) we can turn off the lights to save energy when we don't need them(14語)
 (5) make the world better
 (6) ア, エ

解説 ① (1) 第4行目に「私の国(=オーストラリア)には、約30万人の日本語学習者がいる」とあるので、グラフ(d)はオーストラリアである。また、第4～6行目から「世界でいちばん日本語学習者が多いのは中国で、その数は100万人以上」ということがわかる。したがって、グラフ(a)は中国である。最後に、第6～7行目に「インドネシアにも韓国にも約85万人の学習者がいるが、インドネシアは韓国よりも学習者が少し多い」とあるので、グラフ(b)はインドネシア、グラフ(c)は韓国である。

(2) 空所のあとに、日本語を学ぶ理由を表す文が続いていることに注目する。because「なぜなら」を用いた文が答えになるようなwhy「なぜ」で始まる疑問文を考える。

別解 Why are so many people learning the Japanese language now?(10語)

- (3) ア「その歌の名前」、イ「その映画のストーリー」、ウ「日本の未来」、エ「その歌詞の意味」前後の内容から、リサが知りたかったのは「友達と何度も歌って覚えた、日本のアニメ映画の挿入歌の歌詞の意味」である。
- (4) 第17～20行目参照。「日本語を使うとき、いつも次にどんな単語がくるかについて考えなければならぬ」ので、リサにとって日本語は難しいと述べられている。
- (5) ア「間違えずにその言語を話すことを楽しむべきです」第23行目に「間違えることはあなたがもっとよく言語を学ぶのに役立ちます」とあるので、本文の内容と一致しない。

イ「学校で熱心にその言語を学び、毎日宿題をするべきです」本文にそのような内容はない。

ウ「その言語を使ってたくさん話して、あなたにアドバイスをくれる人をもつべきです」第21～22、25～26行目の内容と合う。

エ「あなた自身の言語がどれほど難しいかをあなたの友達に示すべきです」第27～28行目に、「私たちはみんな外国語を学ぶ立場ですが、私たち自身の言語のよい教師にもなれます」とあるが、「自分の言語がどれほど難しいかを示すべきだ」とは述べられていない。

全訳 こんにちは、みなさん。私はオーストラリア出身のリサです。今日、私になぜ日本語を学んでいるのか、そして、外国語を学ぶときに何が大切かについて話したいと思います。

みなさんは、世界でどれくらいの人々が日本語を学んでいるか知っていますか。現在、約400万人の人々が学んでいます。私の国には、約30万人の日本語学習者がいて、私はそのうちの1人です。日本語学習者がいちばん多いのはどの国か、みなさんは推測できますか。中国です。100万人以上の中国人が日本語を学んでいます。インドネシアと韓国にも日本語学習者がたくさんいます。どちらの国にも約85万人の学習者がいますが、インドネシアのほうが韓国よりも少し多いです。ここでわかるように、現在、非常に多くの人々が日本語を学んでいます。

①なぜ彼らは日本語を学ぶのでしょうか。彼らは日本語と彼ら自身の言語との大きなちがいに興味があるからです。また、彼らは日本の文化に興味があるからです。さらに、彼らはもっといい仕事に就きたいからです。私は日本の文化が大好きなので、日本語を学んでいます。私は10歳のとき、ある日本のアニメ映画を見ました。私は本当にその映画とその挿入歌が好きでした。その映画に出てくる日本人はみな英語を話していましたが、歌は日本語でした。それは美しい歌でした。私は友達と何度もその歌を歌い、私たちは歌詞をすべて覚えました。それから、私たちは②その歌詞の意味を知りたいと思いました。私の友達の1人が「もしそれを理解したら、私たちはもっとじょうずにその歌を歌えるね」と言いました。それで、私は友達といっしょに日本語を学び始めました。

日本語は英語とは大いに異なるので、私にとっては難しいことがよくあります。日本語を使うとき、私は次にどんな単語がくるかについて、いつも考えなければなりません。たとえば、「I saw a movie.」と言いたいとき、日本語は「私は(I) - 映画を(a movie) - 見ました(saw)」のようになります。私はそのちがいを楽しんでいます。まだ、たくさんのかを学ばな

ければなりません。

もしみなさんが外国語を学びたいければ、その言語をたくさん使うことと、よい教師をもつことがみなさんにとってとても重要です。私は自分の国で日本語を勉強していたとき、よく間違いをしました。しかし、間違えることはみなさんがもっとよく言語を学ぶのに役立ちます。ここ佐賀では、学校の日本人の友達が私の話をよく聞いてくれます。彼らはよく私に「あなたの日本語はじょうずだよ」と言ってくれます。私はそれを聞いてうれしいですが、自分がたくさん間違えていることを知っています。私のホストファーザーは、じょうずに英語を話すので、私間違えるとき、私によく助言をしてくれます。私は、彼のような人がいてくれてうれしいです。

だから、みなさん、私たちはみんな外国語を学ぶ立場ですが、私たち自身の言語のよい教師にもなれます。日本語と英語でおたがいに話しましょう。ご清聴ありがとうございました。

- ② (1) 1. 質問は「地球上にはたくさん問題がありますか」という意味。【授業で読んだ英文】の第3行目参照。
2. 質問は「その目標はいつ立てられましたか」という意味。the goalsはthe SDGsの17 goalsを指す。【授業で読んだ英文】の第4～5行目参照。
- (2) 前後の語句に着目し、完成する文の意味を推測する。「あなたは十分な食べ物がなければ、健康を保つことはできません」と考えて、「～なしで」を表すwithoutを入れる。
- (3) あとの「一部の国では高齢者が増えている」から、ウ「(より多くの人)が長生きする」が適切。ア「清潔な水を手に入れる」、イ「十分なお金がある」、エ「食べ物を捨てる」。
- (4) 【優子さんの意見】の第5行目参照。話題は、地球温暖化を止めるためにできること。For exampleのあとには具体例(エネルギーの節約、二酸化炭素の排出削減の試みなど)を示す。「10語以上」の指示も重要。
- (5) 持続可能な開発目標は何をするための目標か考える。【授業で読んだ英文】の第5～6行目参照。
- (6) ア「地球上の問題を解決するため、私たちは協力しなければなりません」【授業で読んだ英文】の第3～6行目の内容と合う。
- イ「世界中の乳幼児のすべてに十分な食べ物があります」【授業で読んだ英文】の第9～11行目参照。本文の内容と一致しない。
- ウ「一部の国の人々はお金がないので、健康を保てます」【授業で読んだ英文】の第17～18行目参照。本文の内容と一致しない。

エ「私たちは持続可能な開発目標を実現するために、自分自身の生活を考えなければなりません」【授業で読んだ英文】の第23～24行目の内容と合う。

オ「私たちは小さなことしかできないので、問題を解決することはできません」【優子さんの意見】の第7～8行目参照。本文の内容と一致しない。

カ「私たちが目標の1つについて考えるとき、残りの目標について考える必要はありません」【佐藤先生のコメント】の第6～7行目参照。本文の内容と一致しない。

【全訳】【授業で読んだ英文】

持続可能な開発目標

17の目標とともに、すべての人によりよい生活を

地球上には問題がたくさんあります。その中にはとても大きく深刻なものもあります。2015年、世界の指導者たちが17の目標を立てることを決めました。そして私たちはこれらの目標を2030年までに実現するべきです。問題を解決するため私たちに何ができるか考えなければなりません。私たちは協力する必要もあります。世界をよりよくするため、私たちに何ができるでしょうか。

2番 飢餓をゼロに

世界中に飢えで苦しむ人がたくさんいます。十分な食べ物^①がなければ、健康を保つことはできません。十分な食べ物がなくて亡くなる人もいます。この問題は乳幼児にとって特に深刻です。

あなたは今までに「フードロス」について聞いたことがありますか。まだ食べられるにもかかわらず、捨てられる食べ物のことです。多くの人に十分な食べ物が無いのに、多くの食べ物が捨てられています。

3番 すべての人に健康と福祉を

一部の国では、5歳未満で亡くなる子どもがたくさんいます。彼らは病気の時、薬を飲むことができません。理由の1つがお金です。家族には薬を買うお金が十分にありません。彼らが子どもの健康を保つ方法を学ぶことも大切です。

一方で、^②より長生きする人が増え、一部の国では高齢者が増えています。そのような国は、病院や高齢者を世話する人を必要とするでしょう。

あなたの生活の中で、持続可能な開発目標のために何かする機会はたくさんあります。生活について考えることがこれらの目標の実現につながるでしょう。清潔な水を手に入れることができない人たちについて考えましょう。手を洗うとき、水を節約することができます。

また、これらの問題について家族や友達と話すことも大切です。そうすれば私たちは解決策を見つけるた

めに協力することができます。持続可能な開発目標を実現するのに何ができるか考えましょう。

【優子さんの意見】

私は13番「気候変動に具体的な対策を」について話します。

世界では自然災害がますます増えています。その理由の1つが地球温暖化であると言われています。地球は以前よりも暖かくなっています。私たちはそれを止めるために何かをする必要があります。私たちは地球を大切にすべきです。私たちは地球温暖化を止めるために何かできると思います。たとえば、^③私たちは必要のないときはエネルギーの節約のために明かりの電源を切ることができます。

私たちは小さなことしかできませんが、それをやり続けるべきです。そうすれば私たちの生活はもっとよくなるでしょう。

【佐藤先生のコメント】

持続可能な開発目標は、^④世界をよりよくするための目標です。問題は外国にも日本にもたくさんあります。

世界中で、多くの人が病気であり、その中には病院へ行くことができない人もいます。この問題を解決するため、私たちはどうすれば人々の健康を保つことができるか考えなければなりません。これが3番の目標です。人々は健康を保つため、食べ物を十分に食べる必要があります。これが2番の目標です。病院の建設はまた別の解決策です。答えは1つだけではありません。私たちは世界の問題を解決し、自分たちの未来について考えるため、17の目標をすべて覚えておく必要があります。

- 1 (1) (例) 子どもは毎日約400回笑うが、大人は毎日約15回しか笑わないということ。
(2) b
(3) イ
(4) ウ
(5) (例) 非常に困難な状況に置かれたときに、日本人選手たちがほほえんでいたこと。
(6) 1. (例) Yes, they do.
2. (例) Because his doctor didn't know how to cure him.
3. (例) They smiled at each other.
(7) エ
- 2 (1) A 春 B 北 C 1
(2) b
(3) エ
(4) (例) 大人になったら、自分の目で世界を見たあと、自分の町に帰ってきて生活していくこと。
(5) 1. (例) Yes, he did.
2. (例) He remembered Jack's words to the fish.
(6) ウ → オ → イ → エ → ア
(7) A (例) do you want to (4語)
B (例) I will study abroad (4語)

- 解説 1 (1) One interesting study shows that ~. 「ある興味深い調査は～ということを明らかにしている」という形なので、調査によって明らかになったことは、that 以下の内容をまとめればよい。
(2) 挿入文は「医師や科学者がそのことを示してきました」という意味。it が指す内容を考えながら、適切な挿入箇所をさがす。空所 b に入れると、「ほほえんだり笑ったりすることは、私たちの体にとって良いことです」→「医師や科学者がそのことを明らかにしてきました」という自然な流れになる。it が指す内容は前文の Smiling ~ for our body. である。
(3) 空所の前に「数か月後、彼はベッドから出て、再び働き始めました」とある。男性の重い病気が笑うことやほほえむことで良くなったことをふまえると、イ「笑うことは彼にとって実に良いことでした」が適切。
(4) 第20～23行目参照。「19人の被験者に劇場

で3時間とてもこっけいなショーを見るよう依頼した。ショーの前後で、各被験者の良い細胞がどのように活性化するかを調べた」とあるので、ウが適切。

(5) 下線部④は「彼女らはアメリカ人選手とは異なるように見えました」という意味。日本人選手がアメリカ人選手と異なって見えたことの具体的な説明は、下線部の前後に述べられている。

(6) 1. 質問は「ほほえむことと笑うことにはすばらしい力がありますか」という意味。第4行目の内容と合う。

2. 質問は「なぜアメリカのその男性は自力で自分自身を治そうと決意したのですか」という意味。第7～8行目参照。

3. 質問は「2つのチームの選手の数人は、サッカーの試合のあと、何をしましたか」という意味。第34～35行目参照。

(7) ア「アメリカのその男性は入院中、どこで笑うべきか知りたかったです」という意味。本文にそのような内容はない。

イ「約600億個の良い細胞が毎日、私たちの体内で生まれます」第17～19行目参照。「私たちの体は約60兆個の細胞でできています。私たちの体の中で、約3,000個の悪い細胞が毎日生まれますが、私たちの体の中につねにある50億個の良い細胞が悪い細胞を破壊しています」という記述はあるが、選択肢で述べられている内容の記述はない。

ウ「私たちの体内の多くの良い細胞は、私たちが眠っているときにより強力になります」第19行目の内容と一致しない。良い細胞が活性化するのは、私たちが「笑う」ときである。

エ「困難な状況でほほえむことは簡単なことではないが、大切なことです」第26～27行目の内容と合う。

オ「ほほえむことは私たちの体にとって良いことですが、私たちの心にとっては良いことではありません」第26行目に「ほほえむことは私たちの心にとっても良いことです」とある。

全訳 あなたは今日ほほえむか笑うかしましたか。あなたはよく家族や友達や周囲の人に対してほほえみますか。①ある興味深い調査が子どもは毎日約400回笑うけれども、大人は毎日15回ほどしか笑わないということを明らかにしています。あなたはどうですか。もしあなたがたいいあまりほほえんだり笑ったりしないのであれば、このことを覚えておいてください。ほほえんだり笑ったりすることにはすばらしい力があるということ。

笑いの力についてのすばらしい話があります。約50年前、アメリカに暮らしていたある男性がひどい病気になりました。彼は入院中、ベッドの中で動くことができませんでした。彼はひどい病気だったので、眠ることが難しい状態でした。彼の医者は彼を治療する方法がわかりませんでした。だから、彼は自分でそれを行うことに決めました。

入院中、彼はある本を読みました。それは私たちの考え方や体に関する本でした。それから彼は、「もし私が幸せな気持ちになれば、自分自身を治すことができる」と考えました。そのため、彼は毎日いくつかのことを行う決心をしました。そのうちの1つは、笑うことでした。彼はおもしろい話を読み、笑える映画を見ました。笑ったあと、彼は眠ることができました。彼は以前よりも元気になりました。数か月後、彼はベッドから出て、再び働き始めました。②笑うことは彼にとって実に良いことでした。そして数年後、彼はアメリカの最も有名な大学の1つで働き始めました。彼はそこで笑いの力について教えました。

ほほえんだり笑ったりすることは、私たちの体にとって良いことです。③医師や科学者がそれを明らかにしてきました。それでは、私たちがほほえんだり笑ったりするとき、私たちの体の中で何が起きているのでしょうか。

私たちの体は約60兆個の細胞でできています。私たちの体の中で、約3,000個の悪い細胞が毎日生まれますが、私たちの体の中につねにある50億個の良い細胞が悪い細胞を破壊しています。ある実験が、良い細胞は私たちが笑うと活性化するというを明らかにしています。④その実験は1992年に日本で2人の医師によって行われました。彼らは19人の被験者に、劇場で3時間とてもこっけいなショーを見るよう依頼しました。ショーの前後に、医師たちはそれぞれの人の良い細胞がどのように活性化するかを調べました。そして、彼らはショーを見たあと、良い細胞がより活性化することを発見しました。

医者の中には「笑いましょう！でも、もし笑うことができないならば、ほほえむだけでいいのです。ほほえむこともあなたの体内にある良い細胞にとって良いのです」と言いました。

ほほえむことは私たちの心にとっても良いことです。たいい私たちは困難な状況にあるとき、ほほえむことができません。しかし、ほほえむことはそのような状況においてとても重要です。スポーツ界に良い例がいくつかあります。

2011年、日本人女性のサッカーチームは対アメリカの重要な試合がありました。試合を見ている多く人は「アメリカのチームは日本のチームよりも強い」

と思っていました。実際に、アメリカのチームはとも強かったです。しかし、日本の選手たちはあきらめませんでした。そして、彼女らは非常に難しい局面に立ったとき、④ アメリカ人選手たちとはちがうように見えました。彼女らはそのような状況の中で、ほほえんでいました。ほほえむことは、彼女らにとって非常に大切なことでした。最終的に、彼女らは試合に勝ちました。試合後、両チームの数人の選手がおたがいにほほえみ合いました。

あなたは毎日ほほえんでいますか。ほほえむことは私たちの人生においてささいなことです。しかし、時にそれはとても重要なことです。ほほえむことには、あなたをかえる力があります。それには、あなたの周囲の人をかえる力もあるのです。だから、ほほえみましょう。

② (1) 下線部①は「優人の父親はサクラマスについて話し始めました」という意味。

A 第5～6行目参照。「そのあと、春になると、一部のサクラマスの体の色が銀色になり、銀色になったサクラマスは川を下って海まで行きます」とあるので、Aには「春」が入る。

B 第7～9行目参照。「彼らは日本周辺のはるか遠くの北の海まで移動して、翌年の春に彼らがかつて住んでいた川に戻ってきます」とあるので、Bには「北」が入る。

C 第5～6行目に「春になると、(体の色が)銀色になったサクラマスは川を下って海まで行きます」とあり、第7～9行目に「彼らは翌年の春にかつて住んでいた川に戻ってきます」とあるので、サクラマスが海で過ごす期間は「1年」であるとわかる。

(2) 挿入文は「たくさんの稚魚がその中で泳いでいました」という意味。前後で稚魚のことを話題にしているのはbである。in it「その中で」のitは、空所前文のhis bucket「彼の[優人の]バケツ」を指す。

(3) ア「ああ、それは問題だ」、イ「ああ、それは問題ない」、ウ「ああ、それはいい考えだ」、エ「ああ、それはいい知らせだ」。

空所には「今朝、サクラマスを見たよ!」と言った優人に対して彼の父親が言った言葉が入る。したがって、エが適切。

(4) 下線部③を含む文は「私はそれを聞いてとてもうれしいよ、優人」という意味。これは優人の父親の発言である。また、thatやthisは人や物だけでなく、前の文の内容やその一部を指すことがあることもおさえておく。前文に注目すると、優人の父親が喜んだのは、「お父さん、大人にな

ったら、ぼくも自分の目で世界を見たいよ。それから、ここに帰って暮らすよ」という優人の発言を聞いたからであることがわかる。

(5) 1. 質問は「ジャックはサクラマスの稚魚を放流する前に、優人にサケについて話しましたか」という意味。第9～13行目参照。ジャックが優人にサケについて話したあと、It was time for releasing the fish.「サクラマスを放流する時間になりました」とある。

2. 質問は「優人は午前中に大きなサクラマスを見かけたとき、何を思い出しましたか」という意味。第30行目参照。「今朝、それらを見かけたとき、ジャックがサクラマスにかけた言葉を思い出したよ」と優人は言っている。

(6) 本文の流れに合わせて選択肢を並べると以下の通り。

ウ「優人とジャックは公園に行き、そこで優人の父親とたくさんのおともたちを見ました」(第1～2行目参照)→

オ「優人の父親はサクラマスについて1人のおともがした質問に答えました」(第7～9行目参照)→

イ「優人とジャックはバケツを運び、稚魚を川に放流しました」(第13～15行目参照)→

エ「優人は午前中に川沿いを走ったとき、大きな魚を見ました」(第4段落参照)→

ア「優人は彼の父親にサクラマスについて話し、彼らは優人の将来について話し合いました」(最終段落参照)

(7) A 優人の質問に対して、ジャックは「ぼくは外国で医者として働きたいと思っているよ」と答えているので、優人はジャックに対して将来やりたいことをたずねていると考えられる。

B 優人の発言に対して、ジャックが「外国に滞在して勉強すれば、ちがった観点から自分の国や自国の文化を見られるだろうね」と言っていることから判断する。

別解 I want to[I'm going to] study abroad [study in a foreign country]

会話の訳は以下の通り。

優人：① きみは将来何をしたいの?

ジャック：ぼくは外国で医者として働きたいと思っているよ。そこで病気の人を助けるんだ。優人、きみはどうなの? もう計画はあるの?

優人：うん。② ぼくは将来、留学するよ。

ジャック：いいね! 外国に滞在して勉強すれば、ちがった観点から自分の国や自国の文化を見られるだろうね。

〔全訳〕 ある日、優人とジャックは川沿いの公園に行きました。公園にはたくさんの子どもたちがいました。優人の父親は彼らの前に立っていました。たくさんのバケツが子どもたちの横に置かれ、たくさんの稚魚がその中に入っていました。①優人の父親はサクラマスについて話し始めました。優人やジャックや多くの子どもたちが彼の話に耳を傾けました。「私たちが今日、サクラマスの稚魚を放流したあと、彼らは約1年間この川で生きるでしょう。そのあと、春になると、一部のサクラマスの体の色が銀色になり、銀色になったサクラマスは川を下って海まで行きます」

子どもたちの1人が「彼らはどこへ行くの？」とたずねました。優人の父親は「彼らは日本周辺のはるか遠くの北の海まで移動して、翌年の春に彼らがかつて住んでいた川に戻ってきます」と答えました。優人は広い海を泳いでいるサクラマスについて考えました。ジャックは優人に「ぼくは以前、ぼくの町の川でサケを何匹か見たことがあるよ。彼らも海から自分たちが生まれた川に戻ってくるよ」と言いました。優人は「それらの魚は、自力でそんなに長い道のりを移動するんだね。すごいな」と言いました。

サクラマスを放流する時間になりました。どの子も川までバケツを運び、魚を放流しました。優人もバケツを運び、中を見ました。②バケツの中でたくさんの稚魚が泳いでいました。優人とジャックはバケツから水を川に注ぎ入れました。たくさんの稚魚が川にいましたが、その場を離れて行きました。「さようなら！ 自分の目で世界を見ろよ」とジャックは魚たちに言いました。1週間後、ジャックはアメリカに戻りました。

2年が過ぎました。優人は学校で3年生になりました。彼は毎朝、川沿いを走りました。春のある朝、彼は2人の男性を見かけました。彼らは魚釣りのあと、帰宅しているところでした。優人は彼らの話し声を聞きました。1人の男性が「今日は何も釣れなかったな」と言いました。もう1人の男性が「サクラマスを釣るのはとても難しいよな？」と言いました。優人は彼らの言葉を聞くと、走るのをやめました。彼はジャックとサクラマスを放流した日のことを考えました。彼は川を見ました。何も見えませんでした。しかし、しばらくすると、雲間から太陽が輝き始めました。そのとき、優人は川の中に銀色のものを見ました。それは大きな魚でした。それは流れをさかのぼって泳いでいました。優人は「サクラマスが戻って来た！」と思いました。

その晩、家で優人は父親に「今朝、サクラマスを見たよ！」と言いました。彼の父親は「③ああ、それはいい知らせだね」と言いました。優人は「それはとても大きかったよ！ あの小さかった魚たちは世界を回って、戻って来たんだよ！」と言いました。彼の父親は「海の中で、彼らは川の中では得られない多くの経験をしてきたと思うよ。そんな魚たちのために、私たちは川をきれいにしておくべきだね」と言いました。優人は「今朝、彼らを見かけたとき、ジャックがサクラマスにかけた言葉を思い出したよ」と言いました。彼はしばらく考えて、「お父さん、大人になったら、ぼくも自分の目で世界を見たいよ。それから、ここに戻って暮らすよ」と言いました。「私は④そのことを聞いてとてもうれしいよ、優人。私たちはお前が戻って来るまで待っているよ」と彼の父親は言いました。優人は「ありがとう」と言い、彼も父親の言葉を聞いてうれしくなりました。

⇒p.196～p.197

パターン1 イ

パターン2 エ

パターン3 ウ

パターン4 (1) 博物館

(2) 140

(3) (例) 生活していた

パターン1

[全訳] 女性：こんにちは。ご注文はお決まりですか。

男性：はい。ハンバーガー2つ、フライドポテト小1つ、オレンジジュース1つをお願いします。

女性：こちらでお召し上がりですか、お持ち帰りですか。

男性：ここで食べます。

質問：男性は何を注文しましたか。

[解説] 絵や図表を使った問題では、あらかじめ選択肢の絵や図表に目を通しておくことよ。ここでは、注文したものの数がポイントになると予想できるので、食べ物の種類と数に注意しながら聞きとる。

パターン2

[全訳] A：すみません。博物館への行き方を教えてくださいませんか。

B：いいですよ。そこへはバスで行けます。

A：私はどのバスに乗るべきですか。

B：(チャイム音)

[解説] 英文が読まれる前に、あらかじめ選択肢に目を通し、意味をつかんでおく。チャイム直前の英文をしっかり把握することが大切。チャイム直前の文が「私はどのバスに乗るべきですか」という意味なので、最も適する答えは、どのバスに乗るべきかを伝えている、エ「次のものに乗るなさい」。

パターン3

[全訳] タクヤ：こんにちは、エリ。ぼくは昨日、みどり中学校へ行ったよ。

エリ：本当？ 私たちの英語の先生の山田先生に会った？

タクヤ：いや、会わなかったよ。彼は生徒たちと野球をしていたんだ。

エリ：なぜそこへ行ったの？

タクヤ：ボランティア活動をするためだよ。

エリ：何をしたの？

タクヤ：先生とっしょに生徒たちに数学を教えたよ。

エリ：わあ！ どうだったの？

タクヤ：数学を教えて楽しんだよ。今ぼくはもう一度それを教えたいから、もっといっしょけんめいに勉強する必要があるんだ。

エリ：すごいわ。私は英語が好きだから、生徒たちに英語を教えたいわ。

質問：タクヤはなぜみどり中学校へ行きましたか。

[解説] 英文が読まれる前に、あらかじめ選択肢に目を通し、質問を予測しておく。選択肢がすべてTo～、「～するためです」なので、Why ～?と理由をたずねる質問がされると予想できる。行動の目的に注意しながら聞きとる。選択肢の意味はそれぞれ、ア「山田先生と話すためです」、イ「野球を練習するためです」、ウ「生徒たちに数学を教えるためです」、エ「生徒たちとっしょに英語を勉強するためです」。

パターン4

[全訳] 英樹：この建物は何ですか。とても古く見えます。

ジュディ：これは博物館です。それは約140年前に建てられて、学校として使われていました。

英樹：ここで何を見ることが出来ますか。

ジュディ：人々が昔どのように生活していたかを見ることが出来ます。今からいっしょに中に入りませんか。

英樹：いいですよ。行きましょう。

[解説] 英文が読まれる前に、空所にどのような言葉が入るか考えておく。(1)には建物の種類、(2)には何年前かを表す数字、(3)には何をしていたかを表す言葉が入ることがわかるので、それらに注意しながら聞きとる。

⇒p.198～p.201

- 1 (1) ウ (2) イ (3) ア
 2 (1) エ (2) イ
 3 (1) ア (2) イ
 4 (1) ア (2) ウ (3) ウ
 5 (1) ウ (2) イ
 6 (1) イ (2) ウ (3) イ (4) エ
 7 (1) ア 誤 イ 誤 ウ 正
 (2) ア 誤 イ 正 ウ 誤
 (3) ア 正 イ 正 ウ 誤
 8 (1) ア (2) イ (3) エ

1

放送文 (1) I am writing a letter.

(2) In this museum, you cannot take pictures.

(3) We put money in this machine when we want something to drink.

全訳 (1) 私は手紙を書いています。

(2) この博物館では写真をとることはできません。

(3) 何か飲み物がほしいとき、私たちはこの機械にお金を入れます。

2

放送文 (1) A boy wearing a cap is drinking something. A girl is sitting next to him. What is she doing?

(2) You can see five bags in this picture. A girl with long hair has one in her hand. Two are on the table under the map. Where are the other two?

全訳 (1) 帽子をかぶった男の子が何かを飲んでいません。彼のとなりに女の子がすわっています。彼女は何かをしていますか。

(2) この絵には5つのかばんが見えます。長い髪の女の子が手に1つ持っています。2つは地図の下のテーブルの上にあります。残りの2つはどこにありますか。

解説 場所を表す語(句)に注意する。next to「～のとなりに」、under「～の下に」、by「～のそばに」、behind「～の後ろに」、between「～の間に」

3

放送文 (1) How many clocks are there on the table?

(2) Who went to London to study art?

全訳 (1) テーブルの上に何個時計がありますか。

(2) だれが芸術を勉強するためにロンドンへ行きましたか。

解説 (2) あらかじめ図表や選択肢に目を通しておき、読まれる英文を推測することが大切。この問題では、だれが何のためにどこへ行ったかについて聞かれると予想できる。to Sydney「シドニーへ」か to London「ロンドンへ」か。また、to study English「英語を勉強するため」か to study art「芸術を勉強するため」か。なお、選択肢がすべて〈人名+did.〉なので、〈Who+一般動詞の過去形～?〉の疑問文が読まれることも推測できる。

4

放送文 (1) John: Mika, it is sunny now, but it will rain in the afternoon.

Mika: Oh, no. Then, we cannot play tennis with our friends this afternoon.

John: How about watching videos at my house?

Mika: (チャイム)

(2) John: I went to Okinawa last week for the first time. Have you been there, Mika?

Mika: Yes. I have been there three times.

John: Oh, really? When did you go there last time?

Mika: (チャイム)

(3) John: What is your class going to do at the school festival, Mika?

Mika: We are going to show a movie. We have already finished making it.

John: Oh, that sounds nice! What did you do for the movie?

Mika: (チャイム)

全訳 (1) ジョン：ミカ、今は晴れているけれど、午後は雨が降るよ。

ミカ：わあ、いやだ。じゃあ、私たちは今日の午後、友達とテニスができないわ。

ジョン：ぼくの家でビデオを見るのはどう？

ミカ：(チャイム)

(2) ジョン：ぼくは先週初めて沖縄へ行ったんだ。きみはそこに行ったことがある、ミカ？

ミカ：ええ。私は3回そこに行ったことがあるわ。

ジョン：わあ、本当？ きみは最後にいつそこに行ったの？

ミカ：(チャイム)

(3) ジョン：文化祭できみのクラスは何をするつもりなの、ミカ？

ミカ：私たちは映画を上映するつもりよ。私たちはもうそれを作り終えたの。

ジョン：わあ、よさそうだね！ きみは映画のために

何をしたの？

ミカ：(チャイム)

解説 (1) How about ~? は「～はどうですか」の意味で、相手の気持ちをたずねたり、提案したりするときに使われる表現。ア「それはよい考えです」が適切。

(2) チャイム直前の文が疑問詞 when(いつ)で始まっていることを聞きとる。ウ「私は2か月前にそこへ行きました」

(3) チャイム直前の文が What did you ~? 「あなたは何を～しましたか」とたずねているので、「私は～しました」と答える文が適切。ウ「私は友達といっしょに映画のストーリーを書きました」

5

放送文 (1) ア 父親：What are you doing, Junko?
女の子：I'm playing the guitar.

イ 父親：Where is the newspaper, Junko?

女の子：It's on the table.

ウ 父親：Can you help me, Junko?

女の子：No, I can't. I'm watching soccer on TV.

(2) ア 女の子：What time is it now, Taro?

男の子：I'm sorry. I don't have a watch.

イ 女の子：I'm really hungry. Can I eat this?

男の子：Yes, you can. Please enjoy the food.

ウ 女の子：Look! There are some birds.

男の子：Oh! They are singing in the tree.

全訳 (1) ア 父親：何をしているんだい、ジュンコ？

女の子：ギターをひいているところよ。

イ 父親：新聞はどこにあるんだい、ジュンコ？

女の子：テーブルの上にあるわ。

ウ 父親：手伝ってくれるかい、ジュンコ？

女の子：いいえ、できないわ。私はテレビでサッカーを見ているところなの。

(2) ア 女の子：今何時、タロウ？

男の子：ごめん。ぼくは腕時計を持っていないんだ。

イ 女の子：私は本当におなかがすいているわ。これを食べてもいい？

男の子：うん、いいよ。食べ物を楽しんでね。

ウ 女の子：見て！ 鳥が数羽いるわ。

男の子：わあ！ 木のところで鳴いているよ。

6

放送文 Do you know about a Japanese language class in the community center? My mother works there and I heard about the class from her. The class is held for foreign children every Thursday evening. They go to different schools and study with Japanese children.

Last week I asked my mother to take me there.

When I visited the class, many foreign children were studying Japanese. They hope to talk more with their Japanese friends. In the class, they also learn Japanese culture and do their homework. Homework is sometimes difficult for them because it is written in Japanese.

When some children were doing their homework in the class, I helped them. I tried to teach them in English, but it was very hard for me.

I enjoyed the class. If you are interested, why don't you come with me?

全訳 みなさんはコミュニティセンターの日本語教室について知っていますか。私の母がそこで働いていて、私は彼女からその教室について聞きました。教室は外国人の子どもたちのために毎週木曜日の晩に開かれています。彼らは別々の学校に通っていて、日本人の子どもたちといっしょに勉強しています。

私は先週、母に私をそこに連れていってくれるように頼みました。私が教室を訪れたとき、たくさんの外国人の子どもたちが日本語を勉強していました。彼らは日本人の友達ともっと話すことを望んでいます。教室では、彼らは日本の文化を学んだり、宿題をしたりもします。宿題は、日本語で書かれているので、時には彼らにとって難しいのです。

数人の子どもたちが教室で宿題をしていたとき、私は彼らを手伝いました。私は彼らに英語で教えようとしたのですが、私にはとても難しかったです。

私はその教室を楽しみました。みなさんがもし興味があるなら、私といっしょに来るのはどうですか。

7

放送文 (1) ア Many people use this to cut food.

イ This is always used to wash food.

ウ We use this when we cook food.

(2) ア You should change trains at X Station to get to Z Station.

イ Y Station and Z Station are on the same line.

ウ If you want to go to X Station, take the Green Line at Y Station.

(3) ア Cats are more popular than fish as pets in this class.

イ Dogs are the most popular pets in this class.

ウ Sixteen students in this class want to have fish as pets.

全訳 (1) ア たくさんの人々が食べ物を切るためにこれを使います。

イ これはいつも食べ物を洗うために使われます。

ウ 私たちは食べ物を料理するときにこれを使います。

(2) ア あなたはZ駅に着くためにはX駅で乗り換え

るべきです。

イ Y 駅と Z 駅は同じ路線にあります。

ウ もしあなたが X 駅に行きたいなら、Y 駅でグリーン線に乗りなさい。

(3) ア このクラスではペットとしてネコのほうが魚よりも人気があります。

イ このクラスではイヌが最も人気のあるペットです。

ウ このクラスの 16 人の生徒がペットとして魚を飼いたいと思っています。

解説 (1) フライパンの説明。

(2) あらかじめ Y 駅が乗り換え駅であること、路線が 2 本あることなどを押えておく。Z の発音に注意する。

(3) sixteen と six の発音のちがいに注意。

8

放送文 Nick: Mari, my friends and I are members of a dance team. We love dancing. How about joining us?

Mari: A dance team? Sounds interesting. But why are you asking me?

Nick: I hear you love dancing. You often dance with your friends in the classroom, right? I was there yesterday and I really enjoyed watching your dance. It was great! You should join us.

Mari: Yes, I like dancing. But I'm already in the volunteer club. I have a meeting on Wednesdays and sometimes there are events on weekends.

Nick: No problem. If you come to practice when you can, that's fine.

Mari: I see. How many people are there on your team?

Nick: There are four boys and six girls. We meet at school or the City Park.

Mari: May I watch your practice next Sunday? I'll think about joining your team after that. Is that OK?

Nick: Great. We'll wait for you at the City Park. We'll practice there until noon.

Mari: Sure. I'll be there at ten. Thank you for inviting me!

Nick: You're welcome. Let's have a good time together.

(1) Mari already joined a club. Which club is this?

(2) When and where will Nick wait for Mari?

(3) Which is true about their talk?

全訳 ニック：真理，ぼくの友達とぼくはダンスチームの一員なんだ。ぼくたちはダンスをするのが大好きだよ。ぼくたちに加わるのはどう？

真理：ダンスチーム？ おもしろそうね。でもなぜ私に頼んでいるの？

ニック：ぼくはきみがダンスをするのが大好きだと聞いているよ。きみはよく友達と教室でダンスをするよね。ぼくは昨日そこにいて、きみのダンスを見て本当に楽しんだよ。すごかったよ！ きみはぼくたちに加わるべきだよ。

真理：ええ、私はダンスをするのが好きよ。でも私はもうボランティアクラブに入っているの。水曜日にはミーティングがあるし、週末にはときどきイベントがあるわ。

ニック：問題ないよ。できるときに練習しに来てくれればそれでいいんだ。

真理：わかった。あなたたちのチームには何人いるの？

ニック：男子 4 人と女子 6 人だよ。ぼくたちは学校か市立公園で会うんだ。

真理：今度の日曜日、あなたたちの練習を見てもいい？ そのあとであなたたちのチームに加わることに考えて考えるわ。それでいい？

ニック：いいね。ぼくたちは市立公園できみを待つよ。ぼくたちは正午までそこで練習するよ。

真理：わかった。私は 10 時にそこに行くわ。私を誘ってくれてありがとう！

ニック：どういたしまして。いっしょに楽しく過ごそう。

(1) 真理はすでにクラブに入りました。それは何のクラブですか。

(2) ニックはいつどこで真理を待ちますか。

(3) 彼らの会話について、どれが正しいですか。

解説 (2) ニックの「正午まで練習する」、真理の「10 時に行く」という発言から「日曜日の午前中」だとわかる。

(3) ア「ニックは次の練習で初めて真理のダンスを見るでしょう」、イ「ダンスチームは毎週水曜日にミーティングがあります」、ウ「ニックのダンスチームには男子 4 人と女子 4 人がいます」、エ「真理はまだニックのダンスチームの一員になることを決めていません」

→p.202~p.205

- 1 (1) イ (2) ア (3) ウ
 2 (1) ウ (2) ア (3) ウ (4) エ
 3 (1) ウ (2) エ
 4 (1) 5 (2) 木 (3) 6 (4) 子ども
 (5) 絵のかき方 (6) クッキングデー
 5 (1) longer (2) free (3) remember
 6 (1) small (2) club (3) bring
 7 (1) ① twelve ② warm ③ practice (2) エ
 8 Question 1 (例) English songs.
 Question 2 (例) To make people happy.
 9 (例) Will you give me a piece of paper?
 10 (例) Making Japanese friends is the best way.
 11 (例) I will make my original bag from them.
 12 (例) You should go to kendo school and practice it with other members. You can wear the traditional Japanese clothes. You can also learn that it is important to respect other people.(3文)

- 1
 放送文 (1) A: Wow, that's a nice T-shirt.
 B: Yes, this is very popular among high school students.
 A: Nice, I'll take it. How much is it?
 ア I think you'll like it.
 イ It's 50 dollars.
 ウ You can buy it anywhere.
 (2) A: May I help you?
 B: Yes, I think I left my bag on the train.
 A: I see. What does it look like?
 ア It's black and has two pockets.
 イ It's too heavy to carry.
 ウ It's the wrong train.
 (3) A: My dream is to be a police officer.
 B: What do you do for your dream?
 A: I go outside to run at night.
 ア Good, it's exciting to run in the gym.
 イ Good, sleeping at night is good for you.
 ウ Good, you try to make your body stronger.
 全訳 (1) A: へえ、すてきなTシャツですね。
 B: はい、こちらは高校生にとっても人気があります。
 A: いいですね、それください。いくらですか。
 ア あなたは気に入ると思います。

- イ 50ドルです。
 ウ それはどこでも買えます。
 (2) A: ご用件を伺いましょうか。
 B: はい、列車の中にかばんを忘れたようです。
 A: なるほど。それはどのようなものですか。
 ア それは黒くて、ポケットが2個ついています。
 イ それはあまりにも重くて運べません。
 ウ それは乗る列車ではありません。
 (3) A: ぼくの夢は警察官になることです。
 B: 夢のために何をしているの?
 A: 夜、走るために外に出かけています。
 ア いいね、体育館で走るのはおもしろい。
 イ いいね、夜に眠るのはあなたにとってよい。
 ウ いいね、身体を鍛えようと努めているね。
 解説 (1) 最後の How much ~? に値段を答える。
 (3)(make+目的語+形容詞)は「~を…にする」。
 2
 放送文 (1) A: Hi, Megumi. What's up?
 B: I went to the farewell party for Taro.
 A: Did you give him anything?
 B: Yes, I gave him some flowers and a cup.
 Question: What did Megumi give to Taro?
 (2) A: Wow, the hamburger shop is having a sale.
 B: My favorite is a cheeseburger. How much is it?
 A: It's usually 380 yen, but now it's 290 yen.
 B: Great. Let's go there for lunch.
 Question: Which sale have they found?
 (3) A: Mom, this science homework is difficult.
 B: Ask your sister, Mike. She knows a lot about the subject.
 A: But she is studying in the library. Then, I'll check it out on the internet in my room.
 B: OK. Finish it before dinner.
 Question: What will Mike do next?
 (4) A: Dad, did you see a book about *rakugo* here?
 I have to give it back to my friend today.
 B: Have you checked your bag?
 A: Of course, yes. Um ... last night, I read it at the table ... and later on the sofa.
 B: Oh, it was on the sofa this morning. I've put it in the bookcase. Sorry, I didn't tell you about it.
 Question: Where is the book now?
 全訳 (1) A: こんにちは、メグミ。最近どう?
 B: タロウの送別会へ行っちゃよ。
 A: 彼に何かあげたの?

B: ええ、彼に花を何本かとカップを1つあげたよ。

質問: メグミはタロウに何をあげましたか。

(2) A: わあ、ハンバーガーショップがセールをしているよ。

B: いちばん好きなのはチーズバーガーだよ。いくらかな?

A: ふだんは380円だけど、今は290円だよ。

B: すごい。そこへ昼ごはんに行こう。

質問: 彼らはどのセールを見つけましたか。

(3) A: お母さん、この理科の宿題は難しいよ。

B: 姉さんに聞きなさい、マイク。彼女はその教科のことは詳しいよ。

A: でも彼女は図書館で勉強中だよ。じゃあ、部屋に行ってインターネットで調べるよ。

B: わかった。夕食の前に終わらせなさい。

質問: マイクは次に何をやるのでしょうか。

(4) A: お父さん、ここで落語の本を見た? 今日、友達に返さないといけないの。

B: かばんは調べたの?

A: もちろん、調べたよ。えっと…昨日の夜、テーブルで読んで…そのあとソファで読んだな。

B: あ、今朝、ソファの上にあった。ぼくが本箱に入れた。ごめん、それを伝えてなかったね。

質問: 本は今どこにありますか。

解説 (1) 数に注目。someは複数、aは単数を表す。

(4) 本が今ある場所を選ぶ。時制に注意。

3

放送文 (1) Hello, everyone. My name is Tanaka Yoshiko. I've been teaching English at this school for five years. I've lived in Wakayama City for ten years. I like playing the guitar. I play it almost every day. I also like traveling overseas. I've been to Australia three times. I want to tell you about cultures and food in foreign countries. Let's enjoy English class together.

(2) Hello. This is Kevin. I'll arrive in Japan on August third and stay in Japan for two weeks. I'm interested in libraries in Japan. I want to visit some of them. I also want to see Japanese movies with you. I'm looking forward to seeing you.

全訳 (1) こんにちは、みなさん。私の名前は田中よし子と言います。この学校で5年間ずっと英語を教えています。私は和歌山市に10年間住んでいます。ギターをひくのが好きです。ほぼ毎日ひきます。海外旅行も好きです。オーストラリアには3回行ったことがあります。私はみなさんに外国の文化や食べ

物について話したいです。いっしょに英語の授業を楽しみましょう。

(2) もしもし。ケビンです。8月3日に日本に到着して、2週間滞在する予定です。ぼくは日本の図書館に興味があります。いくつか訪ねたいです。ぼくはきみといっしょに日本の映画も見たいです。きみに会えるのを楽しみにしています。

解説 (1) ア「田中先生は10年間ずっとその学校で英語を教えています」、イ「田中先生は和歌山市に住んでいません」、ウ「田中先生はほぼ毎日ギターをひきます」、エ「田中先生は海外旅行をしたことがありません」

(2) ア「あなたはいつ日本に来ますか」、イ「あなたは日本にどれくらい滞在しますか」、ウ「あなたは日本でどこに行きたいですか」、エ「あなたは日本で何を食べたいですか」

4

放送文 Man: Excuse me.

Woman: Yes, may I help you?

Man: This is my first time to come to Sydney Park Library. Can you help me?

Woman: Yes, of course. You need your library card first, so please write your name and phone number here. ... OK. Here you are. This is your library card.

Man: Thank you.

Woman: You can borrow 8 books, 5 CDs, and 5 DVDs for three weeks. The library is closed every Thursday. You can use the library from 9 a.m. to 8 p.m. Then this is the calendar of events next month. Every Friday, we have 'Movie Day.' On the first, third and fifth Friday, it starts at 10 in the morning. On the second and fourth Friday it starts at 6 in the evening.

Man: So, what are 'Special Day' and 'Art Day'?

Woman: On 'Special Day' we have different events every month. Next month we will have events for children. On 'Art Day' famous artists will come here and show us how to draw pictures.

Man: I see Wow! Can I cook on 'Cooking Day'?

Woman: Yes, you can enjoy cooking and eating popular vegetables grown in our city.

Man: Sounds interesting. I want to join some of the events. Thank you.

全訳 男性: すみません。

女性: はい、お手伝いしましょうか。

男性：シドニー公園図書館に来るのは初めてなのです。手伝ってくれますか。

女性：はい、もちろん。まず、図書館カードが必要ですので、お名前と電話番号をここに書いてください。…けっこうです。はい、どうぞ。これがあなたの図書館カードです。

男性：ありがとう。

女性：本8冊、CD 5枚、DVD 5枚を3週間借りることができます。図書館は毎週木曜日に閉館します。午前9時から午後8時まで図書館を利用することができます。それから、これは来月のイベントのカレンダーです。毎週金曜日が「映画デー」です。第1・第3・第5金曜日は午前10時に始まります。第2・第4金曜日は夕方6時に始まります。

男性：では、「スペシャルデー」と「アートデー」とは何ですか。

女性：「スペシャルデー」では毎月さまざまなイベントがあります。来月は子ども向けのイベントがあります。「アートデー」では有名な芸術家がここに来て、私たちに絵のかき方を教えてくれます。

男性：わかりました…。わあ！「クッキングデー」では料理することができるのですか。

女性：はい、私たちの市で栽培された人気のある野菜を料理したり食べたりして楽しむことができます。

男性：おもしろそうですね。私はいくつかのイベントに参加したいです。ありがとう。

5

放送文 High School students in America have a long summer vacation. In some schools, they have more than two months of vacation. They can enjoy many different things in their free time. For example, they can play sports, go on trips with their families, or work as volunteers. However, they sometimes forget about studying because they don't have a lot of homework.

In Japan, the summer vacation is shorter, so students in Japan can't do as many things as students in America can. However, students in Japan can easily remember the things they've learned because they have more homework during the vacation.

Summer vacations in America and Japan are different, but both have their good points.

全訳 アメリカの高校生には長い夏休みがあります。2か月以上の休みがある学校もあります。彼らは自由な時間にたくさんのさまざまなことを楽しむことができます。たとえば、スポーツをしたり、家族といっしょに旅行に出かけたり、ボランティアとして活動した

りできます。しかしながら、彼らの宿題はあまり多くないので、時には勉強することを忘れます。

日本では、夏休みはより短いので、日本の生徒たちはアメリカの生徒たちができるほどたくさんのはできません。しかしながら、日本の生徒たちは休みの間、より多くの宿題があるので、学んだことを容易に思い出すことができます。

アメリカと日本の夏休みは異なりますが、どちらも長所があります。

解説 (1) 「アメリカの夏休みは日本の夏休みよりも長いです」

(2) 「アメリカの生徒たちは自由な時間にたくさんのさまざまなことをすることができます」

(3) アメリカの学生は forget about studying 「勉強することを忘れる」に対して、日本の学生は remember the things they've learned 「学んできたことを思い出す」と言っている。「日本の生徒たちは夏休みの間の宿題のため、学んできたことを容易に思い出すことができます」

6

放送文 This is the computer room. Any student can use the computers here after school until 5 o'clock. But the big computer in front of the whiteboard is only for teachers. So, please use the small ones.

For students who have never used a computer before or who need help, students from the computer club will come to help you every Thursday. If you have any questions, the students can answer them.

Now, please remember two things. First, this room is not for talking. Second, don't bring food into this room. I hope you enjoy using the computers in this room.

(1) What computers can the students use?

(2) Who will answer the questions from the students?

(3) What is the thing that students can't do in the computer room?

全訳 こちらはコンピュータ室です。どの生徒もここで放課後5時までコンピュータを使うことができます。しかし、ホワイトボードの前の大きなコンピュータは教師専用です。ですから、小さいほうを使ってください。

コンピュータを一度も使ったことがない、あるいは手助けが必要な生徒たちのために、コンピュータ部の生徒たちが毎週木曜日に手助けに来ます。もし質問があれば、その生徒たちが答えることができます。

さて、2つのことを覚えておいてください。第1に、この部屋はおしゃべりするためのものではありません。第2に、この部屋に食べ物を持ち込んではいけません。あなたたちがこの部屋でコンピュータを使って楽しんでくれることを願っています。

- (1) 生徒たちはどのコンピュータを使うことができますか。
- (2) だれが生徒たちからの質問に答えますか。
- (3) コンピュータ室で生徒たちができないことは何ですか。

解説 (1) 放送文中の big と small の対比に着目する。「コンピュータ室で生徒たちは小さなコンピュータを使うことができます」

(2) 「コンピュータ部の生徒たちが質問に答えてくれます」

(3) 「生徒たちはコンピュータ室に食べ物を持ち込むことはできません」

7

放送文 Miho: Mr. Brown, do you like your job?

Mr. Brown: Yes. I like cooking very much, Miho.

Miho: That's great. How long have you worked here in Japan at this Japanese restaurant?

Mr. Brown: I have worked here for twelve years.

Miho: Oh, that's a long time. And what did you do before you came to Japan?

Mr. Brown: I worked at a restaurant in America.

Miho: Why did you come to Japan?

Mr. Brown: I wanted to learn about many kinds of food from different countries. I was especially interested in Japanese food and culture.

Miho: OK. What is the most important point when you cook?

Mr. Brown: I try to cook everything with a warm feeling. I mean, it is important to think about the people who will eat the food I make.

Miho: I see. I want to work at a restaurant in the future, like you. But now, I can't cook well.

Mr. Brown: Don't worry. You may not cook well at first, but if you practice cooking again and again, you will be able to cook well. The food you make will be different from all other food. People will enjoy eating it.

Miho: That's true. Thank you very much. Nice talking with you.

Mr. Brown: You're welcome.

全訳 美穂：ブラウンさん、あなたはご自分のお仕事が好きですか。

ブラウンさん：はい。私は料理することが大好きです、

美穂。

美穂：それはすばらしいです。あなたはどれくらいの間、ここ日本のこの和食レストランで働いているのですか。

ブラウンさん：私は12年間ここで働いています。

美穂：わあ、それは長い間ですね。そして、あなたは日本に来る前に何をしていましたか。

ブラウンさん：私はアメリカのレストランで働いていました。

美穂：なぜ日本に来たのですか。

ブラウンさん：私はさまざまな国のたくさんの種類の料理について学びたかったのです。私は特に日本の料理と文化に興味がありました。

美穂：わかりました。あなたが料理をするときに、最も大切な点は何ですか。

ブラウンさん：私は温かい気持ちですべてのものを料理するようにしています。私が作る料理を食べてくれる人について考えることが大切だということです。

美穂：わかりました。私は将来、あなたのようにレストランで働きたいです。でも今はじょうずに料理することができません。

ブラウンさん：心配しないで。最初はじょうずに料理できないかもしれませんが、何度も何度も料理を練習すると、じょうずに料理できるようになるでしょう。あなたが作る料理はほかのどの料理ともちがうでしょう。人々はそれを食べて楽しむでしょう。

美穂：そうですね。どうもありがとうございました。あなたとお話できてよかったです。

ブラウンさん：どういたしまして。

解説 (2) エ「ブラウンさんは、美穂によって作られた料理はほかのどんな料理ともちがうでしょうと言っています」

8

放送文 I will talk about my club. I have been a member of a chorus club for eight years. I became a member because I wanted to be a singer. We have about thirty members. Some are younger than I. Some are much older than I. The youngest member is nine, and the oldest member is eighty years old. We sing many kinds of songs. Among them, I like to sing English songs the best. We practice every Saturday afternoon. Before concerts, we practice more. We are really good friends.

Last month, we sang in a small town to make people happy. There, we sang songs for old people and children. We sang old Japanese songs for old people and anime songs for children.

I was happy because people in the town liked our songs. After we sang songs, a young boy came to me and said, "Thank you. I enjoyed your songs very much. Please come again." Don't you think that songs can make people happy?

We will have a concert next month. At the concert, we will sing five old Japanese songs and three anime songs. I can't wait. I hope many of you will come to the concert to enjoy our songs. Thank you.

Question 1 : What kind of songs does Aya like to sing the best?

Question 2 : Why did Aya's chorus club sing in a small town?

全訳 私は私のクラブについて話します。私は8年間コーラスクラブの一員です。私は歌手になりたかったので一員になりました。メンバーは約30人います。私より若い人もいます。私よりずっと年上の人もいます。最も若いメンバーは9歳で、最も年上のメンバーは80歳です。私たちはたくさんの種類の歌を歌います。それらの中で、私は英語の歌を歌うのが最も好きです。私たちは毎週土曜日の午後に練習します。コンサートの前にはもっと練習します。私たちは本当によい友達です。

先月、私たちは人々を喜ばせるために、小さな町で歌いました。そこで、私たちはお年寄りや子どもたちのために歌を歌いました。私たちはお年寄りのために古い日本の歌を、子どもたちのためにアニメソングを歌いました。その町の人々が私たちの歌を気に入ってくれたので、私はうれしかったです。私たちが歌ったあと、幼い男の子が私のところに来て、「ありがとう。ぼくはあなたたちの歌をとて楽しみました。また来てください」と言いました。歌は人々を喜ばすことができると思いませんか。

来月はコンサートがあります。コンサートでは、私たちは古い日本の歌を5曲、アニメソングを3曲歌います。私は待ちきれません。あなたたちの多くが私たちの歌を楽しむためにコンサートに来てくれることを望みます。ありがとうございました。

- (1) アヤはどんな種類の歌を歌うのが最も好きですか。
(2) アヤのコーラスクラブはなぜ小さな町で歌ったのですか。

解説 (1) 主語と動詞を加えて She likes to sing English songs (the) best. と書いてもよい。

(2) Why ~? に対しては To ~. または <Because + 主語 + 動詞 ~.> で答えるとよい。

別解 Because the members of Aya's chorus club wanted to make people happy.

9

放送文 Look at the picture. Mike wants a piece of paper during English class. What should Mike say to the teacher?

全訳 絵を見てください。マイクは英語の授業中に紙を1枚ほしがっています。マイクは先生に何と尋ねるべきですか。

解説 依頼は Will[Can] you ~? で表せる。

別解 May I have a piece of paper?

10

放送文 I was so happy today because I talked with you. I have been interested in the Japanese language, and now I want to learn about it more! What is the best way to study it? Please tell me!

全訳 みなさんと話せて、私は今日とてもうれしかったです。私は日本語にずっと興味があり、今はもっと習いたいと思っています！ いちばんよい勉強方法は何か。私に教えてください！

解説 中学生が日本語を学ぶ方法を提案する。マンガを読む、アニメを見るなどでもよい。

別解 You should watch Japanese movies.

11

放送文 You have some T-shirts that you can't wear. They are too small for you. But you want to use them in different ways. What will you do?

全訳 あなたは着られないTシャツを何枚か持っています。それらはあなたにとって小さすぎます。でも、あなたはそれらをいろんなふうに使いたいと思っています。あなたは何をしますでしょうか。

解説 古着のTシャツを再利用する方法を、I will ~. の文で答えればよい。

別解 I will use them to clean my room.

12

放送文 *Man:* Judy, this Sunday is your first weekend in Japan.

Woman: Yes. I'm really looking forward to it.

I want to experience the culture of Japan.

Where should I go? And what should I do?

全訳 男性：ジュディ、今度の日曜日は日本で初めての週末だね。

女性：そうですね。本当に楽しみです。私は日本の文化を体験したいです。私はどこへ行ったらよいでしょうか。そして何をすればよいでしょうか。

解説 日本文化を体験できる場所と活動を勧める。

別解 You should go to the city museum and learn about Japanese culture and history. You can also see a Japanese traditional art, *ukiyo-e*. I hope you will like the museum.